

東郷町住民意向調査 報告書

平成 21 年 3 月
東郷町

目次

I 調査概要

1. 調査の目的	1
2. 調査の方法	1
3. 回収結果	1
4. 報告書の見方	1

II 集計結果

1. 調査回答者の属性	3
2. 東郷町の暮らしやすさなどについて	7
2-1 問1「東郷町の住み心地」	7
2-2 問2「東郷町の永住意向」	8
3. 日常生活の意識などについて	13
3-1 問3「日常生活の意識や行動」	13
3-2 問4「地域に対する意識」	23
3-3 問5「災害に対する備え」	28
4. 東郷町の取り組みについて	29
4-1 問6「東郷町の取り組みについての重要度・満足度」	29
4-2 問7「特に重点的に取り組むべきだと思うこと」	41
4-3 問8「町の取り組み全般への満足感」	43
4-4 問9「役場窓口での対応の満足感」	44
5. 将来のまちづくりについて	46
(1) 安全・安心について	
5-1 問10「防災に関して力を入れるべきこと」	46
5-2 問11「防犯に関して力を入れるべきこと」	47
(2) 環境について	
5-3 問12「環境への意識を高める取り組みに関して力を入れるべきこと」	48
5-4 問13「ごみの減量や資源の回収に関して力を入れるべきこと」	49
(3) 福祉・健康について	
5-5 問14「高齢者の生きがいに関して力を入れるべきこと」	50
5-6 問15「健康づくりに関して力を入れるべきこと」	52
5-7 問16「がん検診の受診について」	53
(4) 町巡回バスについて	
5-8 問17「町巡回バス「じゅんかい君」の利用について」	56
5-9 問18「町巡回バスの改善点」	60
(5) 市町村合併について	
5-10 問19「合併に対する考え」	61
(6) 行政サービスのあり方について	
5-11 問20「行政サービスと住民負担のバランスについて」	62
(7) 町政への関心について	
5-12 問21「町政への関心」	64
5-13 問22「町政への関心を高めるために力を入れるべきこと」	65
(8) 住民参画・協働について	
5-14 問23「住民参画や協働についての考え」	66
5-15 問24「住民の意見を反映するために力を入れるべきこと」	70
5-16 問25「今後住民が積極的にかかわって進めるべきこと」	71
6. 自由回答	72

III 参考資料

1. 調査票	
--------	--



I 調査概要

1 調査の目的

この調査は東郷町の今後のまちづくりの指針（第5次東郷町総合計画）を策定するための基礎資料として、東郷町の町民からみた町政についての評価を把握するために実施した。

2 調査の方法

(1) 調査地域	東郷町全域
(2) 調査対象	東郷町に在住する満18歳以上の住民
(3) 対象者数	5,000人
(4) 抽出方法	無作為抽出
(5) 調査方法	郵送配布・郵送回収
(6) 調査時期	平成21年1月

3 回収結果

(1) 配布数	5,000
(2) 回収数	2,002
(3) 有効回収数	2,002
(4) 有効回収率	40.0%

4 報告書の見方

- (1) 比率はすべてパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出したため、パーセントの合計が100%にならないこともある。
- (2) 複数回答が可能な質問では、比率算出の基数は回答者数（票数）とし、その項目を選び○印をつけた人が全体からみて何%なのかという見方をした。そのため、各項目の比率を合計しても100%とはならない。
- (3) 本報告書の表の見出し及び文章中での回答選択肢の表現は、趣旨が変わらない程度に簡略化して掲載されている場合がある。
- (4) 本報告書のグラフ内では、スペースの都合上、「無回答」の値を省略している場合がある。
- (5) 標本を無作為に抽出した世論調査の統計数値には誤差があり、それは次の公式によって算出することができる。（信頼度95%とした場合）

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1}} \cdot \sqrt{\frac{P(1-P)}{n}}$$

回答率が50% ($P=0.5$) の時、誤差は最大となるため、上記の式に $P=0.5$ 、 N (母集団) =41,418、 n (有効票数) =2002 を代入し、サンプル誤差を求めると、 $\pm 2.2\%$ となる。(全体推計の場合)

例えば、今回の調査の問いにおいて「そう思う」と回答した人が50%だった場合、実際の東郷町に在住する全住民で「そう思う」人は47.8%~52.2%の範囲におさまる確率が95%であることを意味する。

なお、調査数 (n) が少ないほど誤差が大きくなるため、クロス集計の結果等で留意する必要がある。



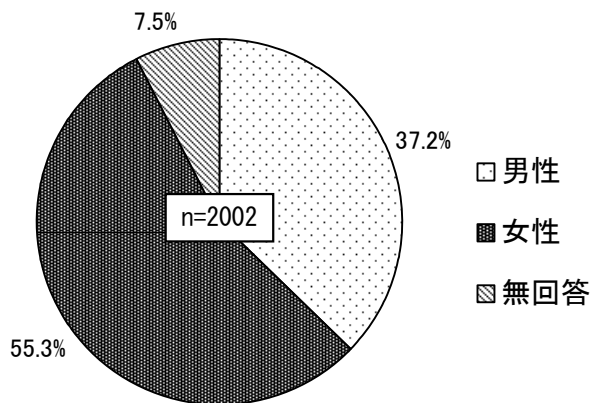
Ⅱ 集計結果

1 調査回答者の属性

(1) 回答者の性別

◆ 回答者の性別は、男性が 37.2%、女性が 55.3%となっている。

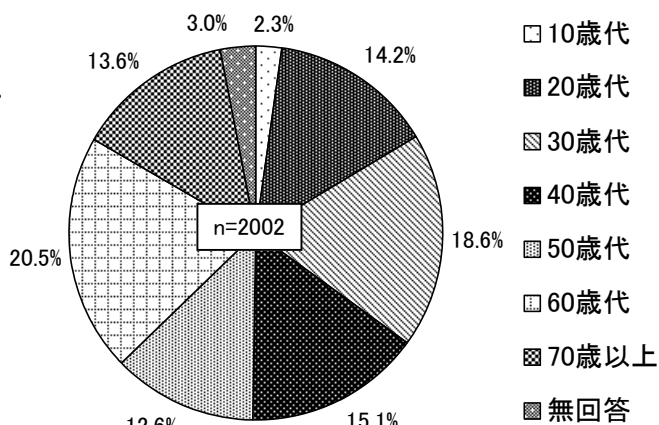
(人)			
全体 (n)	男性	女性	無回答
2002	744	1107	151



(2) 回答者の年代

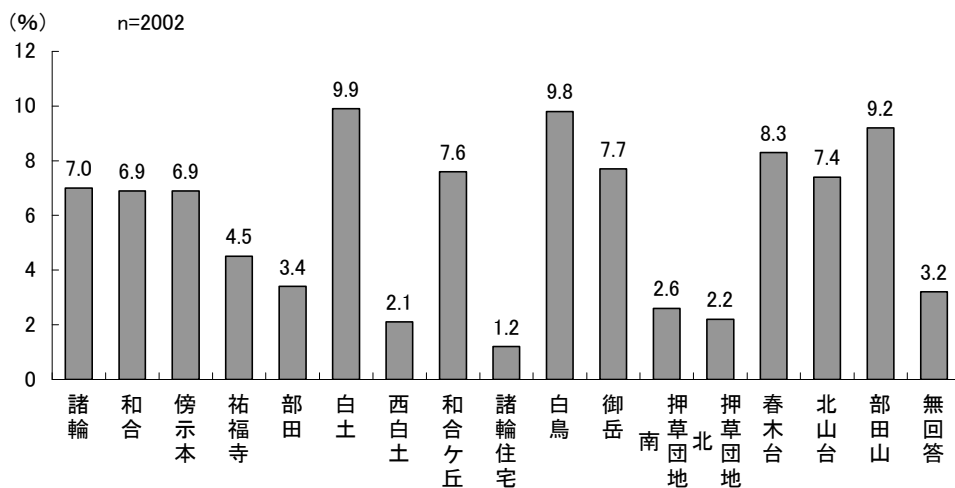
◆ 回答者の年代については、「60 歳代」が 20.5%で最も多く、次いで「30 歳代」(18.6%)、「40 歳代」(15.1%)、「20 歳代」(14.2%)の順となっている。

(人)								
全体 (n)	10 歳代	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳代	無回答
2002	46	284	372	303	253	411	273	60



(3) 居住地区

◆ 居住地区については、「白土」が 9.9%で最も多く、次いで「白鳥」(9.8%)、「部田山」(9.2%)の順となっている。



(人)

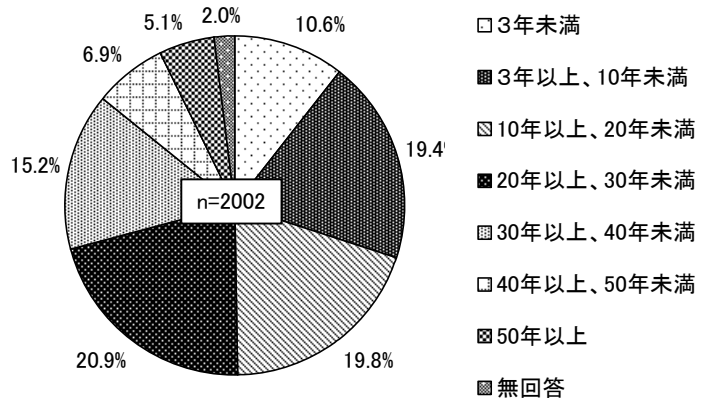
全体 (n)	諸輪	和合	傍示本	祐福寺	部田	白土	西白土	和合ヶ丘	諸輪住宅	白鳥	御岳	押草団地南	押草団地北	春木台	北山台	部田山	無回答
2002	140	138	138	90	68	198	42	152	24	197	155	52	45	166	148	184	65

(4) 東郷町の居住年数

- ◆ 東郷町の居住年数については、「20年以上、30年未満」が20.9%で最も多く、次いで「10年以上、20年未満」(19.8%)、「3年以上、10年未満」(19.4%)の順となっている。

(人)

全体 (n)	3年未満	3年以上、10年未満	10年以上、20年未満	20年以上、30年未満	30年以上、40年未満	40年以上、50年未満	50年以上	無回答
2002	212	388	397	419	305	138	102	41

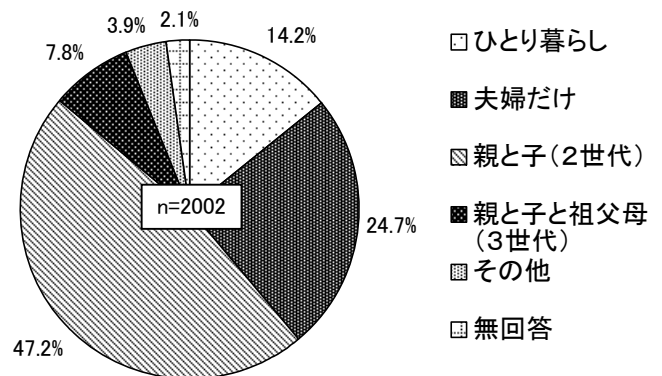


(5) 家族構成

- ◆ 家族構成については、「親と子(2世代)」が47.2%で最も多く、次いで「夫婦だけ」(24.7%)、「ひとり暮らし」(14.2%)の順となっている。

(人)

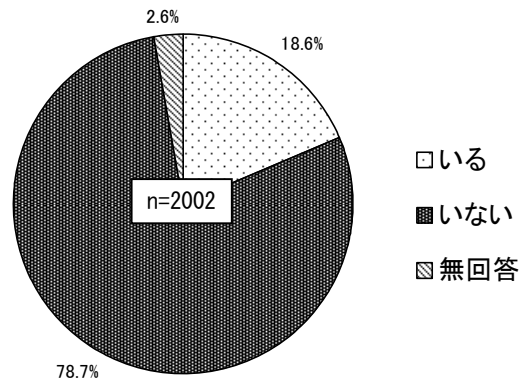
全体 (n)	ひとり暮らし	夫婦だけ	親と子(2世代)	親と子と祖父母(3世代)	その他	無回答
2002	285	494	945	156	79	43



(6) 小学校就学前の家族の有無

◆ 小学校就学前の家族の有無については、「いる」人は18.6%、「いない」人は78.7%となっている。

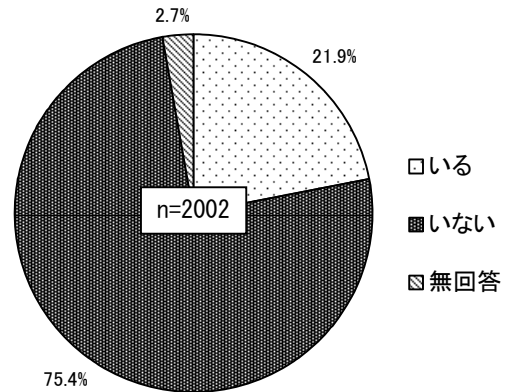
(人)			
全 体 (n)	い る	い な い	無 回 答
2002	373	1576	53



(7) 小中学生の家族の有無

◆ 小中学生の家族の有無については、「いる」人が21.9%、「いない」人が75.4%となっている。

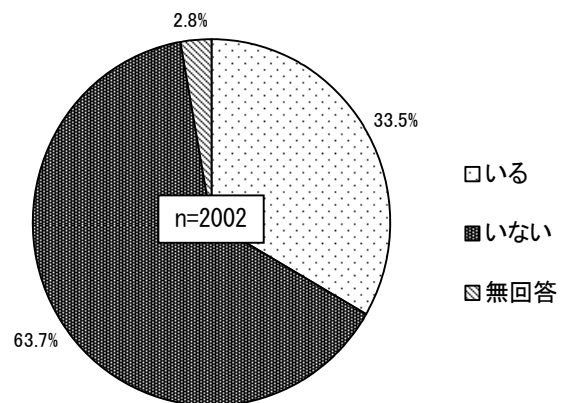
(人)			
全 体 (n)	い る	い な い	無 回 答
2002	439	1509	54



(8) 65歳以上の家族の有無

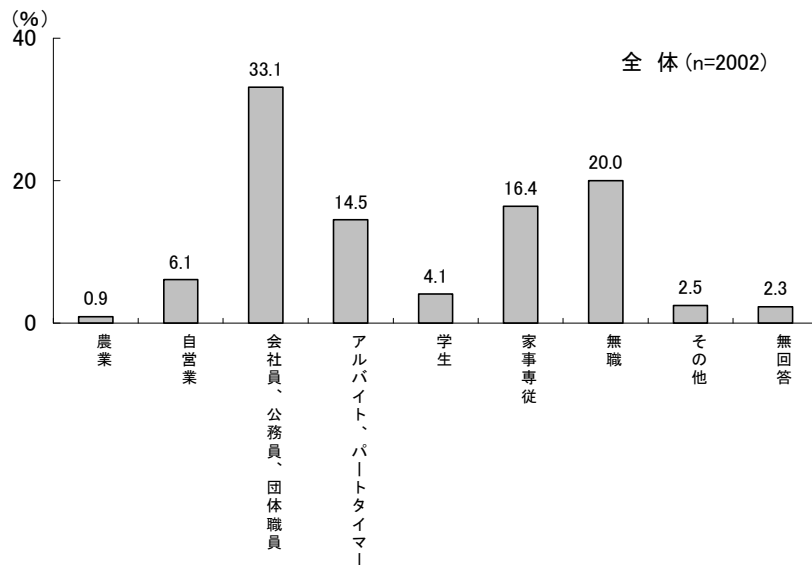
◆ 65歳以上の家族の有無については、「いる」人は33.5%、「いない」人は63.7%となっている。

(人)			
全 体 (n)	い る	い な い	無 回 答
2002	670	1276	56

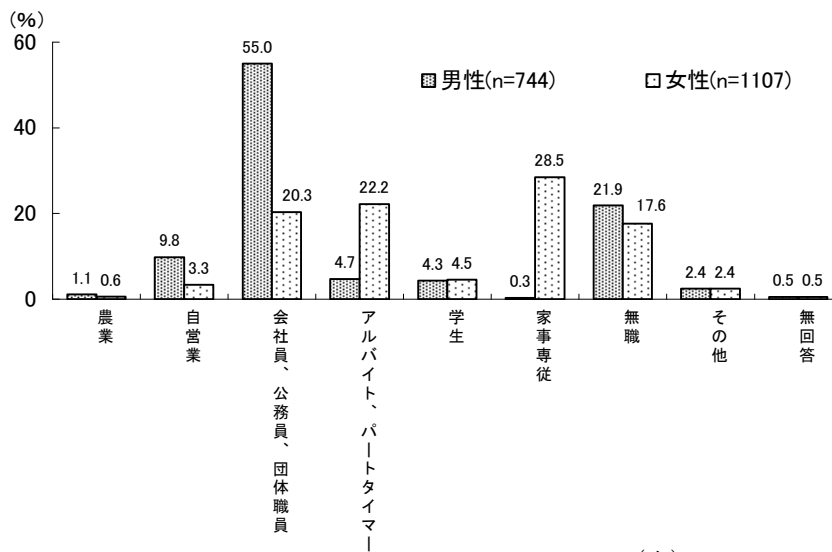


(9) 職業

- ◆ 職業については、「会社員・公務員・団体職員」が33.1%で最も多く、次いで「無職」(20.0%)、「家事専従」(16.4%)、「アルバイト、パートタイマー」(14.5%)の順となっている。



- ◆ 男女別の職業では、男性は「会社員、公務員、団体職員」が半数以上(55.0%)を占めており、女性よりも多くなっている。一方、女性では「アルバイト、パートタイマー」(22.2%)、「家事専従」(28.5%)で男性よりも多くなっている。



		(人)								
	全体 (n)	農業	自営業	会社員、公務員、団体職員	アルバイト、パートタイマー	学生	家事専従	無職	その他	無回答
全体	2002	18	122	662	291	83	329	401	50	46
男性	744	8	73	409	35	32	2	163	18	4
女性	1107	7	37	225	246	50	315	195	27	5

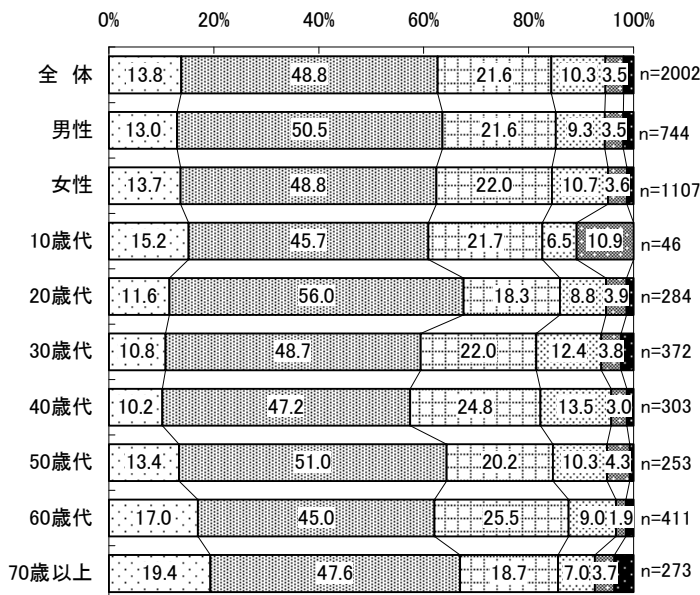
2 東郷町の暮らしやすさなどについて

2-1 東郷町の住み心地

問1 東郷町の住み心地はどう思いますか？
 今のお気持ちに最も近い番号を1つだけ選んでください。

- ◆ 東郷町の住み心地について、“住みやすい”（「住みやすい」+「まあ住みやすい」）と感じている人は、全体の約6割（62.6%）を占めている。一方、“住みにくい”（「やや住みにくい」+「住みにくい」）と感じている人は、全体の約1割（13.8%）となっている。
- ◆ 男女別では、大きな差はみられない。
- ◆ 年代別では、“住みやすい”と感じている人の割合は、20歳代が67.6%と最も高く、次いで70歳以上（67.0%）、50歳代（64.4%）となっている。一方、40歳代が57.4%と他の年代に比べて最も低くなっている。
- ◆ 地区別では、“住みやすい”と感じている人の割合は、押草団地北が75.6%と最も高く、次いで、白鳥（72.6%）、祐福寺（71.2%）の順となっている。一方、西白土が47.7%と最も低くなっている。

□ 住みやすい ■ まあ住みやすい ▨ どちらともいえない
 □ やや住みにくい ■ 住みにくい ■ 無回答



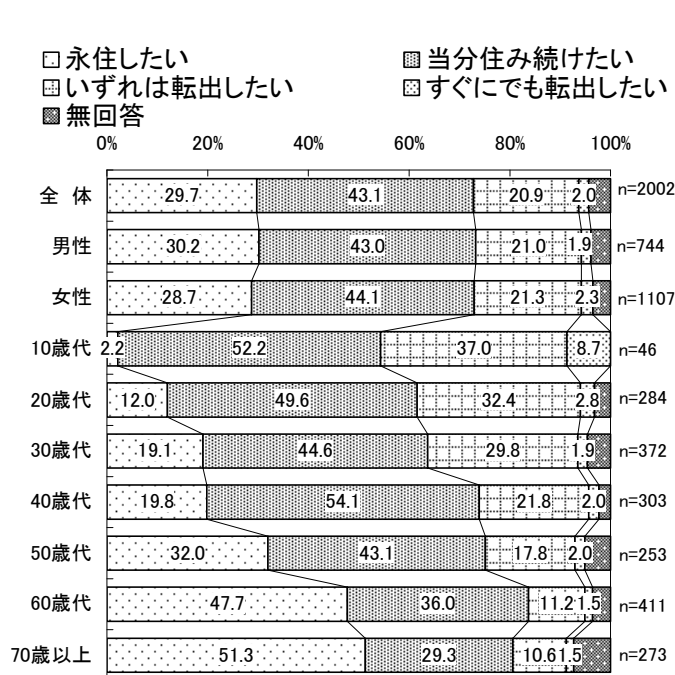
	全体 (人) (n)	“住みやすい” (%)	“住みにくい” (%)
全体	2002	62.6	13.8
諸輪	140	55.7	20.0
和合	138	60.9	10.9
傍示本	138	57.3	18.8
祐福寺	90	71.2	12.3
部田	68	61.7	20.5
白土	198	59.6	13.8
西白土	42	47.7	23.8
和合ヶ丘	152	69.8	8.5
諸輪住宅	24	66.7	0.0
白鳥	197	72.6	9.1
御岳	155	63.9	11.6
押草団地南	52	61.6	15.4
押草団地北	45	75.6	2.2
春木台	166	56.0	19.3
北山台	148	55.4	12.9
部田山	184	69.1	13.1

2-2 東郷町の永住意向

問2 これからも東郷町に住み続けたいとお考えですか？

今のお気持ちに最も近い番号を1つだけ選んでください。(すでに転出が決まっている方もご自身のお気持ちに近いものをお選びください)

- ◆ 東郷町の永住意向について、“住み続けたい”（「永住したい」＋「当分住み続けたい」）と考えている人は、全体の約7割（72.8%）を占めている。一方、“転出したい”（「いずれは転出したい」＋「すぐにでも転出したい」）と感じている人は、全体の約2割（22.9%）となっている。
- ◆ 男女別では、大きな差はみられない。
- ◆ 年代別では、年齢層が高くなるほど“住み続けたい”と考える割合が高くなり、“転出したい”と考える割合が低くなる傾向がうかがえる。
- ◆ 地区別では、“住み続けたい”と感じている人の割合は、和合ヶ丘が80.9%と最も高く、次いで、諸輪住宅（79.2%）、傍示本（79.0%）の順となっている。一方、押草団地南が59.6%と最も低くなっている。



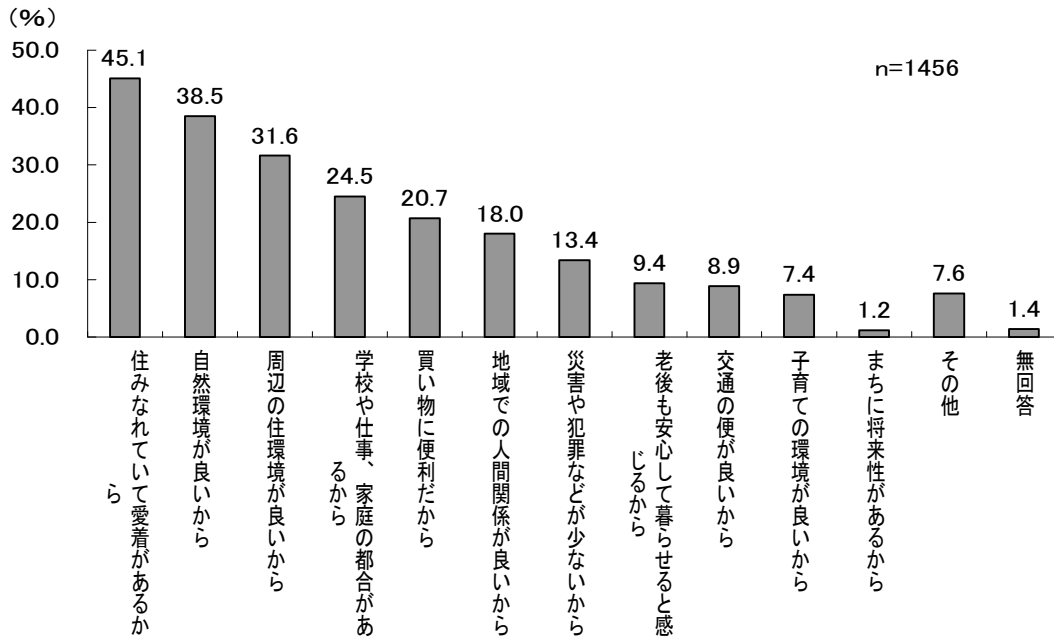
	全体 (人 n)	“ 住み 続け たい ”	“ 転 出 し た い ”
全体	2002	72.8	22.9
諸輪	140	72.2	21.4
和合	138	67.4	26.8
傍示本	138	79.0	16.7
祐福寺	90	74.5	20.0
部田	68	76.4	22.1
白土	198	74.8	19.2
西白土	42	73.9	21.4
和合ヶ丘	152	80.9	15.8
諸輪住宅	24	79.2	20.8
白鳥	197	75.6	22.3
御岳	155	71.0	23.2
押草団地南	52	59.6	30.7
押草団地北	45	68.9	26.7
春木台	166	71.7	25.9
北山台	148	67.6	29.1
部田山	184	71.8	26.1

① 住み続けたい理由

問2-1 今後も住み続けたいとお考えの理由を次の中から3つ以内で選んでください。

◆ 問2で「永住したい」、「当分住み続けたい」と回答した人（1456人）にその理由をたずねたところ、「住み慣れていて愛着があるから」が45.1%と最も多く、次いで「自然環境が良いから」（38.5%）、「周辺の住環境が良いから」（31.6%）の順となっている。

長年居住していることによる町への愛着と、身近な環境の良さが永住したいと思う主な理由となっている。



◆ 年代別については、各年代で最も回答率が高い項目を、次の表に網掛けとして示した。10歳代と50歳代～70歳以上では「住み慣れていて愛着があるから」、20歳代～40歳代では「学校や仕事、家庭の都合があるから」が最も高くなっている。

	全体 (人・n)	住み慣れていて愛着があるから	自然環境が良いから	周辺の住環境が良いから	学校や仕事、家庭の都合があるから	買い物に便利だから	地域での人間関係が良いから	災害や犯罪などが少ないから	老後も安心して暮らせると感じるから	交通の便が良いから	子育ての環境が良いから	まちに将来性があるから	その他	無回答
全体	1456	45.1	38.5	31.6	24.5	20.7	18.0	13.4	9.4	8.9	7.4	1.2	7.6	1.4
10歳代	25	64.0	32.0	24.0	24.0	8.0	16.0	4.0	0.0	16.0	4.0	0.0	4.0	4.0
20歳代	175	34.3	32.0	30.3	36.0	17.7	12.6	8.0	1.1	12.0	12.6	2.3	10.3	1.1
30歳代	237	27.0	28.3	30.0	44.3	21.9	19.8	8.4	2.1	7.6	17.7	2.5	9.7	1.3
40歳代	224	36.6	35.7	27.2	43.3	15.2	14.7	8.9	2.7	8.5	10.7	0.0	7.6	0.9
50歳代	190	54.2	41.6	34.2	20.0	20.5	15.3	21.1	10.0	5.8	1.6	2.1	7.9	0.5
60歳代	344	58.1	44.5	32.8	7.0	24.1	18.6	15.4	16.3	10.5	2.3	0.9	7.3	1.7
70歳以上	220	55.5	44.5	32.3	5.0	21.4	25.9	20.0	21.4	7.3	1.8	0.0	4.5	1.8

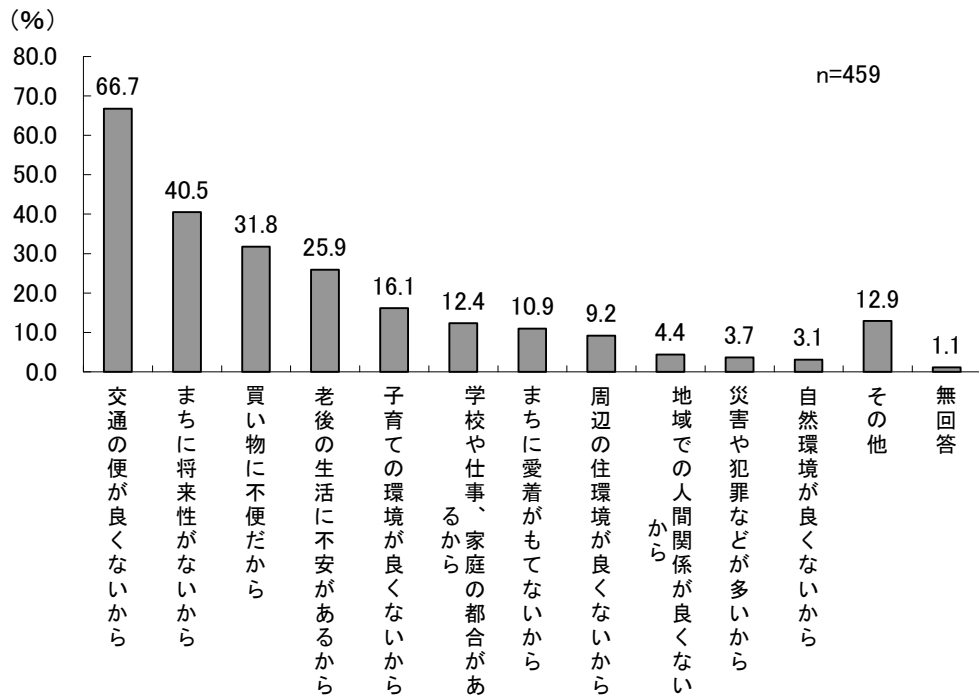
- ◆ 地区別については、各地区で最も回答率が高い項目を、次の表に網掛けとして示した。
約7割の地区（11地区）で「住み慣れていて愛着があるから」が最も高くなっている。
※全体数が30以下の地区は誤差が大きいため留意する必要がある。

	全体 (人) (n)	住み慣れていて愛着があるから	自然環境が良いから	周辺の住環境が良いから	学校や仕事、家庭の都合があるから	買い物に便利だから	地域での人間関係が良いから	災害や犯罪などが少ないから	老後も安心して暮らせると感じるから	交通の便が良いから	子育ての環境が良いから	まちに将来性があるから	その他	無回答
全体	1456	45.1	38.5	31.6	24.5	20.7	18.0	13.4	9.4	8.9	7.4	1.2	7.6	1.4
諸輪	101	51.5	42.6	32.7	17.8	8.9	21.8	16.8	9.9	5.0	3.0	2.0	7.9	1.0
和合	93	50.5	34.4	31.2	26.9	10.8	21.5	9.7	14.0	15.1	3.2	2.2	5.4	2.2
傍示本	109	65.1	41.3	23.9	20.2	7.3	11.9	15.6	9.2	11.0	5.5	-	11.9	-
祐福寺	67	52.2	47.8	20.9	25.4	9.0	26.9	9.0	13.4	6.0	10.4	-	7.5	1.5
部田	52	63.5	42.3	17.3	13.5	5.8	17.3	9.6	9.6	5.8	7.7	1.9	9.6	5.8
白土	148	33.8	28.4	25.7	30.4	32.4	19.6	16.2	16.2	9.5	9.5	0.7	8.1	-
西白土	31	58.1	32.3	22.6	19.4	12.9	19.4	16.1	16.1	6.5	3.2	3.2	3.2	3.2
和合ヶ丘	123	48.0	45.5	39.8	17.9	13.8	19.5	23.6	8.9	8.1	2.4	1.6	8.1	0.8
諸輪住宅	19	36.8	47.4	21.1	36.8	5.3	21.1	26.3	15.8	10.5	-	-	-	5.3
白鳥	149	33.6	38.3	36.2	19.5	54.4	12.1	10.1	6.0	15.4	8.1	0.7	6.7	0.7
御岳	110	40.9	44.5	47.3	22.7	31.8	20.0	10.9	6.4	3.6	10.9	-	5.5	-
押草団地南	31	48.4	38.7	32.3	22.6	38.7	12.9	3.2	9.7	9.7	9.7	3.2	6.5	-
押草団地北	31	51.6	54.8	35.5	19.4	38.7	19.4	19.4	3.2	16.1	-	-	-	-
春木台	119	56.3	35.3	32.8	22.7	7.6	16.8	13.4	7.6	3.4	8.4	1.7	6.7	5.0
北山台	100	35.0	30.0	25.0	36.0	15.0	15.0	15.0	7.0	14.0	3.0	2.0	11.0	1.0
部田山	132	34.8	34.8	32.6	34.8	14.4	21.2	6.1	7.6	6.1	17.4	1.5	7.6	0.8

② 転出したい理由

問2-2 転出したいとお考えの理由を次の中から3つ以内で選んでください。

- ◆ 問2で「いずれは転出したい」、「すぐにでも転出したい」と回答した人（459人）にその理由をたずねたところ、「交通の便が良くないから」が66.7%と最も多く、次いで「まちに将来性がないから」（40.5%）、「買物に不便だから」（31.8%）の順となっている。
 移動の不便さや、まちの発展性への不安が転出したい主な理由となっている。



- ◆ 年代別については、各年代で最も回答率が高い項目を、次の表に網掛けとして示した。
 全ての年代で「交通の便が良くないから」が最も高くなっている。
 また、10歳代～40歳代では「まちに将来性がないから」、50歳代～70歳以上では「老後の生活に不安があるから」の割合も高くなっている。

	全体 (n)	交通の便が良くないから	まちに将来性がないから	買物に不便だから	老後の生活に不安があるから	子育ての環境が良くないから	学校や仕事、家庭の都合があるから	まちに愛着がもてないから	周辺の住環境が良くないから	地域での人間関係が良くないから	災害や犯罪が多いから	自然環境が良くないから	その他	無回答
全体	459	66.7	40.5	31.8	25.9	16.1	12.4	10.9	9.2	4.4	3.7	3.1	12.9	1.1
10歳代	21	66.7	47.6	47.6	-	4.8	9.5	4.8	14.3	-	-	4.8	9.5	-
20歳代	100	64.0	33.0	30.0	5.0	18.0	30.0	13.0	6.0	3.0	5.0	2.0	15.0	1.0
30歳代	118	63.6	48.3	23.7	14.4	31.4	9.3	7.6	7.6	3.4	5.1	3.4	13.6	0.8
40歳代	72	75.0	34.7	33.3	31.9	11.1	13.9	9.7	11.1	6.9	4.2	2.8	8.3	-
50歳代	50	68.0	52.0	30.0	54.0	4.0	4.0	14.0	10.0	4.0	2.0	4.0	10.0	2.0
60歳代	52	69.2	42.3	34.6	46.2	3.8	1.9	13.5	13.5	9.6	1.9	3.8	11.5	-
70歳以上	33	72.7	15.2	57.6	60.6	3.0	3.0	9.1	3.0	3.0	3.0	3.0	12.1	6.1

- ◆ 地区別については、各地区で最も回答率が高い項目を、次の表に網掛けとして示した。
 約9割の地区（14地区）で「交通の便が良くないから」が最も高くなっている。
 ※全体数が30以下の地区は誤差が大きいので留意する必要がある。

	全体 (人) (n)	交通の便が良くないから	まちに将来性がないから	買い物に不便だから	老後の生活に不安があるから	子育ての環境が良くないから	学校や仕事、家庭の都合があるから	まちに愛着がもてないから	周辺の住環境が良くないから	地域での人間関係が良くないから	災害や犯罪などが多いから	自然環境が良くないから	その他	無回答
全体	459	66.7	40.5	31.8	25.9	16.1	12.4	10.9	9.2	4.4	3.7	3.1	12.9	1.1
諸輪	30	60.0	53.3	60.0	30.0	10.0	3.3	10.0	13.3	3.3	6.7	-	13.3	-
和合	37	51.4	43.2	35.1	16.2	27.0	10.8	10.8	8.1	2.7	-	-	8.1	-
傍示本	23	73.9	43.5	56.5	26.1	8.7	4.3	8.7	-	4.3	4.3	8.7	8.7	-
祐福寺	18	72.2	27.8	44.4	16.7	11.1	16.7	11.1	27.8	11.1	5.6	11.1	5.6	-
部田	15	73.3	40.0	33.3	33.3	-	20.0	6.7	13.3	-	6.7	6.7	6.7	6.7
白土	38	76.3	34.2	26.3	31.6	13.2	10.5	10.5	15.8	7.9	2.6	7.9	10.5	-
西白土	9	100.0	22.2	22.2	22.2	22.2	-	11.1	22.2	-	11.1	-	22.2	-
和合ヶ丘	24	54.2	29.2	33.3	16.7	16.7	16.7	16.7	4.2	4.2	4.2	-	8.3	12.5
諸輪住宅	5	20.0	40.0	20.0	-	40.0	60.0	20.0	-	-	-	20.0	-	-
白鳥	44	61.4	50.0	15.9	38.6	18.2	13.6	13.6	6.8	6.8	2.3	-	11.4	-
御岳	36	83.3	55.6	19.4	36.1	16.7	8.3	13.9	2.8	2.8	-	-	11.1	-
押草団地南	16	43.8	56.3	6.3	37.5	18.8	18.8	18.8	18.8	6.3	6.3	-	12.5	-
押草団地北	12	66.7	25.0	25.0	41.7	8.3	25.0	-	8.3	-	-	-	33.3	-
春木台	43	81.4	30.2	53.5	14.0	7.0	14.0	11.6	4.7	-	4.7	4.7	9.3	-
北山台	43	62.8	48.8	27.9	25.6	14.0	16.3	7.0	9.3	4.7	2.3	2.3	18.6	-
部田山	48	66.7	22.9	25.0	22.9	22.9	12.5	8.3	4.2	6.3	8.3	4.2	18.8	-

3 日常生活の意識などについて

3-1 日常生活の意識や行動

問3 あなたの日常生活の意識や行動について、あてはまる番号を1つずつ選んでください。

1. 東郷町に魅力を感じている

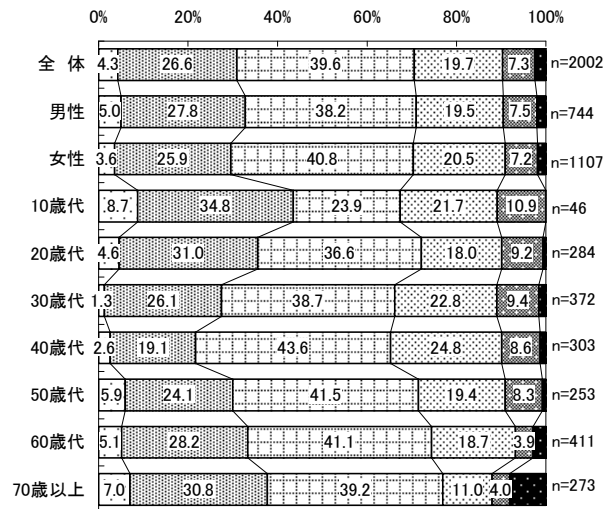
◆ 東郷町に魅力を感じているかについては、全体の約3割（30.9%）が“魅力を感じている”（「そう思う」+「まあそう思う」）と回答している。

一方、“魅力を感じていない”（「あまり思わない」+「思わない」）人は、全体の約3割（27.0%）となっている。

◆ 男女別では、女性よりも男性のほうが、“魅力を感じている”割合がやや高くなっている。

◆ 年代別では、30歳代と40歳代で“魅力を感じている”人よりも“魅力を感じていない”人の割合が高くなっている。

□ そう思う ■ まあそう思う □ どちらともいえない
 □ あまり思わない ■ 思わない ■ 無回答



2. 普段から健康管理に気を配っている

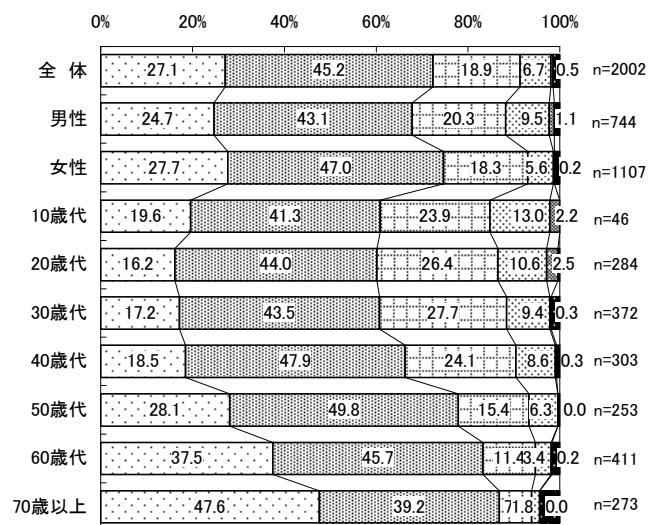
◆ 普段から健康管理に気を配っているかについては、全体の約7割（72.3%）が“気を配っている”（「そう思う」+「まあそう思う」）と回答している。

一方、“気を配っていない”（「あまり思わない」+「思わない」）人は、1割にも満たない結果（7.2%）となっている。

◆ 男女別では、男性よりも女性のほうが“気を配っている”割合が高くなっている。

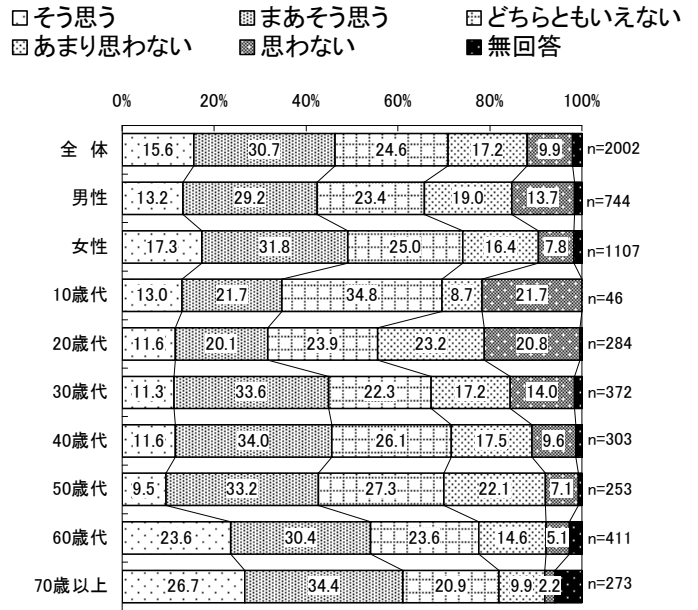
◆ 年代別では、年齢層が高くなるほど、“気を配っている”人の割合が高くなる傾向にある。

□ そう思う ■ まあそう思う □ どちらともいえない
 □ あまり思わない ■ 思わない ■ 無回答



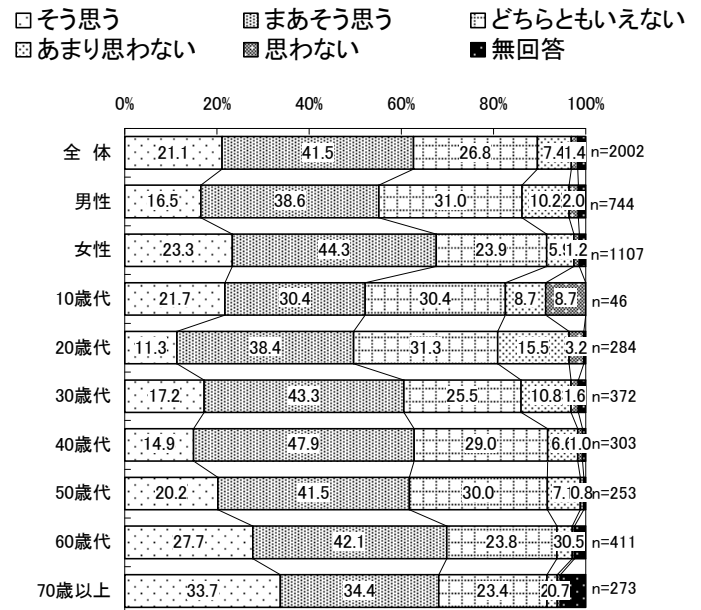
3. 近所の方と関わりがある

- ◆ 近所の方と関わりがあるかについては、全体の約5割(46.3%)が“関わりがある”(「そう思う」+「まあそう思う」と回答している。一方、“関わりがない”(「あまり思わない」+「思わない」)人は、全体の約3割(27.1%)となっている。
- ◆ 男女別では、男性よりも女性のほうが“関わりがある”割合が高くなっている。
- ◆ 年代別では、年齢層が高くなるほど、“関わりがある”人の割合が高くなる傾向にある。一方、20歳代で“関わりある”人よりも“関わりがない”人の割合が高くなっている。



4. 普段から省エネを心がけている

- ◆ 普段から省エネを心がけているかについては、全体の約6割(62.6%)が“心がけている”(「そう思う」+「まあそう思う」と回答している。一方、“心がけていない”(「あまり思わない」+「思わない」)人は、全体の約1割(8.8%)となっている。
- ◆ 男女別では、男性よりも女性のほうが“心がけている”割合が高くなっている。
- ◆ 年代別では、年齢層が高くなるほど、“心がけている”人の割合が高くなる傾向にある。



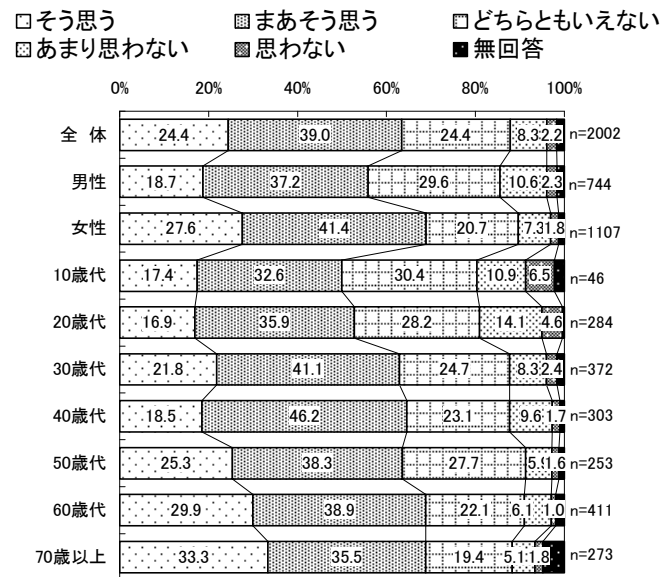
5. 普段からリサイクルに心がけている

◆ リサイクルに心がけているかについては、全体の約6割（63.4%）が“心がけている”（「そう思う」+「まあそう思う」）と回答している。

一方、“心がけていない”（「あまり思わない」+「思わない」）人は、全体の約1割（10.5%）となっている。

◆ 男女別では、男性よりも女性のほうが“心がけている”割合が高くなっている。

◆ 年代別では、年齢層が高くなるほど、“心がけている”人の割合が高くなる傾向にある。



6. 地震や風水害などの災害に備えている

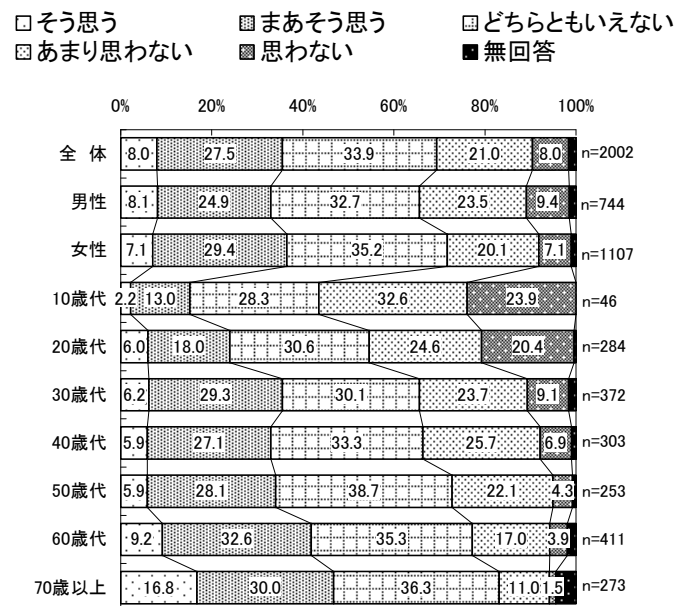
◆ 地震や風水害などの災害に備えているかについては、全体の約4割（35.5%）が“備えている”（「そう思う」+「まあそう思う」）と回答している。

一方、“備えていない”（「あまり思わない」+「思わない」）人は、全体の約3割（29.0%）となっている。

◆ 男女別では、男性よりも女性のほうが“備えている”割合がやや高くなっている。

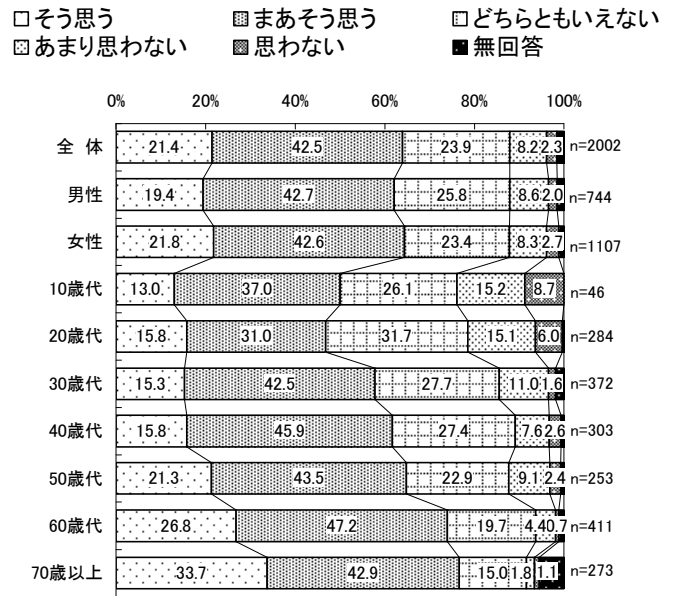
◆ 年代別では、年齢層が高くなるほど、“備えている”人の割合が高くなる傾向にある。

また、10歳代と20歳代で“備えている”人よりも“備えていない”人の割合が高くなっている。



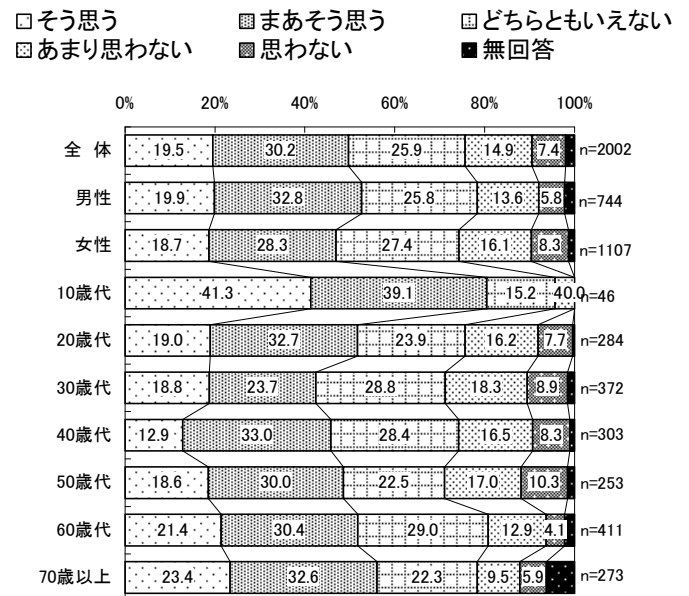
7. 普段から防犯に心がけている

- ◆ 防犯に心がけているかについては、全体の約6割（63.9%）が“心がけている”（「そう思う」+「まあそう思う」）と回答している。一方、“心がけていない”（「あまり思わない」+「思わない」）人は、全体の約1割（10.5%）となっている。
- ◆ 男女別では、男性よりも女性のほうが“心がけている”割合がやや高くなっている。
- ◆ 年代別では、年齢層が高くなるほど、“心がけている”人の割合が高くなる傾向にある。



8. 趣味や教養などの活動を楽しんでいる

- ◆ 趣味や教養などの活動を楽しんでいるかについては、全体の約5割（49.7%）が“楽しんでいる”（「そう思う」+「まあそう思う」）と回答している。一方、“楽しんでいない”（「あまり思わない」+「思わない」）人は、全体の約2割（22.3%）となっている。
- ◆ 男女別では、女性よりも男性のほうが“楽しんでいる”割合が高くなっている。
- ◆ 年代別では、10歳代で“楽しんでいる”人が約8割（80.4%）を占めており、他の年代よりも高くなっている。また、30歳代～70歳以上では、年齢層が高くなるほど“楽しんでいる”人の割合が高くなる傾向にある。



9. 日々の生活に生きがいを感じている

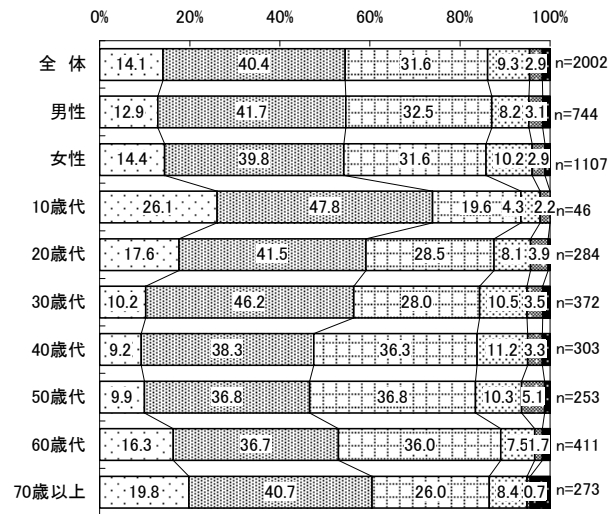
◆ 日々の生活に生きがいを感じているかについては、全体の約5割（54.5%）が“感じている”（「そう思う」+「まあそう思う」と回答している）。

一方、“感じていない”（「あまり思わない」+「思わない」）人は、全体の約1割（12.2%）となっている。

◆ 男女別では、大きな差はみられない。

◆ 年代別では、10歳代で“感じている”人が約7割（73.9%）、70歳以上で約6割（60.5%）を占めており、他の年代よりも高くなっている。

□ そう思う ■ まあそう思う □ どちらともいえない
 □ あまり思わない ■ 思わない ■ 無回答



10. 定期的にスポーツ・運動をしている

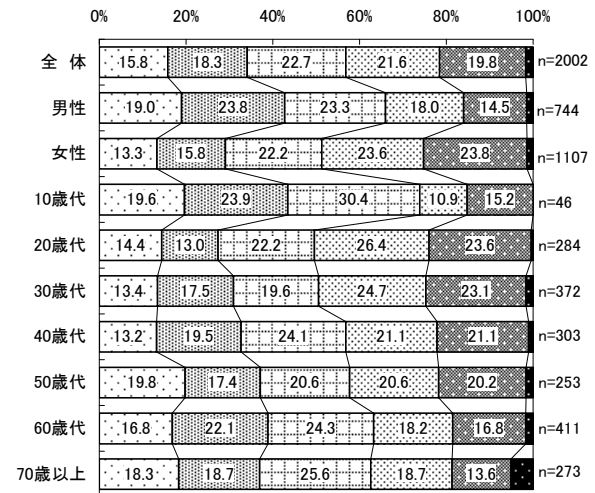
◆ 定期的にスポーツ・運動をしているかについては、全体の約3割（34.1%）が“運動している”（「そう思う」+「まあそう思う」と回答している）。

一方、“運動していない”（「あまり思わない」+「思わない」）人は、全体の約4割（41.4%）を占めており、“運動している”人よりも多くなっている。

◆ 男女別では、女性の約5割（47.4%）が“運動していない”と回答しており、男性よりも高くなっている。

◆ 年代別では、10歳代で“運動している”人が約4割（43.5%）を占めており、他の年代よりも高くなっている。

□ そう思う ■ まあそう思う □ どちらともいえない
 □ あまり思わない ■ 思わない ■ 無回答



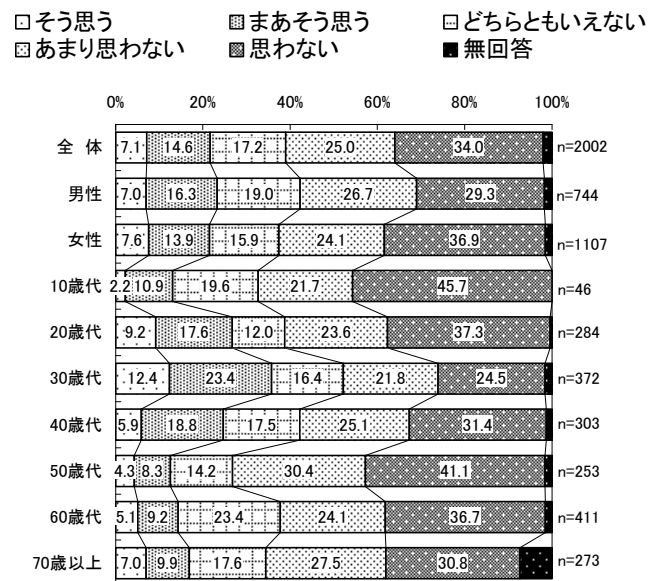
11. 近くの公園や広場などを利用している

- ◆ 近くの公園や広場などを利用しているかについては、全体の約2割（21.7%）が“利用している”（「そう思う」+「まあそう思う」）と回答している。

一方、“利用していない”（「あまり思わない」+「思わない」）人は、全体の約6割（59.0%）を占めており、“利用している”人よりも多くなっている。

- ◆ 男女別では、男性よりも女性のほうが“利用していない”割合がやや高くなっている。

- ◆ 年代別では、30歳代で“利用している”人が約4割（35.8%）を占めており、他の年代よりも高くなっている。



12. 公共交通機関を利用するようにしている

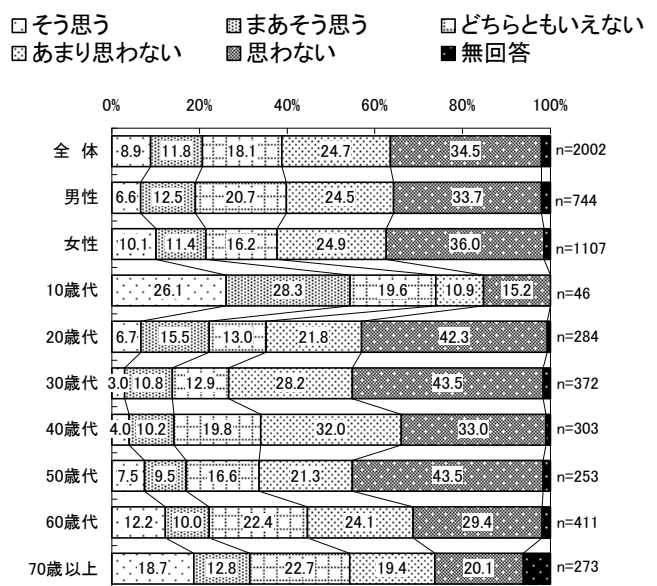
- ◆ 公共交通機関を利用するようにしているかについては、全体の約2割（20.7%）が“利用している”（「そう思う」+「まあそう思う」）と回答している。

一方、“利用していない”（「あまり思わない」+「思わない」）人は、全体の約6割（59.2%）を占めており、“利用している”人よりも多くなっている。

- ◆ 男女別では、大きな差はみられない。

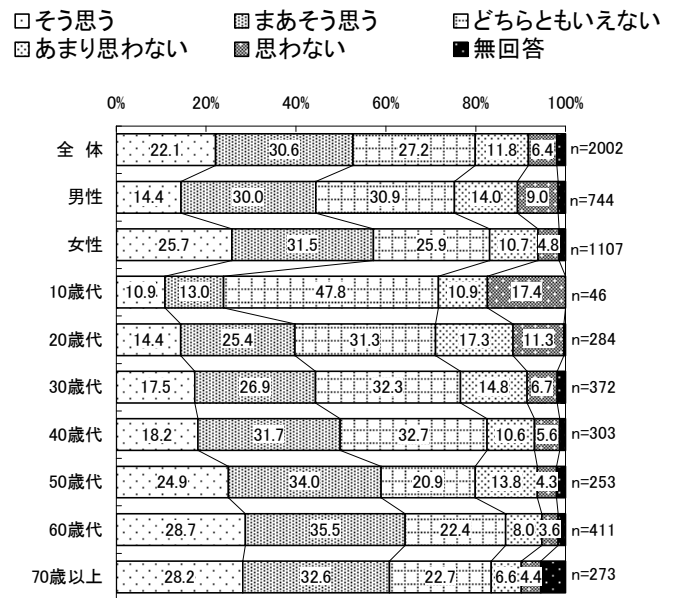
- ◆ 年代別では、10歳代で“利用している”人が約5割（54.4%）を占めており、他の年代よりも高くなっている。

また、30歳代～70歳以上では、年齢層が高くなるほど、“利用している”人の割合が高くなる傾向にある。



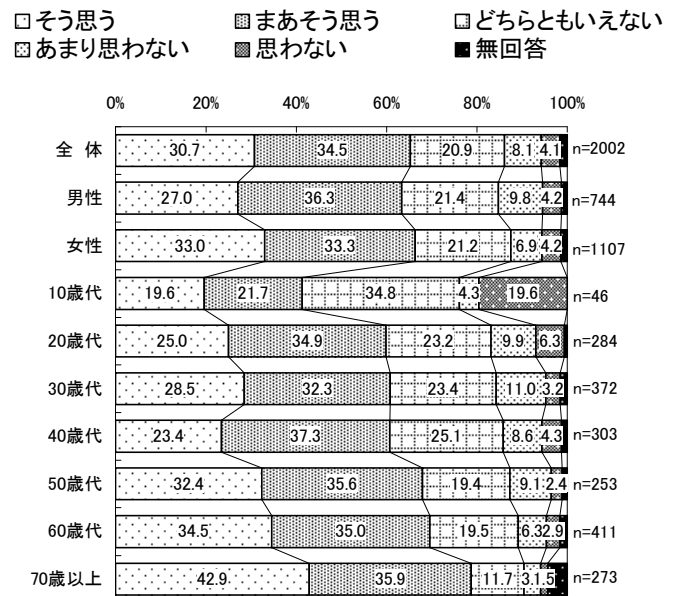
13. 地元の農産物を購入したいと思っている

- ◆ 地元の農産物を購入したいと思っているかについては、全体の約5割（52.7%）が“思っている”（「そう思う」+「まあそう思う」）と回答している。
一方、“思っていない”（「あまり思わない」+「思わない」）人は、全体の約2割（18.2%）となっている。
- ◆ 男女別では、男性よりも女性のほうが“思っている”割合が高くなっている。
- ◆ 年代別では、年齢層が高くなるほど、“思っている”人の割合が高くなる傾向にある。



14. 地元の商店やスーパーを利用するようにしている

- ◆ 地元の商店やスーパーを利用するようにしているかについては、全体の約7割（65.2%）が“利用している”（「そう思う」+「まあそう思う」）と回答している。
一方、“利用していない”（「あまり思わない」+「思わない」）人は、全体の約1割（12.2%）となっている。
- ◆ 男女別では、男性よりも女性のほうが“利用している”割合がやや高くなっている。
- ◆ 年代別では、年齢層が高くなるほど、“利用している”人の割合が高くなる傾向にある。



15. 地元の行事やお祭りに参加している

◆ 地元の行事やお祭りに参加しているかについては、全体の約3割（29.8%）が“参加している”（「そう思う」+「まあそう思う」）と回答している。

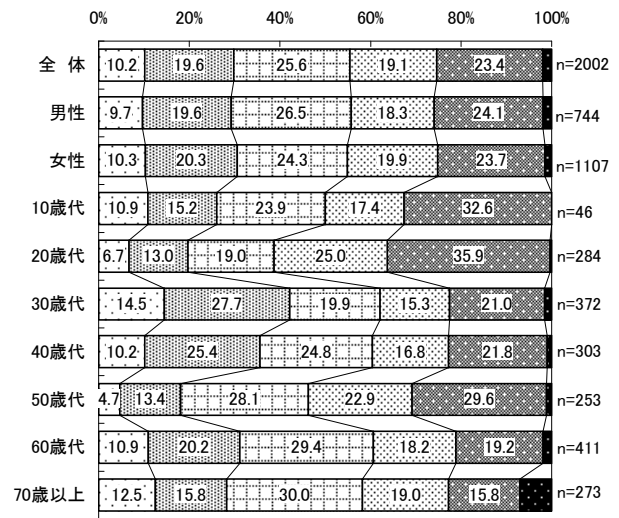
一方、“参加していない”（「あまり思わない」+「思わない」）人は、全体の約4割（42.5%）を占めており、“参加している”人よりも多くなっている。

◆ 男女別では、大きな差はみられない。

◆ 年代別では、30歳代で“参加している”人が約4割（42.2%）を占めており、他の年代よりも高くなっている。

一方、“参加していない”人は、20歳代と50歳代で5割を超える結果となっている。

□ そう思う ■ まあそう思う □ どちらともいえない
 □ あまり思わない ■ 思わない ■ 無回答



16. 他の世代の人と交流している

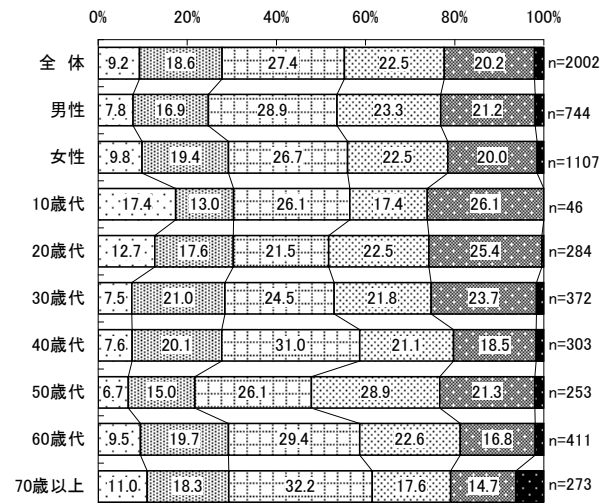
◆ 他の世代の人と交流しているかについては、全体の約3割（27.8%）が“交流している”（「そう思う」+「まあそう思う」）と回答している。

一方、“交流していない”（「あまり思わない」+「思わない」）人は、全体の約4割（42.7%）を占めており、“交流している”人よりも多くなっている。

◆ 男女別では、男性よりも女性のほうが“交流している”割合がやや高くなっている。

◆ 年代別では、50歳代で“交流していない”人が5割を超える結果（50.2%）となっている。

□ そう思う ■ まあそう思う □ どちらともいえない
 □ あまり思わない ■ 思わない ■ 無回答



17. 地域に住む外国人と交流している

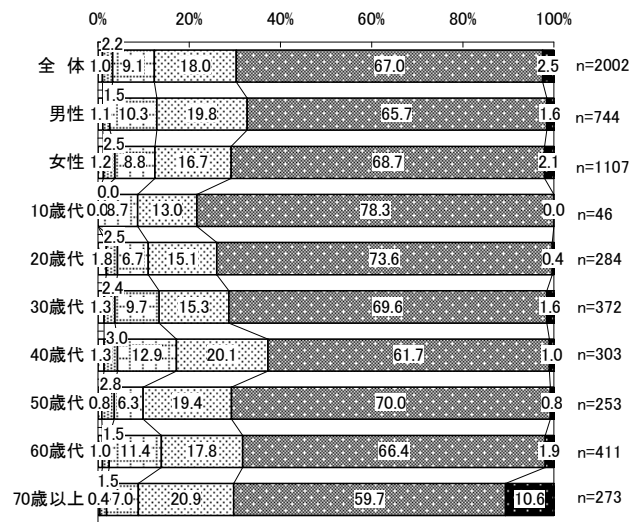
◆ 地域に住む外国人と交流しているかについては、“交流している”（「そう思う」+「まあそう思う」）人は、全体の1割にも満たない結果（3.2%）となっている。

一方、“交流していない”（「あまり思わない」+「思わない」）人は、全体の約9割（85.0%）を占めている。

◆ 男女別では、大きな差はみられない。

◆ 年代別では、どの年代でも“交流していない”人が8割を超える結果となっている。

□ そう思う ■ まあそう思う □ どちらともいえない
 □ あまり思わない ■ 思わない ■ 無回答



18. 広報とうごうを毎月（毎号）読んでいる

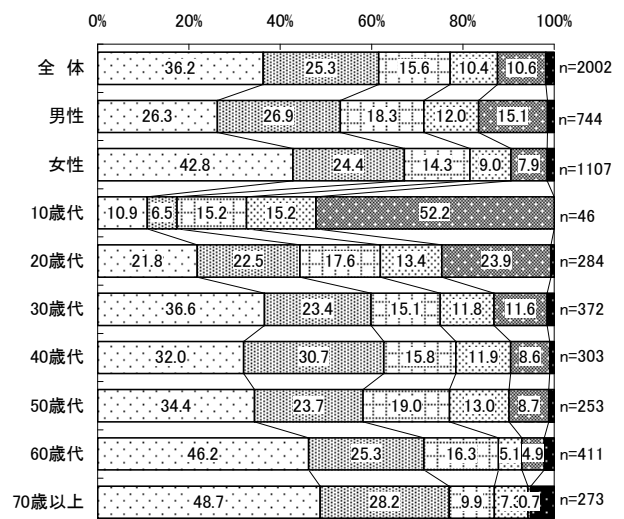
◆ 広報とうごうを読んでいるかについては、全体の約6割（61.5%）が“読んでいる”（「そう思う」+「まあそう思う」）と回答している。

一方、“読んでいない”（「あまり思わない」+「思わない」）人は、全体の約2割（21.0%）となっている。

◆ 男女別では、男性よりも女性のほうが“読んでいる”割合が高くなっている。

◆ 年代別では、年齢層が高くなるほど、“読んでいる”人の割合が高くなる傾向にある。

□ そう思う ■ まあそう思う □ どちらともいえない
 □ あまり思わない ■ 思わない ■ 無回答



19. 普段からインターネットを利用している

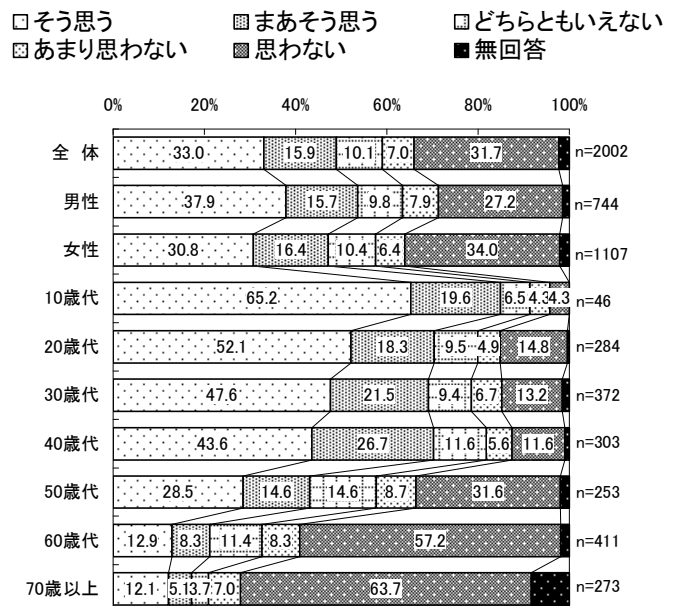
◆ 普段からインターネットを利用しているについては、全体の約5割（48.9%）が“利用している”（「そう思う」+「まあそう思う」）と回答している。

一方、“利用していない”（「あまり思わない」+「思わない」）人は、全体の約4割（38.7%）となっている。

◆ 男女別では、女性よりも男性のほうが“利用している”割合が高くなっている。

◆ 年代別では、10歳代で“利用している”人の割合が最も高くなっており、10歳代～40歳代のどの年代も“利用している”人は7割近いか、それ以上の割合を占めている。

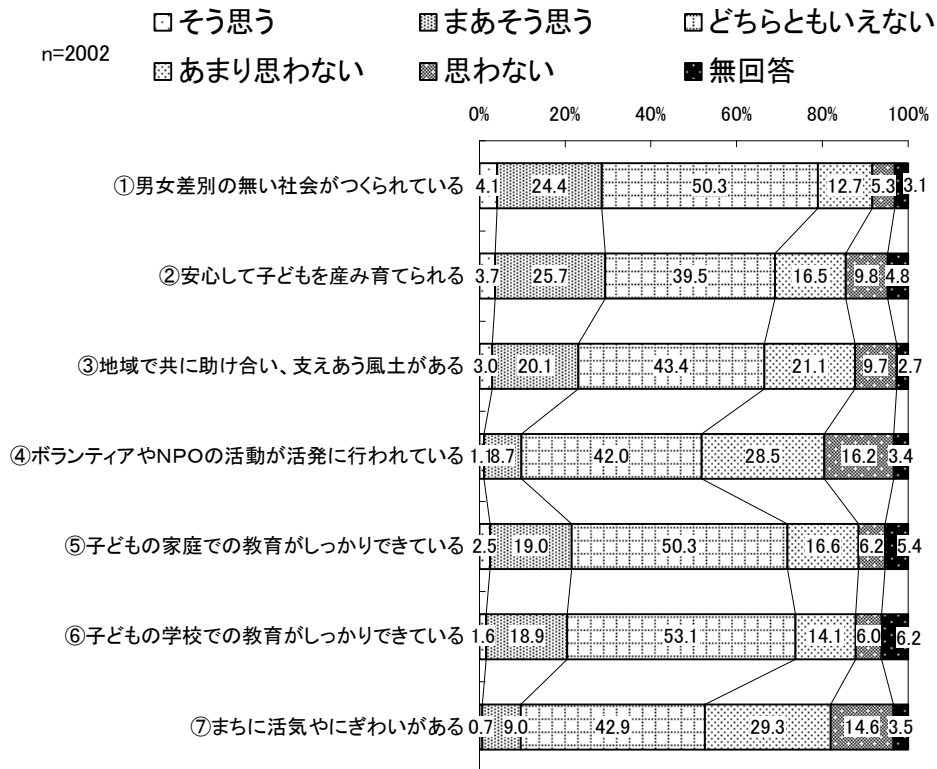
一方、50歳代～70歳以上では“利用していない”人の割合が高くなっており、高年齢になるほど、インターネットから疎遠になっている傾向にある。



3-2 地域に対する意識

問4 地域に対する意識について、あてはまる番号を1つずつ選んでください。

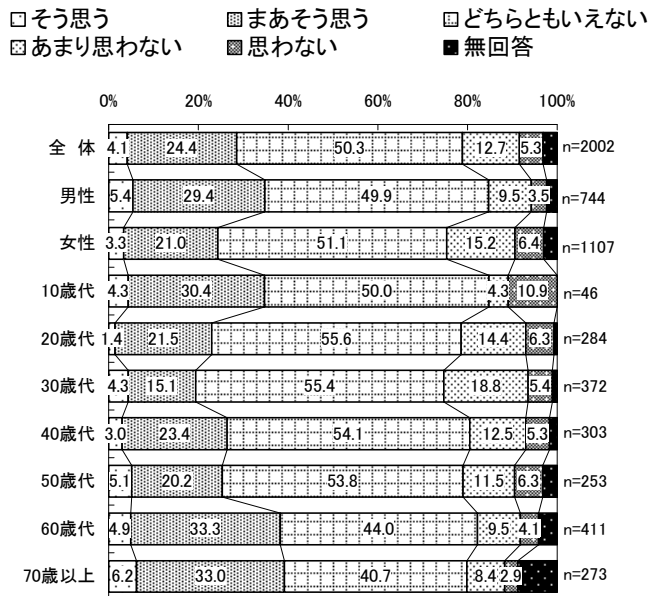
- ◆ 地域に対する意識について、“そう思う”（「そう思う」+「まあそう思う」）と回答した人は、7つの項目すべてにおいて3割に満たない結果となっている。
 最も“そう思う”人が多かった項目は「②安心して子どもを産み育てられる」の29.4%、次いで「①男女差別のない社会がつけられている」（28.5%）、「③地域で共に助け合い、支えあう風土がある」（23.1%）の順となっている。
 一方、“そう思わない”（「あまり思わない」+「思わない」）人が最も多かった項目は「④ボランティアやNPOの活動が活発に行われている」の44.7%、次いで「⑦まちに活気やにぎわいがある」（43.9%）、「③地域で共に助け合い、支えあう風土がある」（30.8%）、「②安心して子どもを産み育てられる」（26.3%）の順となっている。



【問4 個別項目分析】

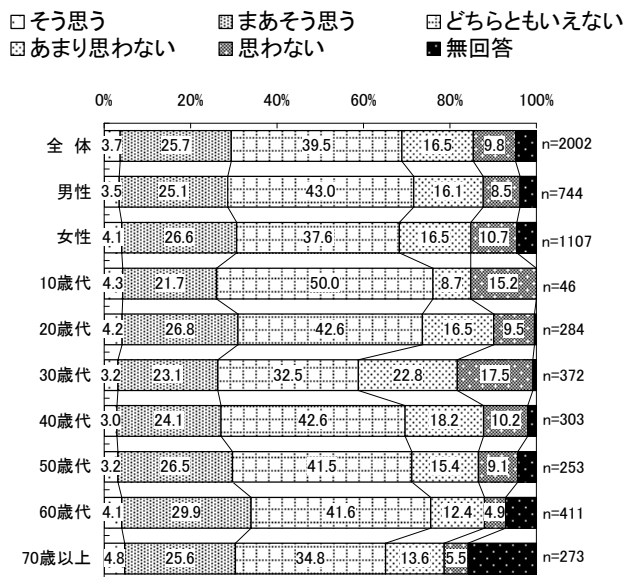
1. 男女差別のない社会がつくられている

- ◆ 男女別では、“そう思う”人の割合が男性34.8%、女性24.3%と、女性の方が10.5ポイント低くなっている。
- ◆ 年代別では、10歳代・60歳代・70歳以上で“そう思う”人が3割以上を占めており、他の年代よりも高くなっている。



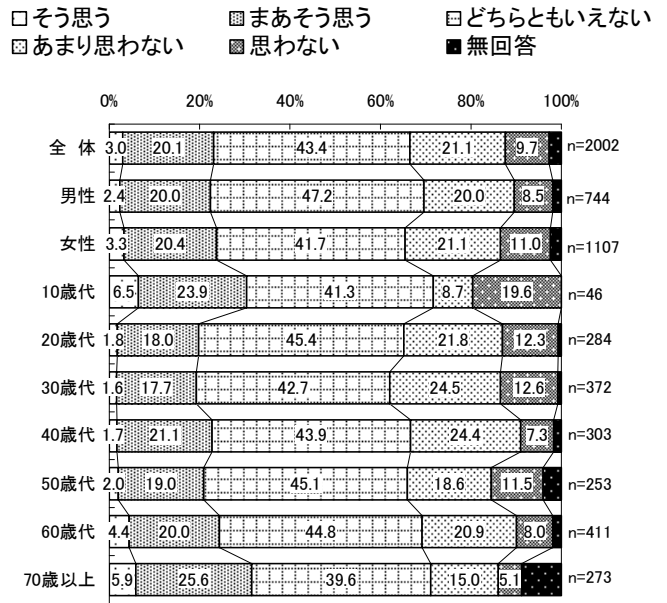
2. 安心して子どもを産み育てられる

- ◆ 男女別では、大きな差はみられない。
- ◆ 年代別では、30歳代で“そう思わない”人が約4割（40.3%）を占めており、他の年代よりも高くなっている。



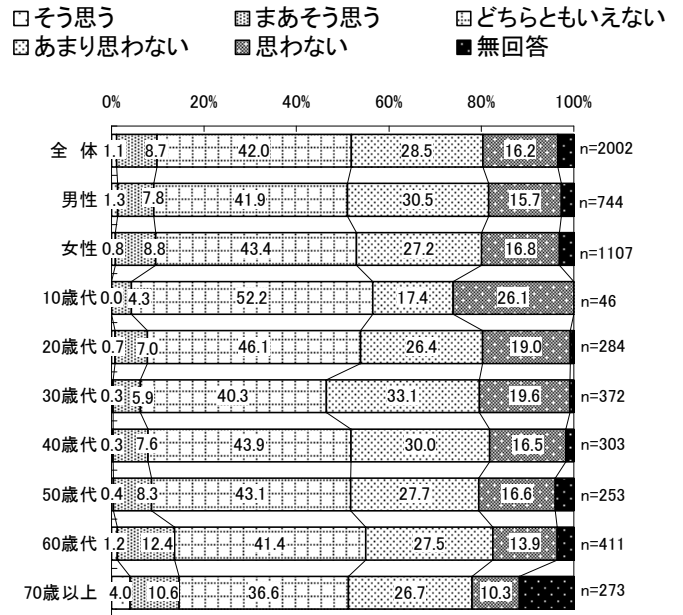
3. 地域で共に助け合い、支えあう風土がある

- ◆ 男女別では、男性よりも女性のほうが、“そう思う”割合がやや高くなっている。
- ◆ 年代別では、10歳代と70歳以上で“そう思う”人が3割以上を占めており、他の年代よりも高くなっている。



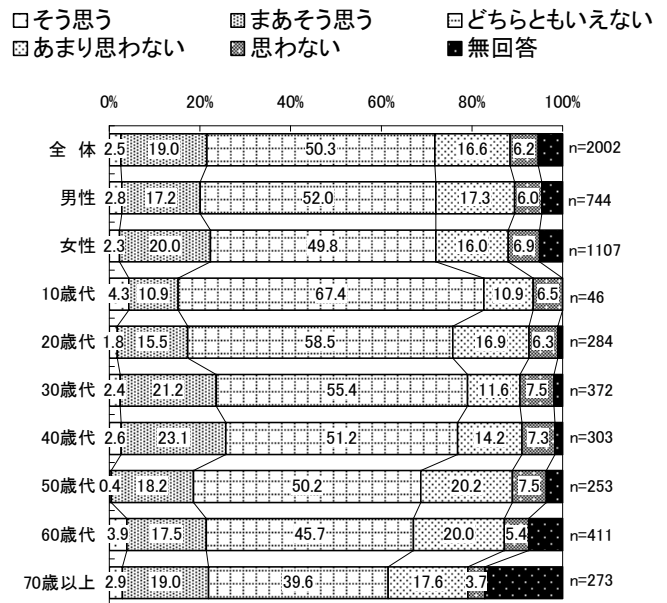
4. ボランティアやNPOの活動が活発に行われている

- ◆ 男女別では、大きな差は見られない。
- ◆ 年代別では、どの年代も“そう思う”人よりも“そう思わない”人の割合が高くなっている。



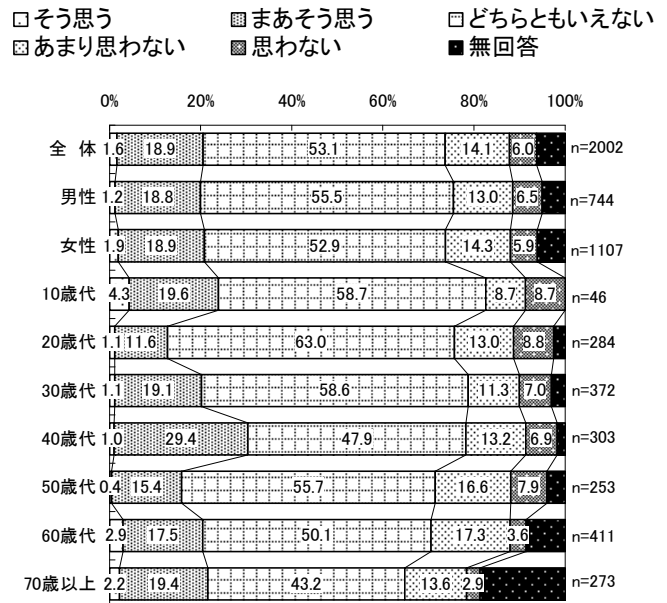
5. 子どもの家庭での教育がしっかりできている

- ◆ 男女別では、大きな差は見られない。
- ◆ 年代別では、10歳代～40歳代で年齢層が高くなるほど、“そう思う”人の割合が高くなる傾向にある。



6. 子どもの学校での教育がしっかりできている

- ◆ 男女別では、大きな差は見られない。
- ◆ 年代別では、40歳代で“そう思う”人が約3割（30.4%）を占めており、他の年代よりも高くなっている。



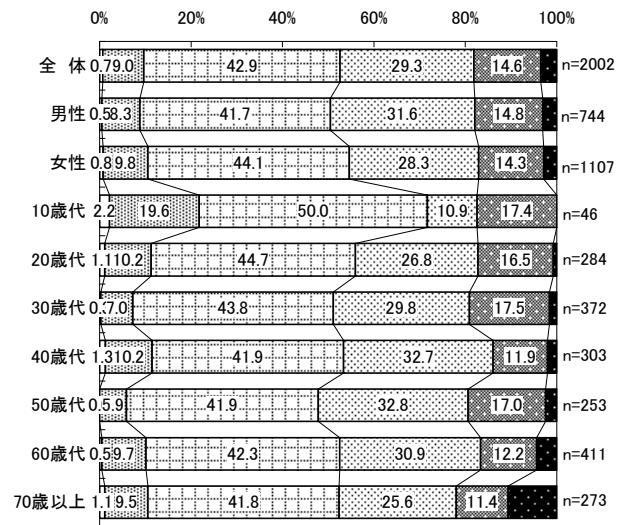
7. まちに活気やにぎわいがある

◆ 男女別では、女性よりも男性のほうが“そう思わない”割合がやや高くなっている。

◆ 年代別では、「10歳代」を除き、どの年代も“そう思わない”人が約4割か、それ以上を占めている。

一方、10歳代では、“そう思う”人の割合が約2割（21.8%）を占めており、他の年代よりも高くなっている。

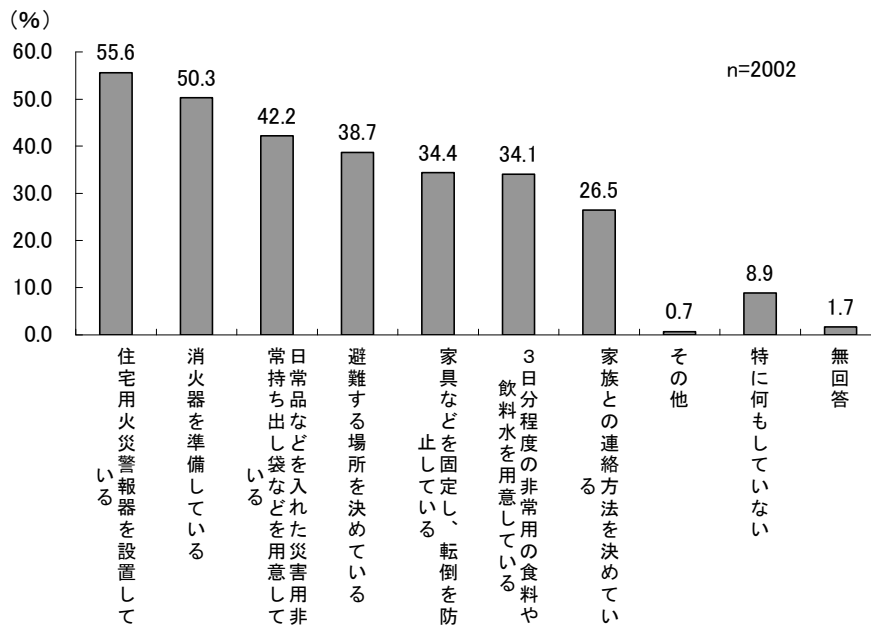
□ そう思う ■ まあそう思う □ どちらともいえない
 □ あまり思わない ■ 思わない ■ 無回答



3-3 災害に対する備え

問5 あなたのご家庭では、地震や風水害、火災などの災害が起こった場合に備えて、どのような対策をとっていますか？
あてはまる番号をすべて選んでください。

- ◆ 災害に対する備えについては、「住宅用火災警報機を設置している」が55.6%と最も多く、次いで「消火器を準備している」(50.3%)、「日常品などを入れた災害用非常持ち出し袋などを用意している」(42.2%)の順となっている。
一方、「特に何もしていない」人は約1割(8.9%)となっている。



- ◆ 家族構成別については、各世帯で最も回答率が高い項目を、次の表に網掛けとして示した。
「ひとり暮らし」「夫婦だけ」「親と子(2世代)」では「住宅用火災警報機を設置している」、
「親と子と祖父母(3世代)」では「消火器を準備している」が最も高くなっている。
また、「ひとり暮らし」世帯においては、いずれの項目でも回答率が他の年代よりも低い傾向にあるが、「特に何もしていない」では最も高い割合となっている。

	全体 (n)	住宅用火災警報機を設置している	消火器を準備している	日常品などを入れた災害用非常持ち出し袋などを用意している	避難する場所を決めている	家具などを固定し、転倒を防止している	3日分程度の非常用の食料や飲料水を用意している	家族との連絡方法を決めている	特に何もしていない	その他	無回答
全体	2002	55.6	50.3	42.2	38.7	34.4	34.1	26.5	8.9	0.7	1.7
ひとり暮らし	285	57.5	43.9	31.9	27.4	21.8	29.8	15.8	15.8	1.1	2.5
夫婦だけ	494	61.3	59.3	42.5	38.9	37.0	38.1	27.3	7.1	0.2	1.2
親と子(2世代)	945	53.9	46.3	45.6	41.5	37.1	32.9	29.5	7.6	0.7	1.8
親と子と祖父母(3世代)	156	53.8	57.1	41.7	41.7	34.6	35.3	23.7	8.3	0.6	1.9
その他	79	45.6	51.9	40.5	38.0	27.8	38.0	29.1	10.1	2.5	-

4 東郷町の取り組みについて

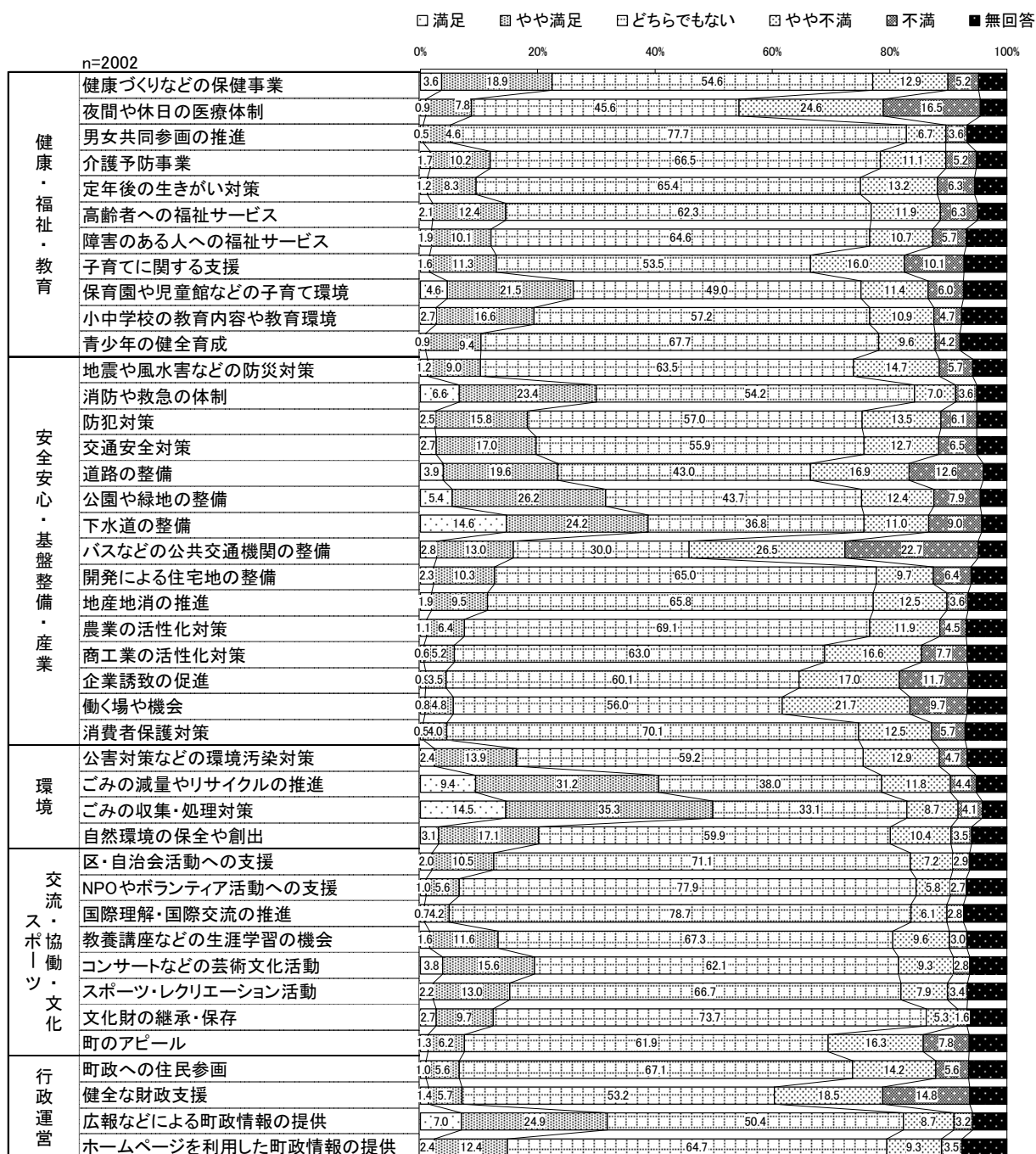
4-1 東郷町の取り組みについての重要度・満足度

問6 東郷町の取り組みについて具体的にお伺いします。それぞれの項目についてどの程度満足していますか。また、どの程度重要だとお考えですか？

満足度と重要度について、今のお気持ちに最も近い番号をそれぞれ1つずつ選んでください。

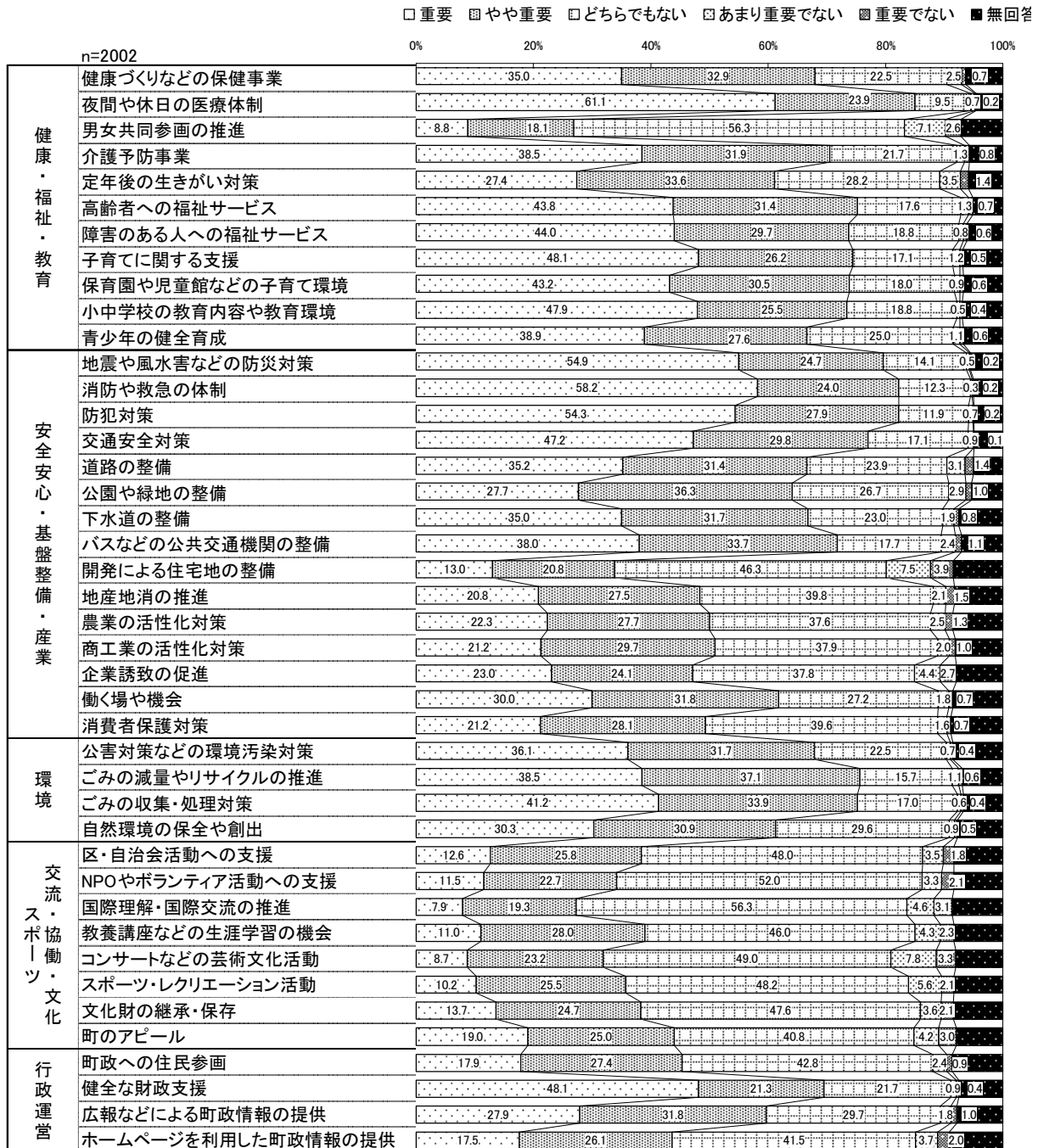
【満足度】

- ◆ 東郷町の取り組みについての各項目の満足度をみると、“満足している”（「満足」+「やや満足」）人が最も多い項目は「ごみの収集・処理対策」で約5割（49.8%）となっている。一方、“不満である”人が最も多い項目は「バスなどの公共交通機関の整備」で約5割（49.2%）となっている。



【重要度】

◆ 東郷町の取り組みについての各項目の重要度をみると、“重要である”（「重要」+「やや重要」）と回答した人が最も多かった項目は、「夜間や休日の医療体制」で8割以上（85.0%）を占めている。次いで、「消防や救急の体制」（82.2%）、「防犯対策」（82.2%）の順となっている。



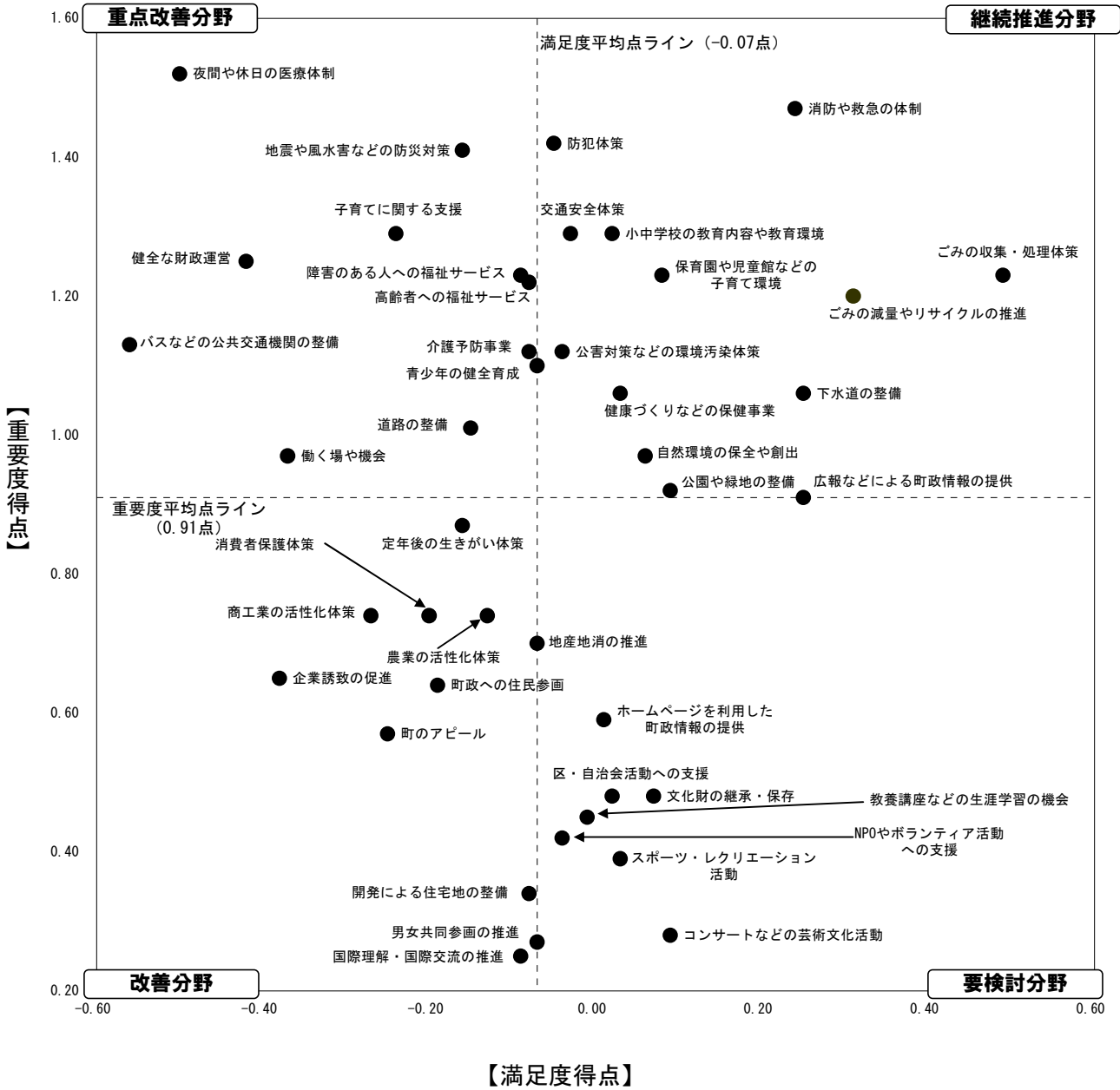
【満足度得点と重要度得点の関係】

- ◆ 問6について、各施策についてのアンケートの集計結果を、下表の点数に換算し加重平均をとることで、「現在の満足度」と「今後の重要度」を点数化した。

満足度		重要度	
1. 満足	2点	1. 重要	2点
2. やや満足	1点	2. やや重要	1点
3. どちらでもない	0点	3. どちらでもない	0点
4. やや不満	-1点	4. あまり重要でない	-1点
5. 不満	-2点	5. 重要でない	-2点
無回答	除外	無回答	除外

- ◆ 上記の内容で点数化した結果の散布図を次頁に示す。
また、全施策の「満足度」の平均点は-0.07点、「重要度」の平均点は0.91点であった。
施策は満足度と重要度の点数から、大きく次の4種類に分類することができる
- ① **満足度も重要度も高い施策の方向性【継続推進分野】**
住民ニーズは大きいですが、ほぼそれに見合った行政サービスが提供されており、今後とも現在の水準を維持していく。
- ② **満足度が高く、重要度が低い施策の方向性【要検討分野】**
住民ニーズはそれほど大きくないが、行政サービスは十分提供されている。今後は、住民ニーズの動向に注視しながら、施策の力の入れ方の増減を図る必要がある。
- ③ **満足度が低く、重要度が高い施策の方向性【重点改善分野】**
住民ニーズは大きいですが、行政サービスがそれに追いついていない。今後は、重点的に資源を投入していく必要がある。
- ④ **満足度も重要度も低い施策の方向性【改善分野】**
住民ニーズはそれほど小さくなく、満足度も低い。今後は、施策の方向性や必要性、また、行政が自らサービスすべきか、企業、地域、個人がすべきかなど、その役割分担について検討する必要がある。

【満足度得点と重要度得点の散布図】



◆ 前頁散布図内の項目全ての満足度得点、および重要度得点は右の表の通りである。

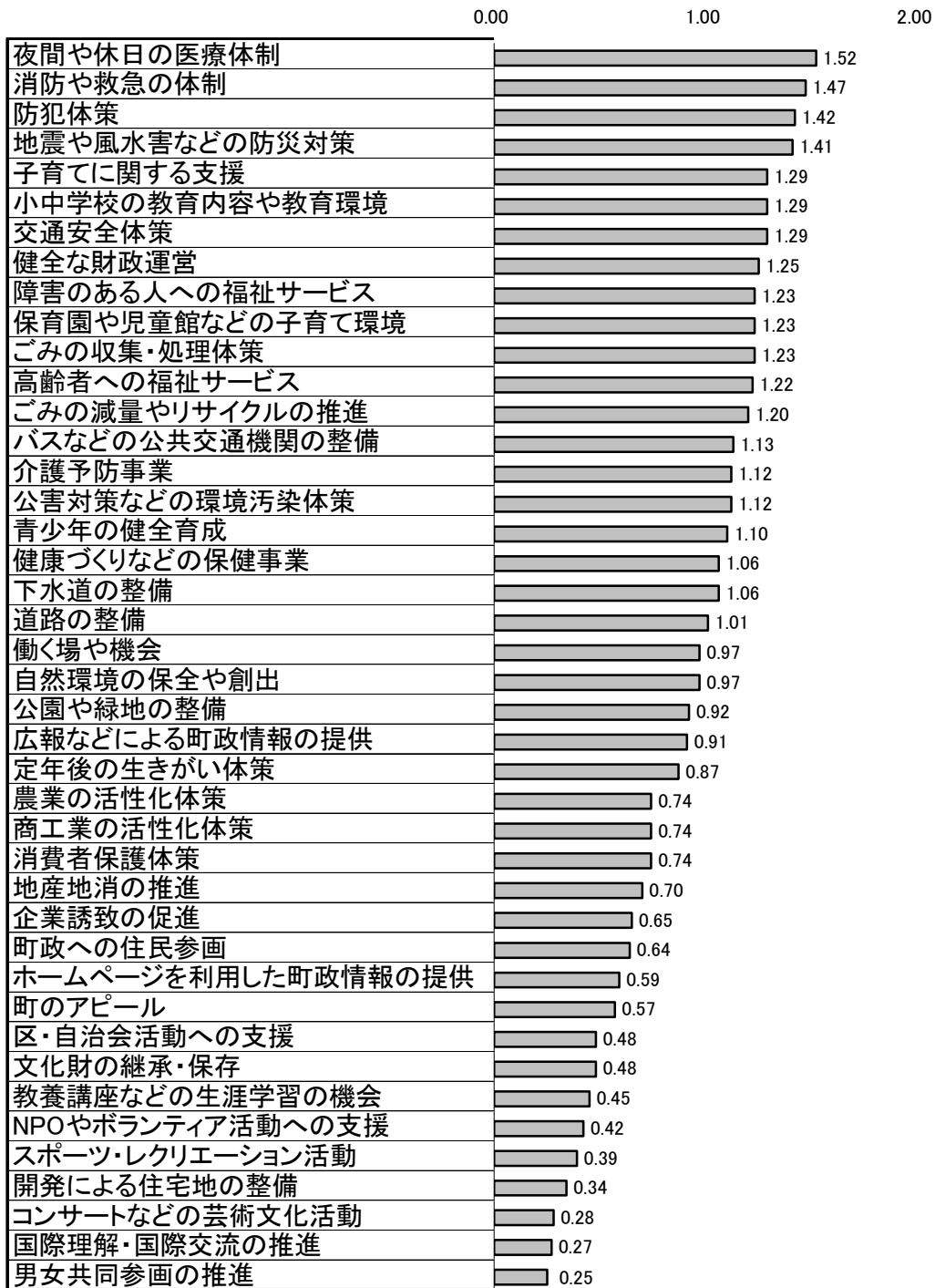
分類	項目	満足度得点	重要度得点
健康・福祉・教育	健康づくりなどの保健事業	0.03	1.06
	夜間や休日の医療体制	-0.50	1.52
	男女共同参画の推進	-0.09	0.25
	介護予防事業	-0.08	1.12
	定年後の生きがい体策	-0.16	0.87
	高齢者への福祉サービス	-0.08	1.22
	障害のある人への福祉サービス	-0.09	1.23
	子育てに関する支援	-0.24	1.29
	保育園や児童館などの子育て環境	0.08	1.23
	小中学校の教育内容や教育環境	0.02	1.29
	青少年の健全育成	-0.07	1.10
安全安心・基盤整備・産業	地震や風水害などの防災対策	-0.16	1.41
	消防や救急の体制	0.24	1.47
	防犯体策	-0.05	1.42
	交通安全体策	-0.03	1.29
	道路の整備	-0.15	1.01
	公園や緑地の整備	0.09	0.92
	下水道の整備	0.25	1.06
	バスなどの公共交通機関の整備	-0.56	1.13
	開発による住宅地の整備	-0.08	0.34
	地産地消の推進	-0.07	0.70
	農業の活性化体策	-0.13	0.74
	商工業の活性化体策	-0.27	0.74
	企業誘致の促進	-0.38	0.65
環境	働く場や機会	-0.37	0.97
	消費者保護体策	-0.20	0.74
	公害対策などの環境汚染体策	-0.04	1.12
	ごみの減量やリサイクルの推進	0.31	1.20
交流・協働・文化	ごみの収集・処理体策	0.49	1.23
	自然環境の保全や創出	0.06	0.97
	区・自治会活動への支援	0.02	0.48
	NPOやボランティア活動への支援	-0.04	0.42
	国際理解・国際交流の推進	-0.07	0.27
	教養講座などの生涯学習の機会	-0.01	0.45
	コンサートなどの芸術文化活動	0.09	0.28
	スポーツ・レクリエーション活動	0.03	0.39
行政運営	文化財の継承・保存	0.07	0.48
	町のアピール	-0.25	0.57
	町政への住民参画	-0.19	0.64
	健全な財政運営	-0.42	1.25
	広報などによる町政情報の提供	0.25	0.91
	ホームページを利用した町政情報の提供	0.01	0.59

【各項目の満足度得点（降順）】



◆ 各項目の満足度得点を降順でグラフ化した。最も満足度得点が高い項目は「ごみ収集・処理対策」となっている。一方、最も満足度得点が高い項目が、「バスなどの公共交通機関の整備」となっている。

【各項目の重要度得点（降順）】



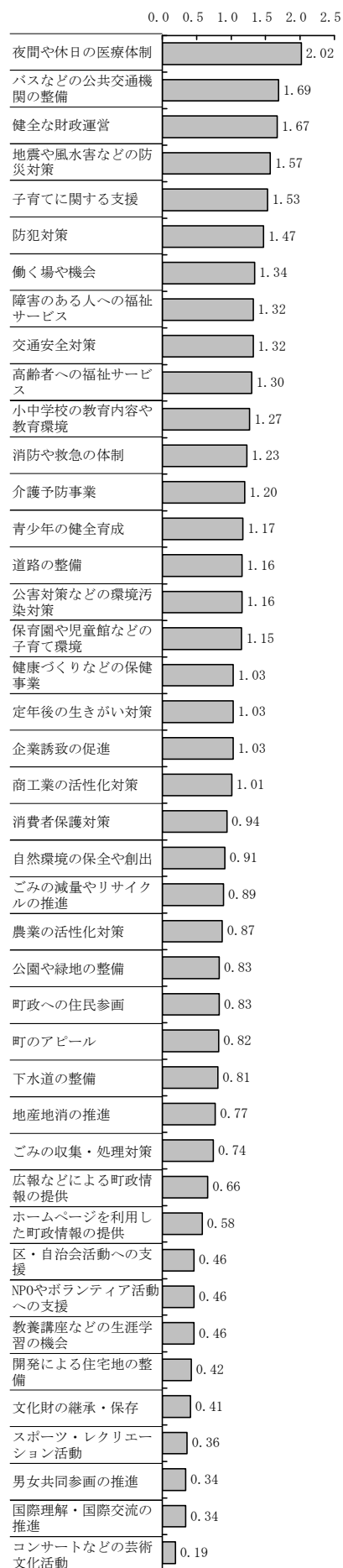
◆ 各項目の重要度得点を降順でグラフ化した。最も重要度得点が高い項目は「夜間や休日の医療体制」となっている。一方、最も重要度得点が高い項目が、「男女共同参画の推進」となっている。

【満足度と重要度の認識の差】

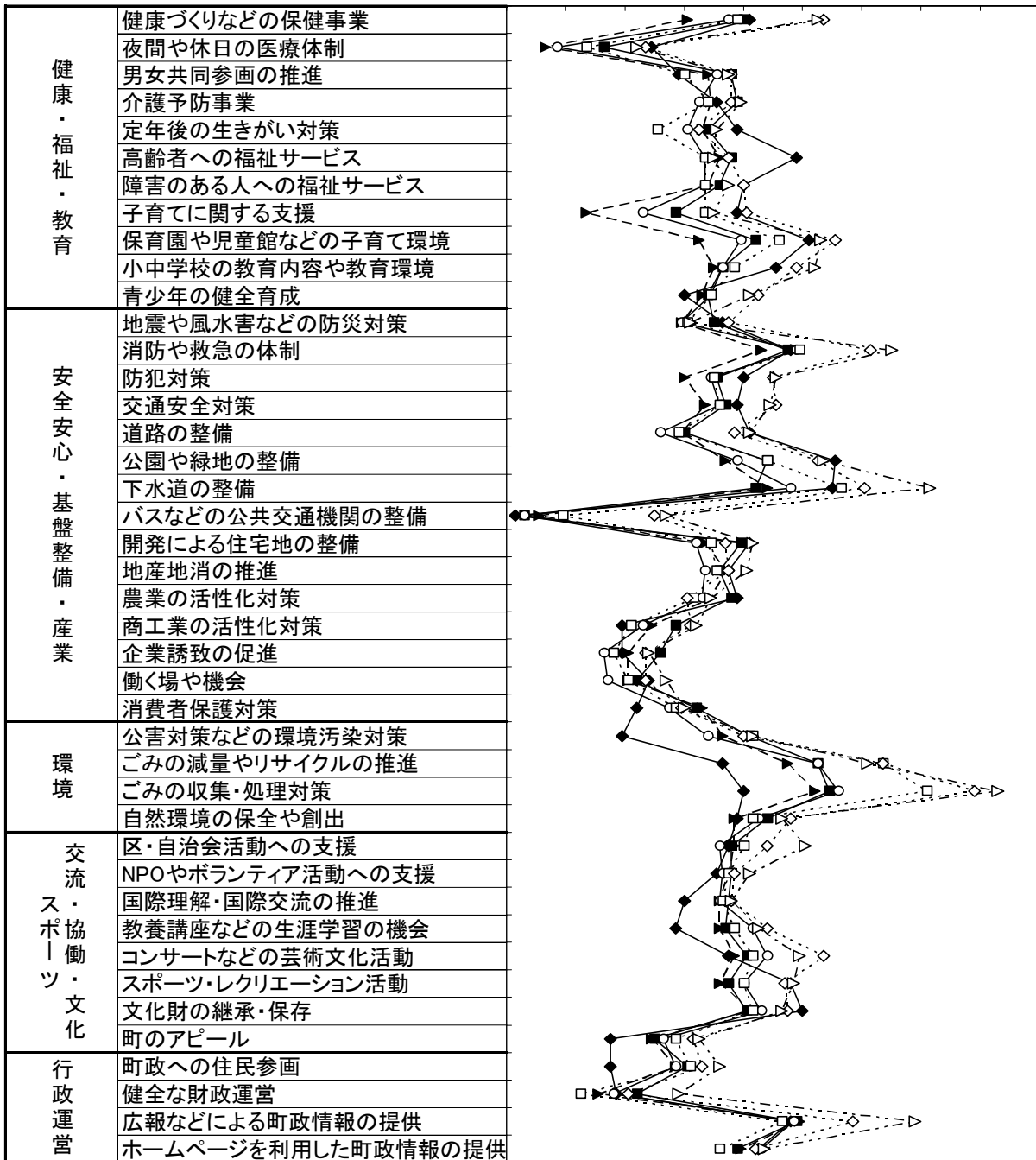
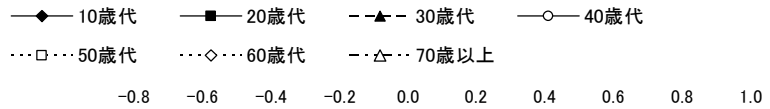
- ◆ 問6の各項目に関して、満足度と重要度の認識の差について比較するため、以下の手順で認識の差を示す数値を算出した。

$$\text{重要度得点} - \text{満足度得点} = \text{満足度と重要度の認識の差}$$

- ◆ 重要度得点が高く、満足度得点が低いほど認識の差の数値が高くなる結果となる。
- ◆ 最も認識の差の数値が高かった（重要度が高いが満足度は低い）項目は「夜間や休日の利用体制」で2.02点となっている。次いで「バスなどの公共交通機関の整備」（1.69点）、「健全な財政運営」（1.67点）、「地震や風水害などの防災対策」（1.57点）、「子育てに関する支援」（1.53点）の順となっている。



【年齢別満足度得点】

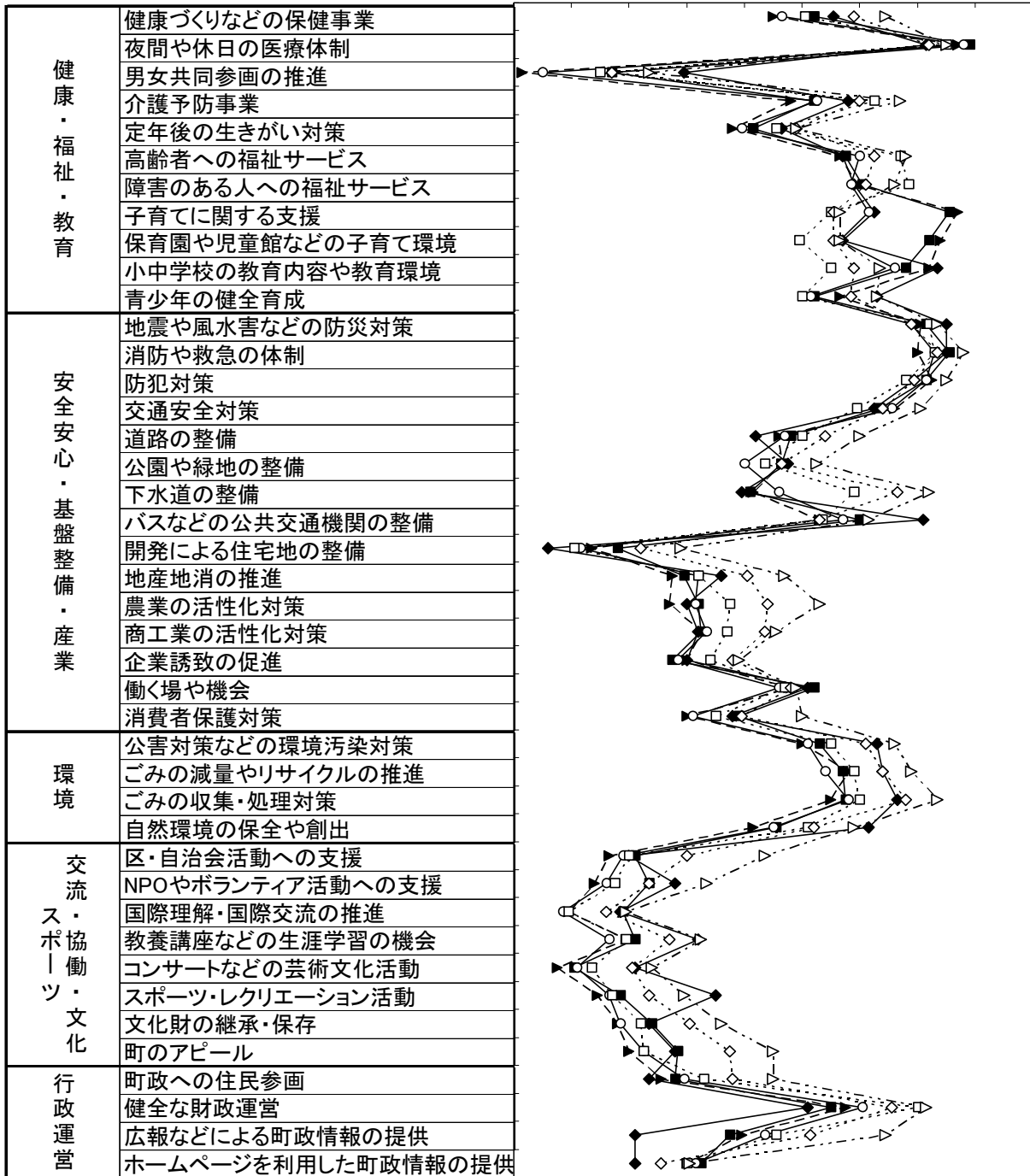
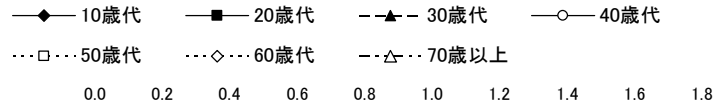


◆ 東郷町の取り組みについての年代別の満足度得点を、グラフと次頁の表で示した。次頁の表については、各年代で最も満足度得点が低かった項目は網掛けとして示してある。

「バスなどの公共交通機関の整備」については「10～50 歳代」において最も満足度得点が低くなっている。また、「60 歳代」では「健全な財政運営」、「70 歳以上」では「夜間や休日の医療体制」において、最も満足度得点が低くなっている。

満足度		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
健康・福祉・教育	健康づくりなどの保健事業	0.02	0.00	-0.19	-0.05	-0.02	0.27	0.25
	夜間や休日の医療体制	-0.31	-0.47	-0.67	-0.63	-0.53	-0.33	-0.36
	男女共同参画の推進	-0.22	-0.04	-0.12	-0.09	-0.20	-0.04	-0.05
	介護予防事業	-0.09	-0.02	-0.11	-0.15	-0.12	-0.04	-0.01
	定年後の生きがい対策	-0.02	-0.12	-0.14	-0.19	-0.29	-0.15	-0.09
	高齢者への福祉サービス	0.18	-0.04	-0.08	-0.13	-0.13	-0.05	-0.10
	障害のある人への福祉サービス	0.00	-0.08	-0.12	-0.13	-0.13	0.00	-0.05
	子育てに関する支援	-0.02	-0.23	-0.53	-0.34	-0.13	0.01	-0.10
	保育園や児童館などの子育て環境	0.22	0.04	-0.15	-0.01	0.12	0.31	0.26
	小中学校の教育内容や教育環境	0.11	-0.07	-0.10	-0.07	-0.03	0.18	0.24
青少年の健全育成	-0.20	-0.12	-0.14	-0.11	-0.11	0.05	0.02	
安全安心・基盤整備・産業	地震や風水害などの防災対策	-0.07	-0.10	-0.21	-0.21	-0.19	-0.05	-0.18
	消防や救急の体制	0.16	0.15	0.06	0.18	0.19	0.43	0.50
	防犯対策	0.00	-0.09	-0.20	-0.11	-0.10	0.10	0.11
	交通安全対策	-0.02	-0.06	-0.13	-0.08	-0.08	0.11	0.09
	道路の整備	0.02	-0.20	-0.21	-0.28	-0.22	-0.03	0.02
	公園や緑地の整備	0.31	0.08	-0.06	-0.02	0.08	0.25	0.27
	下水道の整備	0.30	0.04	0.08	0.16	0.33	0.41	0.63
	バスなどの公共交通機関の整備	-0.77	-0.74	-0.69	-0.74	-0.61	-0.30	-0.26
	開発による住宅地の整備	0.02	-0.01	-0.13	-0.16	-0.11	-0.06	0.03
	地産地消の推進	-0.05	-0.08	-0.06	-0.13	-0.09	-0.05	0.01
	農業の活性化対策	-0.02	-0.04	-0.11	-0.14	-0.17	-0.19	-0.11
	商工業の活性化対策	-0.41	-0.23	-0.31	-0.34	-0.38	-0.18	-0.16
企業誘致の促進	-0.41	-0.28	-0.39	-0.47	-0.44	-0.33	-0.32	
環境	働く場や機会	-0.32	-0.36	-0.39	-0.46	-0.39	-0.33	-0.26
	消費者保護対策	-0.36	-0.16	-0.14	-0.25	-0.23	-0.21	-0.20
	公害対策などの環境汚染対策	-0.41	0.02	-0.07	-0.12	0.03	0.00	0.03
	ごみの減量やリサイクルの推進	-0.07	0.25	0.15	0.25	0.47	0.47	0.42
交流・スポーツ・協働・文化	ごみの収集・処理対策	0.00	0.29	0.24	0.32	0.62	0.78	0.86
	自然環境の保全や創出	-0.02	0.08	-0.03	0.05	0.03	0.16	0.13
	区・自治会活動への支援	-0.05	-0.04	-0.03	-0.08	0.00	0.08	0.21
	NPOやボランティア活動への支援	-0.09	-0.04	-0.05	-0.07	-0.05	-0.03	0.02
	国際理解・国際交流の推進	-0.20	-0.05	-0.08	-0.08	-0.07	-0.04	-0.04
	教養講座などの生涯学習の機会	-0.23	-0.06	-0.08	0.03	-0.03	0.08	0.05
	コンサートなどの芸術文化活動	-0.05	0.01	-0.03	0.08	0.03	0.27	0.19
行政運営	スポーツ・レクリエーション活動	0.16	-0.05	-0.08	0.00	0.00	0.14	0.17
	文化財の継承・保存	0.20	0.01	0.02	0.06	0.03	0.15	0.13
	町のアピール	-0.45	-0.30	-0.31	-0.27	-0.23	-0.17	-0.15
	町政への住民参画	-0.45	-0.19	-0.23	-0.23	-0.18	-0.14	-0.08
行政運営	健全な財政運営	-0.43	-0.36	-0.49	-0.44	-0.55	-0.39	-0.22
	広報などによる町政情報の提供	0.16	0.18	0.19	0.17	0.13	0.37	0.58
	ホームページを利用した町政情報の提供	0.05	-0.02	-0.01	0.06	-0.08	0.04	0.07

【年齢別重要度得点】



◆ 東郷町の取り組みについての年代別の重要度得点を、グラフと次頁の表で示した。次頁の表については、各年代で最も重要度得点が高かった項目は網掛けとして示してある。

「夜間や休日の医療体制」については「20～50歳代」において最も重要度得点が高くなっている。また、「10歳代」では「消防や救急の体制」と「地震や風水害などの防災対策」、「60～70歳以上」では「消防や救急の体制」において、最も重要度得点が高くなっている。

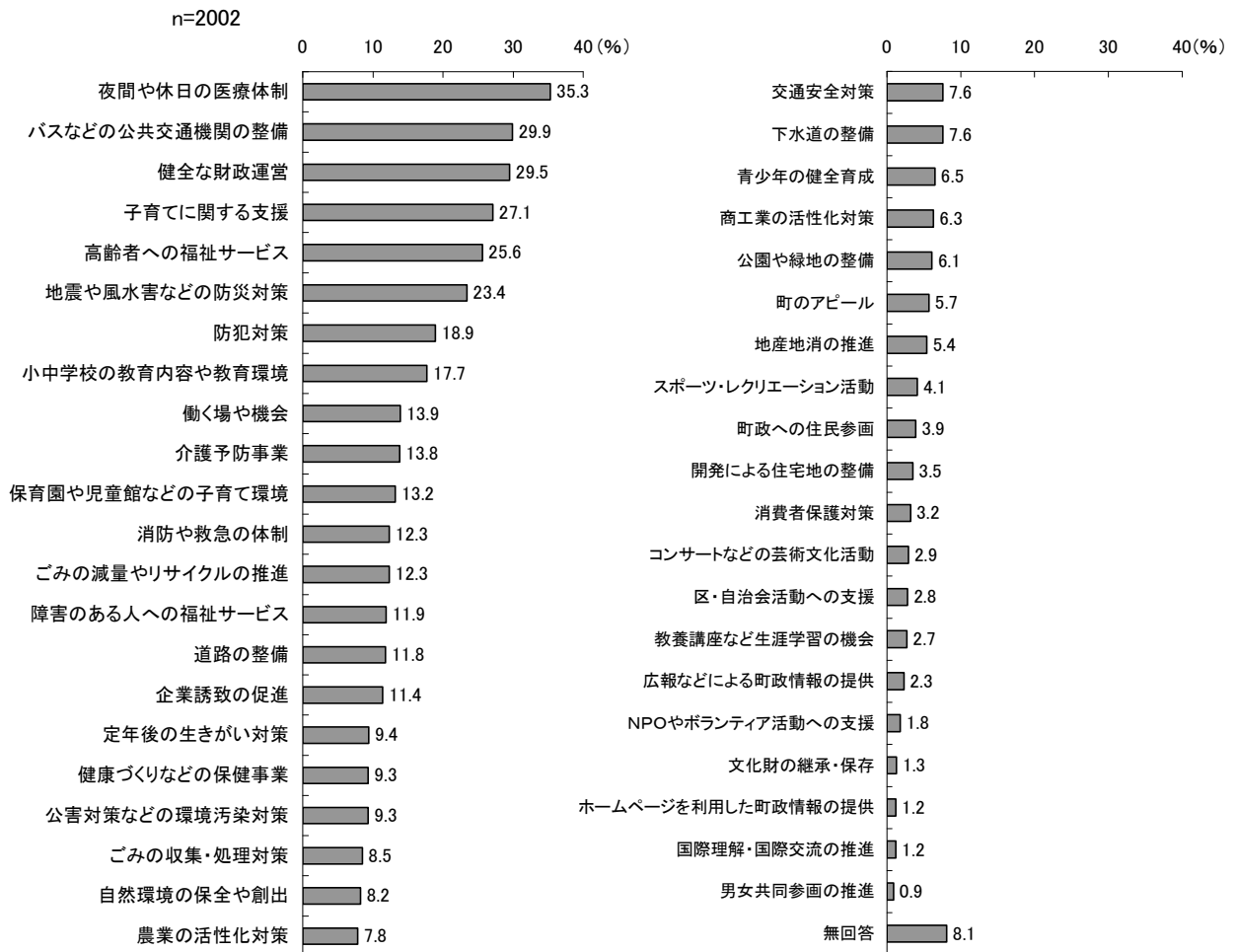
重要度		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
健康・福祉・教育	健康づくりなどの保健事業	1.11	1.04	0.90	0.93	1.01	1.18	1.29
	夜間や休日の医療体制	1.43	1.58	1.54	1.56	1.50	1.44	1.50
	男女共同参画の推進	0.59	0.34	0.03	0.10	0.30	0.34	0.47
	介護予防事業	1.16	1.04	0.96	1.05	1.25	1.20	1.34
	定年後の生きがい対策	0.93	0.83	0.76	0.79	0.91	0.98	0.98
	高齢者への福祉サービス	1.14	1.15	1.13	1.20	1.34	1.25	1.36
	障害のある人への福祉サービス	1.18	1.21	1.19	1.17	1.37	1.22	1.32
	子育てに関する支援	1.25	1.51	1.54	1.23	1.10	1.11	1.13
	保育園や児童館などの子育て環境	1.14	1.44	1.48	1.13	0.99	1.11	1.13
	小中学校の教育内容や教育環境	1.47	1.36	1.44	1.32	1.10	1.18	1.27
	青少年の健全育成	1.26	1.04	1.13	1.03	1.00	1.17	1.26
安全安心・基盤整備・産業	地震や風水害などの防災対策	1.50	1.43	1.41	1.38	1.44	1.38	1.47
	消防や救急の体制	1.50	1.51	1.40	1.46	1.46	1.47	1.56
	防犯対策	1.39	1.43	1.45	1.43	1.36	1.39	1.50
	交通安全対策	1.25	1.27	1.32	1.31	1.19	1.28	1.41
	道路の整備	0.84	0.96	0.92	0.94	1.00	1.08	1.20
	公園や緑地の整備	0.95	0.93	0.93	0.80	0.87	0.93	1.05
	下水道の整備	0.79	0.82	0.83	0.92	1.18	1.33	1.44
	バスなどの公共交通機関の整備	1.42	1.20	1.06	1.14	1.07	1.06	1.23
	開発による住宅地の整備	0.12	0.36	0.27	0.23	0.21	0.44	0.58
	地産地消の推進	0.72	0.59	0.55	0.64	0.64	0.81	0.94
	農業の活性化対策	0.60	0.64	0.54	0.63	0.75	0.88	1.06
	商工業の活性化対策	0.64	0.65	0.65	0.67	0.74	0.87	0.91
	企業誘致の促進	0.60	0.55	0.60	0.57	0.68	0.76	0.78
	働く場や機会	1.02	1.04	0.96	0.92	0.94	0.96	0.98
消費者保護対策	0.76	0.78	0.60	0.62	0.70	0.79	1.00	
環境	公害対策などの環境汚染対策	1.26	1.06	1.00	1.02	1.10	1.22	1.32
	ごみの減量やリサイクルの推進	1.28	1.14	1.16	1.08	1.18	1.28	1.38
	ごみの収集・処理対策	1.33	1.15	1.10	1.16	1.20	1.36	1.47
	自然環境の保全や創出	1.23	0.91	0.83	0.90	1.02	1.04	1.18
交流・スポーツ・協働・文化	区・自治会活動への支援	0.40	0.42	0.33	0.38	0.40	0.60	0.87
	NPOやボランティア活動への支援	0.56	0.47	0.28	0.32	0.35	0.47	0.67
	国際理解・国際交流の推進	0.37	0.38	0.19	0.17	0.19	0.32	0.39
	教養講座などの生涯学習の機会	0.64	0.42	0.39	0.33	0.39	0.54	0.65
	コンサートなどの芸術文化活動	0.42	0.21	0.15	0.22	0.27	0.41	0.48
	スポーツ・レクリエーション活動	0.70	0.37	0.29	0.33	0.34	0.47	0.59
	文化財の継承・保存	0.47	0.48	0.36	0.37	0.44	0.61	0.72
町のアピール	0.56	0.57	0.40	0.45	0.45	0.75	0.90	
行政運営	町政への住民参画	0.47	0.56	0.51	0.59	0.66	0.76	0.90
	健全な財政運営	1.02	1.10	1.15	1.21	1.40	1.31	1.43
	広報などによる町政情報の提供	0.42	0.75	0.79	0.87	0.91	1.03	1.29
	ホームページを利用した町政情報の提供	0.42	0.65	0.60	0.63	0.60	0.51	0.61

4-2 特に重点的に取り組むべきだと思うこと

問7 「問6（前問）」でお答えいただいた質問項目の中で、今後、特に重点的に取り組むべきだと思うことは何ですか？

前問1～42の項目の中から5つまでを選んで、番号でご記入ください。

- ◆ 東郷町の取り組みについて、特に重点的に取り組むべきだと思う項目をたずねたところ、もっとも回答が多かった項目が「夜間や休日の医療体制」で約4割（35.3%）となっており、次いで「バスや公共交通機関の整備」（29.9%）、「健全な財政運営」（29.5%）、「子育てに関する支援」（27.1%）の順となっている。



【東郷町の取り組みに関する考察】

- ◆ 問6、問7における、東郷町の取り組みに関して重点的に取り組むべき項目に関する分析結果の一覧は以下の通りとなっている。

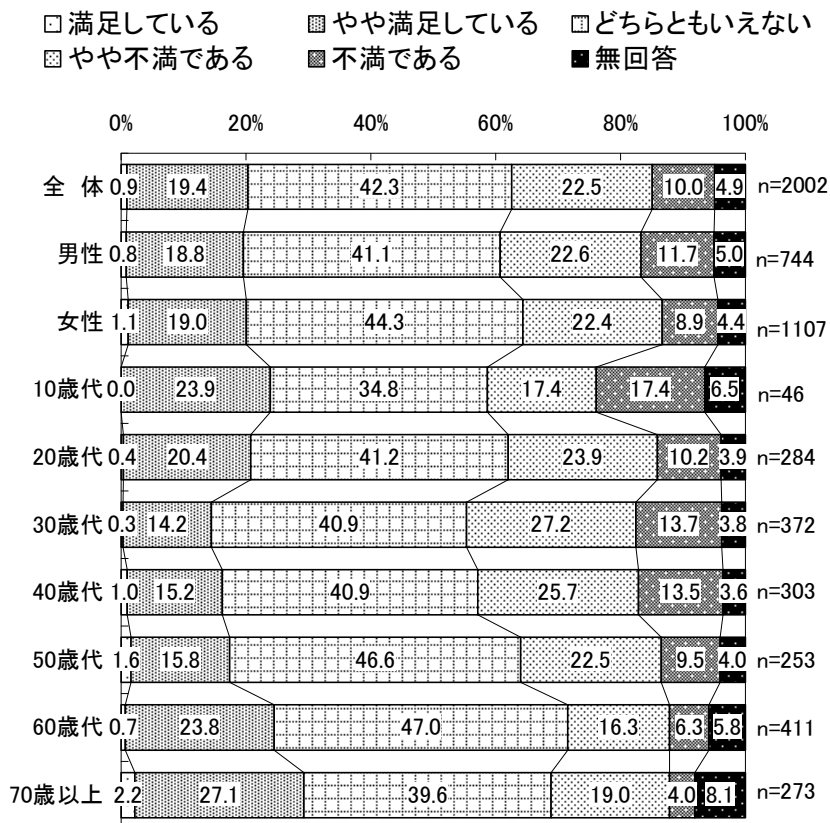
重点改善分野に位置する項目	重要度と満足度の差において数値が高かった項目	住民が「特に重点的に取り組むべき」と考えている項目
夜間や休日の医療体制	夜間や休日の医療体制	夜間や休日の医療体制
健全な財政運営	バスなどの公共交通機関の整備	バスなどの公共交通機関の整備
地震や風水害などの防災対策	健全な財政運営	健全な財政運営
バスなどの公共交通機関の整備	地震や風水害などの防災対策	子育てに関する支援
子育てに関する支援	子育てに関する支援	高齢者への福祉サービス
障害のある人への福祉サービス	防犯対策	地震や風水害などの防災対策
高齢者への福祉サービス	働く場や機会	防犯対策
働く場や機会	障害のある人への福祉サービス	小中学校の教育内容や教育環境
介護予防事業	交通安全対策	働く場や機会
道路の整備	高齢者への福祉サービス	介護予防事業
青少年の健全育成	小中学校の教育内容や教育環境	保育園や児童館などの子育て環境

- ◆ 3つの分析結果に全てランクインしている項目は、「夜間や休日の医療体制」、「健全な財政運営」、「地震や風水害などの防災対策」、「バスなどの公共交通機関の整備」、「子育てに関する支援」、「高齢者への福祉サービス」、「働く場や機会」の7項目となっている。

4-3 町の取り組み全般への満足感

問8 「問6・問7」でお答えいただいた内容を踏まえお伺いします。これまでの町の取り組み全般について、あなたはどの程度満足していますか？
今のお気持ちに最も近い番号を1つだけ選んでください。

- ◆ 町の取り組み全般への満足感について、“満足”（「満足している」+「やや満足している」）と回答した人は、全体の約2割（20.3%）となっている。一方、“不満”（「やや不満である」+「不満である」）と回答した人は、全体の約3割（32.5%）となっている。
- ◆ 男女別では、女性よりも男性のほうが“不満”と回答した人の割合がやや高くなっている。
- ◆ 年代別では、“満足”と回答した人の割合は、70歳以上が29.3%と最も多くなっている。一方、“不満”と回答した人の割合は、30歳代で最も多く40.9%となっている。

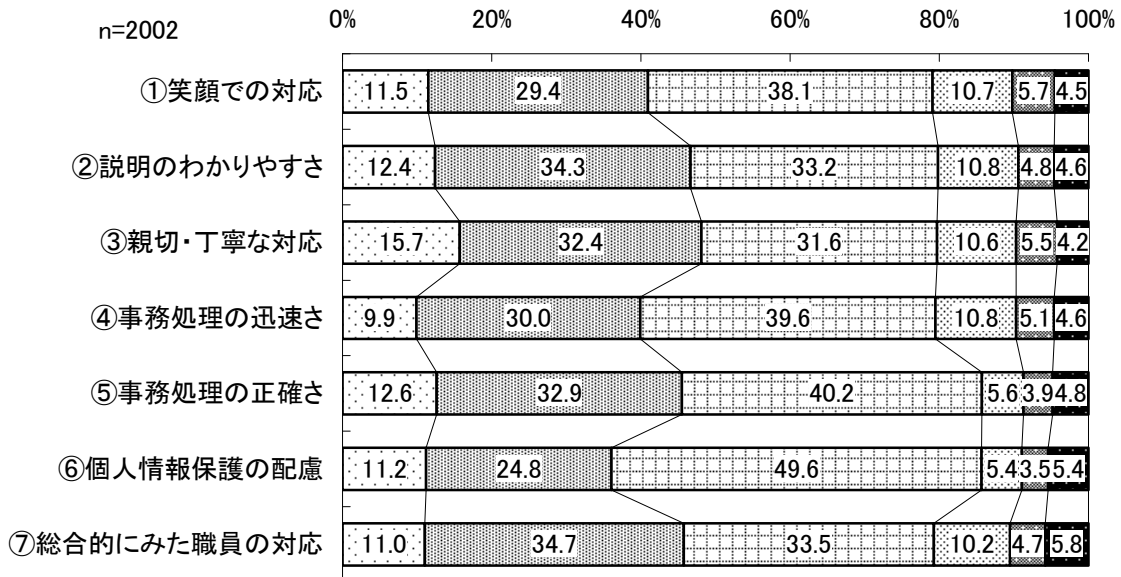


4-4 役場窓口での対応の満足感

問9 役場職員の窓口での対応に関して、あなたはどの程度満足されていますか？
今のお気持ちに最も近い番号を1つずつ選んでください。

- ◆ 役場窓口での対応（①～⑥）に関して、“満足”（「満足」+「やや満足」）と回答した人が最も多かった項目は、「③親切・丁寧な対応」で約5割（48.1%）となっている。また、「①笑顔での対応」、「②説明のわかりやすさ」、「④事務処理の正確さ」の項目は、いずれも4割以上となっている。
- ◆ 「⑦総合的にみた職員の対応」については、“満足”と回答した人が45.7%、“不満”（「やや不満」+「不満」）と回答した人が14.9%となっており、約半数の人は、窓口の対応に満足している結果となっている。

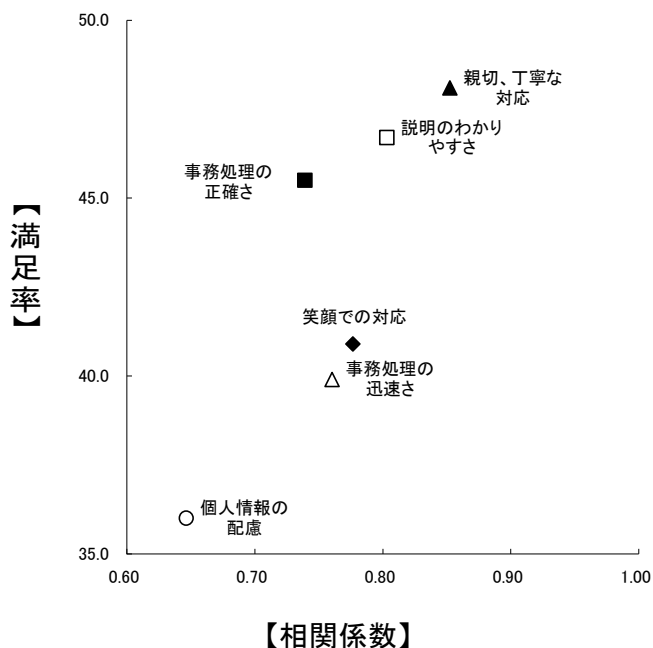
□満足 □やや満足 □どちらともいえない □やや不満 □不満 ■無回答



【各項目の総合的な満足度との相関】

- ◆ 窓口での対応に関して、個別の項目がどの程度総合的な満足感に影響しているかを分析した。各項目の満足率（「満足」+「やや満足」の割合）と、各項目の回答結果と「総合的にみた職員の対応」の回答結果との相関係数を示したものが次の表である。相関係数は0に近いほど相関が弱く（関連性が薄く）、1に近いほど強い相関がある（関連性が強い）と判断するものである。また、満足率と相関係数の関係を表したものが次の図となっている。

	相関係数	満足率
笑顔での対応	0.78	40.9
説明のわかりやすさ	0.80	46.7
親切、丁寧な対応	0.85	48.1
事務処理の迅速さ	0.76	39.9
事務処理の正確さ	0.74	45.5
個人情報の配慮	0.65	36.0



- 上記の満足率と相関係数の図において、右上にプロットされているほど、現在の満足率が高く、総合的な評価との相関が高い（項目の満足が高いほど総合的な満足も高くなる）理想的な状態といえる。
- 右下にプロットされているものは、満足率は低いにも関わらず、総合的な評価との相関が高い（項目の満足が低いほど総合的な満足も低くなる）改善が必要とされる項目である。
- ◆ 東郷町の窓口対応の満足率と総合的な評価との相関をみると、満足度が低く、総合的な評価との相関が高い項目はみられない。一方、「親切、丁寧な対応」については、他の項目の中でもっとも満足率が高く、相関が高い項目となっている。

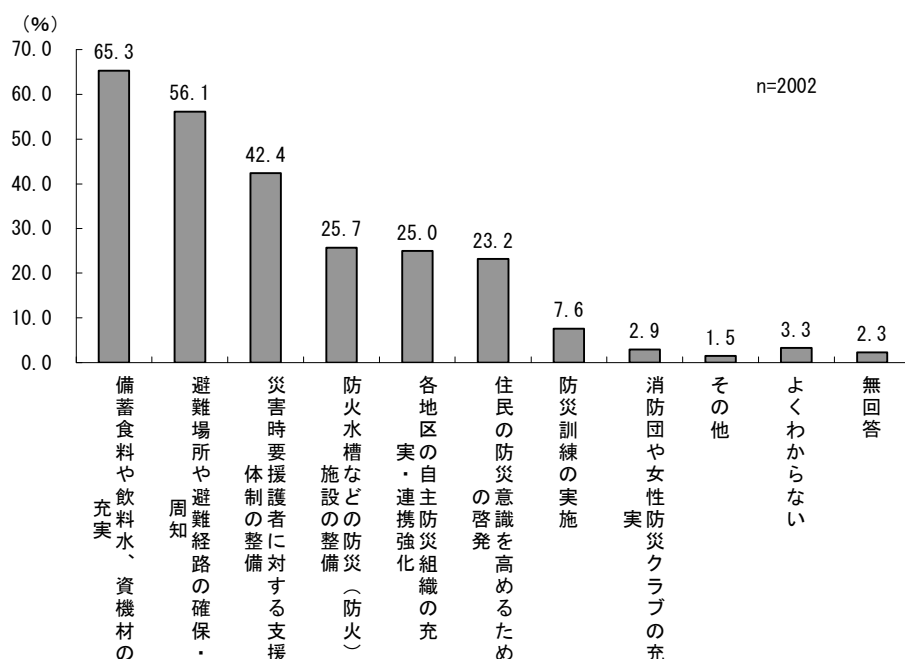
5 将来のまちづくりについてお伺いします

(1) 安全・安心について

5-1 防災に関して力を入れるべきこと

問10 地震や集中豪雨などへの防災に関して、今後どのようなことに力を入れる必要が
あると思いますか？
今のお気持ちに最も近い番号を3つ以内で選んでください。

- ◆ 防災に関して力を入れるべきことについては、「備蓄食料や飲料水、資機材の充実」が65.3%と最も多く、次いで「避難場所や避難経路の確保・周知」(56.1%)、「災害時要援護者に対する支援体制の整備」(42.4%)の順となっている。



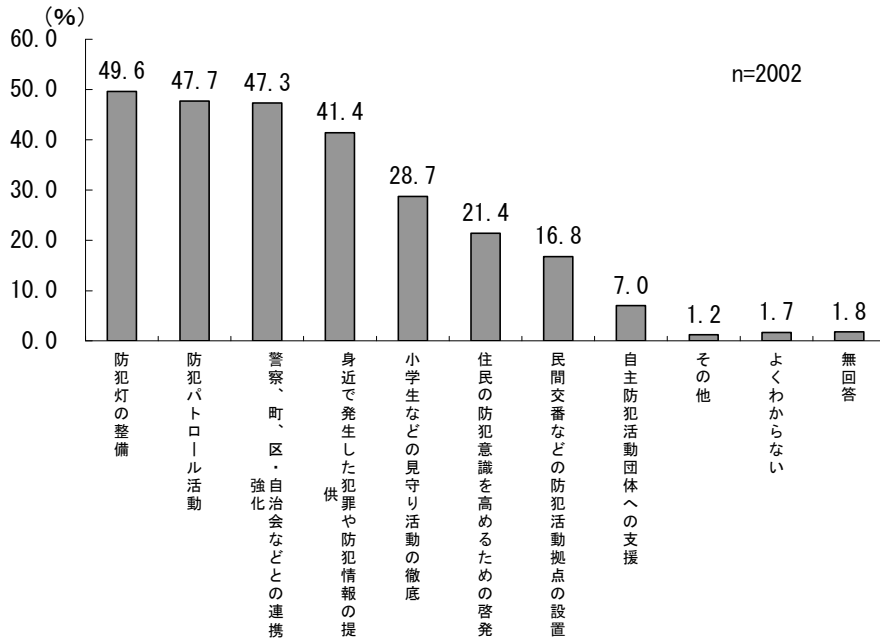
- ◆ 家族構成別については、各世帯で最も回答率が高い項目を、次の表に網掛けとして示した。どの家族構成においても、「備蓄食料や飲料水、資機材の充実」が最も高くなっている。

	全体 (人) (n)	備蓄食料や飲料水、資機材の充実	避難場所や避難経路の確保・周知	災害時要援護者に対する支援体制の整備	(防火) 水槽などの防災施設	各地区の自主防災組織の充実・連携強化	住民の防災意識を高めるための啓発	防災訓練の実施	消防団や女性防災クラブの充実	その他	よくわからない	無回答
全体	2002	65.3	56.1	42.4	25.7	25.0	23.2	7.6	2.9	1.5	3.3	2.3
ひとり暮らし	285	57.9	50.9	41.1	24.6	23.5	25.6	6.0	4.6	2.1	5.3	2.5
夫婦だけ	494	60.3	56.7	40.7	25.1	31.4	27.5	8.7	4.3	2.0	1.8	2.8
親と子(2世代)	945	70.8	58.1	44.4	27.0	22.4	20.7	7.2	1.5	1.3	3.3	1.9
親と子と祖父(3世代)	156	64.7	53.2	39.7	21.8	22.4	20.5	10.3	4.5	1.3	3.2	2.6
その他	79	60.8	53.2	35.4	26.6	26.6	20.3	8.9	3.8	1.3	5.1	3.8

5-2 防犯に関して力を入れるべきこと

問11 防犯に関して、今後どのようなことに力を入れる必要がありますか？
今のお気持ちに最も近い番号を3つ以内で選んでください。

- ◆ 防犯に関して力を入れるべきことについては、「防犯灯の整備」が49.6%と最も多く、次いで「防犯パトロール活動」(47.7%)、「警察、町、区・自治会などとの連携強化」(47.3%)、「身近で発生した犯罪や防犯情報の提供」(41.4%)の順となっている。



- ◆ 地区別については、各地区で最も回答率が高い項目を、次の表に網掛けとして示した。7つの地区で「防犯灯の整備」が最も高く、次いで「警察、町、区・自治会などとの連携強化」(5地区)、「防犯パトロール活動」(4地区)の順になっている。また、「民間交番などの防犯活動拠点の設置」では、部田山の回答率が全体より約10ポイント高くなっている。

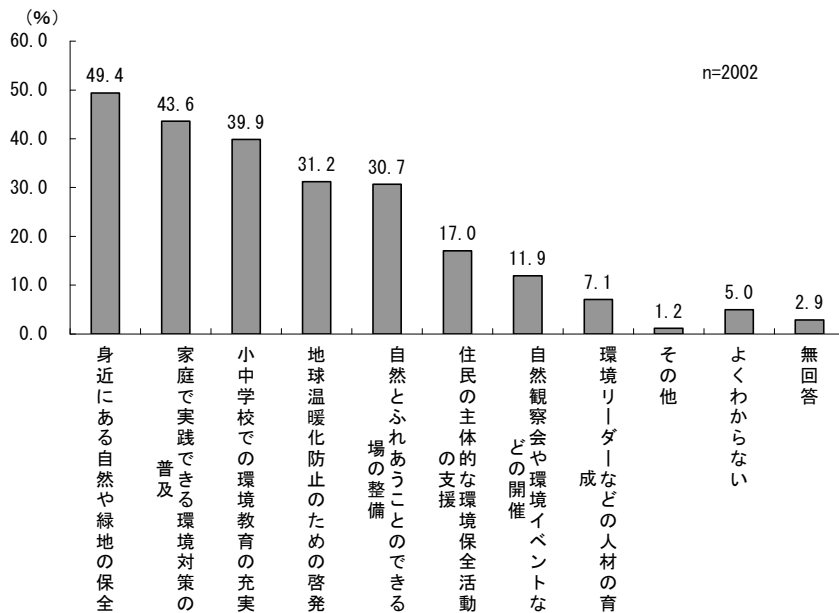
	全体 (人) (n)	防犯灯の整備	防犯パトロール活動	警察、町、区・自治会などとの連携強化	身近で発生した犯罪や防犯情報の提供	小学生などの見守り活動の徹底	住民の防犯意識を高めるための啓発	民間交番などの防犯活動拠点の設置	自主防犯活動団体への支援	その他	よくわからない	無回答
全体	2002	49.6	47.7	47.3	41.4	28.7	21.4	16.8	7.0	1.2	1.7	1.8
諸輪	140	53.6	45.0	49.3	29.3	34.3	21.4	18.6	7.1	1.4	2.9	4.3
和合	138	45.7	52.2	46.4	35.5	35.5	25.4	18.1	5.1	-	1.4	0.7
傍示本	138	49.3	48.6	44.2	43.5	25.4	25.4	15.2	10.1	0.7	1.4	2.2
祐福寺	90	38.9	44.4	42.2	44.4	30.0	22.2	14.4	7.8	1.1	5.6	4.4
部田	68	54.4	45.6	36.8	39.7	33.8	14.7	8.8	8.8	-	2.9	2.9
白土	198	51.0	43.9	49.0	43.9	25.3	17.2	20.7	7.6	1.0	1.0	2.5
西白土	42	50.0	33.3	52.4	40.5	28.6	14.3	16.7	7.1	2.4	2.4	-
和合ヶ丘	152	47.4	52.0	53.3	42.8	25.0	24.3	11.8	5.9	-	2.0	2.0
諸輪住宅	24	25.0	37.5	45.8	45.8	33.3	20.8	12.5	12.5	-	-	12.5
白鳥	197	51.8	48.2	47.2	43.1	29.9	19.3	14.2	4.6	1.0	1.0	2.0
御岳	155	45.2	48.4	47.1	43.2	31.6	28.4	12.9	5.8	0.6	3.9	-
押草団地南	52	46.2	42.3	50.0	50.0	17.3	23.1	17.3	9.6	3.8	1.9	1.9
押草団地北	45	48.9	46.7	60.0	35.6	24.4	24.4	15.6	11.1	2.2	2.2	-
春木台	166	45.8	55.4	46.4	45.2	25.9	21.7	15.1	4.2	-	1.2	1.2
北山台	148	54.7	49.3	48.6	43.2	25.7	17.6	20.3	8.8	2.7	1.4	-
部田山	184	59.2	44.6	41.8	38.6	31.0	21.2	26.1	7.6	3.8	-	-

(2) 環境について

5-3 環境への意識を高める取り組みに関して力を入れるべきこと

問12 環境への意識を高める取り組みに関して、今後どのようなことに力を入れる必要があると思いますか？
今のお気持ちに最も近い番号を3つ以内で選んでください。

◆ 環境への意識を高める取り組みに関して力を入れるべきことについては、「身近にある自然や緑地の保全」が49.4%と最も多く、次いで「家庭でできる環境対策の普及」(43.6%)、「小中学校での環境教育の充実」(39.9%)の順となっている。



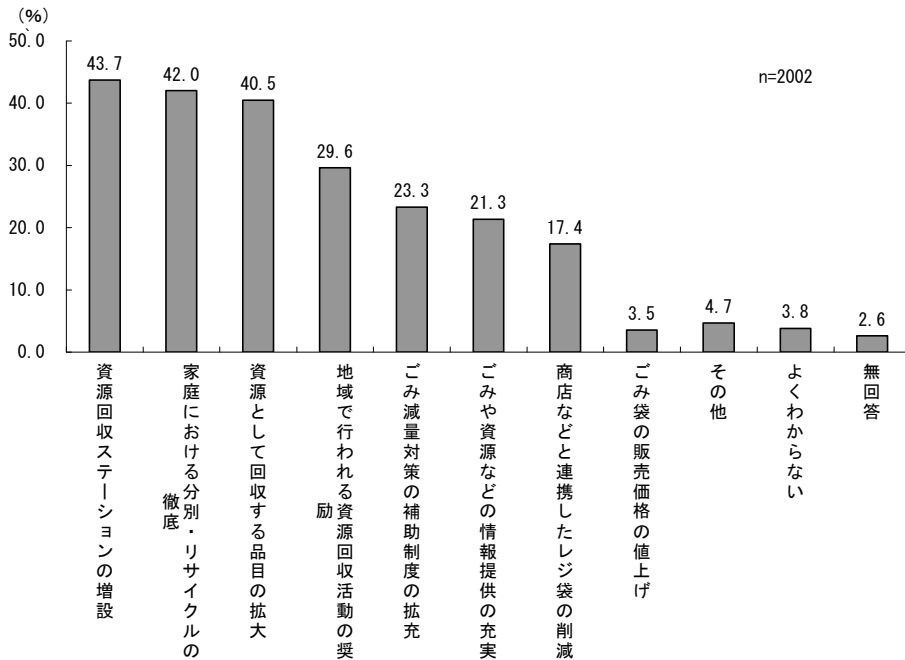
◆ 年代別については、各年代で最も回答率が高い項目を、次の表に網掛けとして示した。10歳代・20歳代・50歳代～70歳以上では「身近にある自然や緑地の保全」、30歳代・40歳代では「小中学校での環境教育の充実」がそれぞれ最も高くなっている。

	全体 (人) (n)	身近にある自然や緑地の保全	家庭で実践できる環境対策の普及	小中学校での環境教育の充実	地球温暖化防止のための啓発	自然とふれあうことのできる場の整備	住民の主体的な環境保全活動の支援	自然観察会や環境イベントなどの開催	環境リーダーなどの人材の育成	その他	よくわからない	無回答
全体	2002	49.4	43.6	39.9	31.2	30.7	17.0	11.9	7.1	1.2	5.0	2.9
10歳代	46	50.0	37.0	39.1	21.7	28.3	19.6	6.5	4.3	0.0	8.7	2.2
20歳代	284	48.9	44.0	42.6	30.3	35.6	12.7	15.1	6.0	0.4	3.2	1.1
30歳代	372	40.9	43.8	49.7	21.8	36.0	11.6	15.6	4.6	2.4	5.9	0.0
40歳代	303	42.9	45.5	46.2	33.3	23.8	13.9	10.6	5.6	1.0	5.9	2.6
50歳代	253	52.2	42.7	33.2	32.0	28.9	23.3	8.7	6.3	2.4	4.3	4.7
60歳代	411	55.0	46.0	36.7	38.4	29.4	19.7	9.5	10.2	0.2	4.1	3.6
70歳以上	273	57.1	41.0	28.9	35.2	28.9	19.8	11.7	9.5	1.8	6.2	5.5

5-4 ごみの減量や資源の回収に関して力を入れるべきこと

問13 ごみの減量や資源の回収に関して、今後どのような対策が必要だと思いますか？
今のお気持ちに最も近い番号を3つ以内で選んでください。

◆ ごみの減量や資源の回収に関して力を入れるべきことについては、「資源回収ステーションの増設」が43.7%と最も多く、次いで「家庭における分別・リサイクルの徹底」(42.0%)、「資源として回収する品目の拡大」(40.5%)の順となっている。



◆ 地区別については、各地区で最も回答率が高い項目を、次の表に網掛けとして示した。9つの地区で「家庭における分別・リサイクルの徹底」が最も高くなっている。一方、白土・西白土・部田山では「資源回収ステーションの増設」が最も高くなっている。

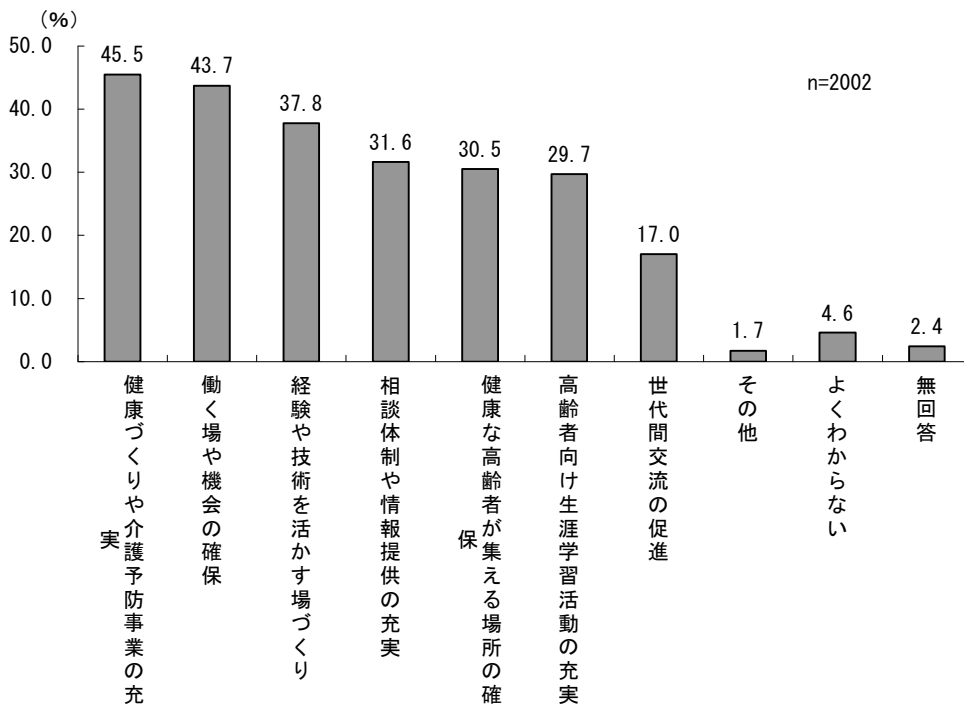
	全体 (n)	資源回収ステーションの増設	家庭における分別・リサイクルの徹底	資源として回収する品目の拡大	地域で行われる資源回収活動の奨励	ごみ減量対策の補助制度の拡充	ごみや資源などの情報提供の充実	商店などと連携したレジ袋の削減	ごみ袋の販売価格の値上げ	その他	よくわからない	無回答
全体	2002	43.7	42.0	40.5	29.6	23.3	21.3	17.4	3.5	4.7	3.8	2.6
諸輪	140	40.0	43.6	37.1	33.6	21.4	20.0	16.4	5.7	3.6	5.0	4.3
和合	138	38.4	46.4	42.8	34.8	22.5	28.3	15.9	2.9	5.1	1.4	0.7
傍示本	138	41.3	43.5	42.0	28.3	29.7	20.3	20.3	4.3	4.3	3.6	3.6
祐福寺	90	38.9	46.7	33.3	28.9	28.9	18.9	16.7	4.4	4.4	4.4	4.4
部田	68	41.2	32.4	45.6	41.2	27.9	14.7	16.2	4.4	5.9	2.9	1.5
白土	198	53.5	38.9	38.4	25.8	21.2	19.7	17.2	2.0	2.5	4.0	3.5
西白土	42	59.5	33.3	33.3	28.6	19.0	21.4	9.5	-	2.4	4.8	7.1
和合ヶ丘	152	35.5	40.8	44.1	37.5	22.4	24.3	15.1	3.9	3.3	5.9	2.0
諸輪住宅	24	33.3	33.3	41.7	33.3	20.8	29.2	8.3	-	-	-	8.3
白鳥	197	35.5	35.5	46.2	29.9	23.9	21.8	18.8	3.6	7.1	4.1	4.1
御岳	155	35.5	52.9	41.9	34.2	25.2	21.3	20.0	3.2	6.5	1.9	0.6
押草団地南	52	44.2	53.8	30.8	25.0	19.2	15.4	23.1	1.9	5.8	5.8	1.9
押草団地北	45	33.3	40.0	33.3	28.9	20.0	31.1	28.9	4.4	4.4	4.4	-
春木台	166	39.2	46.4	39.8	24.7	20.5	28.3	16.9	3.0	2.4	6.0	1.2
北山台	148	41.9	47.3	44.6	27.7	24.3	18.2	16.9	4.7	4.7	2.7	2.0
部田山	184	71.2	33.2	35.3	21.7	22.8	14.7	16.3	3.3	7.1	2.7	-

(3) 福祉・健康について

5-5 高齢者の生きがいに関して力を入れるべきこと

問14 高齢者が生きがいをもって暮らせるまににするために、今後どのようなことに力を入れる必要があると思いますか？
今のお気持ちに最も近い番号を3つ以内で選んでください。

- ◆ 高齢者の生きがいに関して力を入れるべきことについては、「健康づくりや介護予防事業の充実」が45.5%と最も多く、次いで「働く場や機会の確保」(43.7%)、「経験や技術を活かす場づくり」(37.8%)の順となっている。



- ◆ 年代別については、各年代で最も回答率が高い項目を、次の表に網掛けとして示した。10歳代～40歳代では「働く場や機会の確保」、50歳代～70歳以上では「健康づくりや介護予防事業の充実」がそれぞれ最も高くなっている。また、「世代間交流の促進」では、10歳代が34.8%と他の年代よりも高くなっている。

	全体 (人)	健康づくりや介護予防事業の充実	働く場や機会の確保	経験や技術を活かす場づくり	相談体制や情報提供の充実	健康な高齢者が集える場所の確保	高齢者向け生涯学習活動の充実	世代間交流の促進	その他	よくわからない	無回答
全体	2002	45.5	43.7	37.8	31.6	30.5	29.7	17.0	1.7	4.6	2.4
10歳代	46	37.0	43.5	26.1	15.2	30.4	23.9	34.8	2.2	10.9	0.0
20歳代	284	39.4	47.2	42.3	25.0	33.1	29.2	20.1	2.1	4.2	0.4
30歳代	372	37.9	57.8	42.5	29.0	27.7	22.8	19.9	0.8	5.4	0.5
40歳代	303	39.6	50.8	44.9	33.3	20.5	23.8	15.2	1.7	7.3	1.3
50歳代	253	49.0	44.7	36.8	33.6	26.1	32.8	10.3	1.6	2.4	2.8
60歳代	411	51.1	38.7	31.1	35.0	35.5	36.0	14.6	2.7	4.4	2.9
70歳以上	273	57.1	18.7	30.4	34.8	39.9	35.9	17.6	1.8	3.3	7.7

◆ 65 歳以上の家族がいる家庭において、いない家庭の回答率よりも高い項目を、次の表に網掛けとして示した。

「健康づくりや介護予防事業の充実」、「健康な高齢者が集える場所の確保」、「高齢者向け生涯学習活動の充実」、「相談体制や情報提供の充実」において、65 歳以上の家族がいない家庭よりも、いる家庭のほうが、回答率が高くなっている。

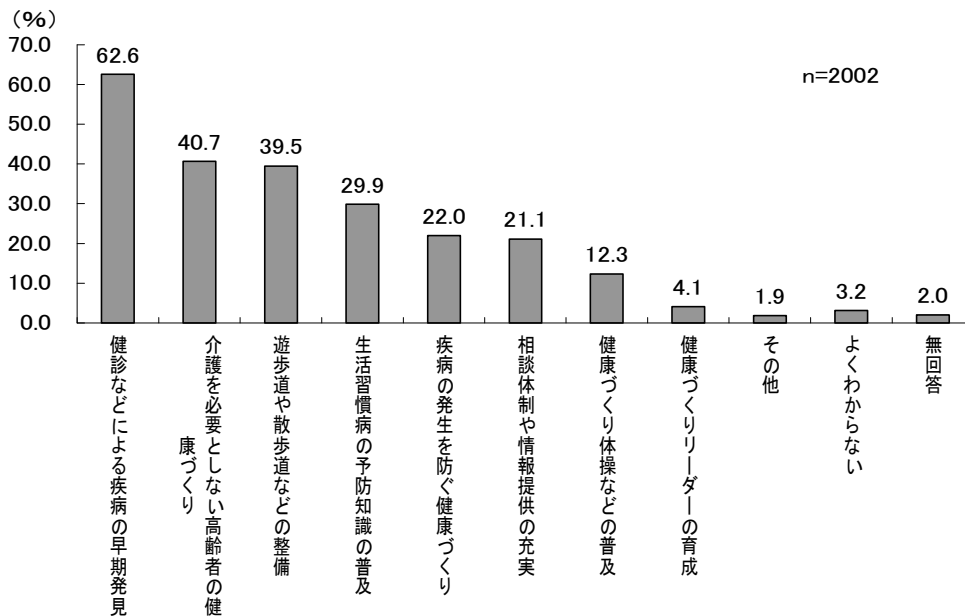
(%)

	全体 (人) (n)	健康づくりや介護予防事業の充実	働く場や機会の確保	経験や技術を活かす場づくり	相談体制や情報提供の充実	健康な高齢者が集える場所の確保	高齢者向け生涯学習活動の充実	世代間交流の促進	その他	よくわからない	無回答
全体	2002	45.5	43.7	37.8	31.6	30.5	29.7	17.0	1.7	4.6	2.4
いる	670	52.2	33.3	34.5	32.8	34.6	34.2	17.2	2.1	3.1	4.2
いない	1276	41.9	49.0	39.4	30.8	28.5	27.0	17.2	1.6	5.4	1.5

5-6 健康づくりに関して力を入れるべきこと

問15 健康づくりに関して、今後どのようなことに力を入れる必要がありますか？
今のお気持ちに最も近い番号を3つ以内で選んでください。

- ◆ 健康づくりに関して力を入れるべきことについては、「健診などによる疾病の早期発見」が62.6%と最も多く、次いで「介護を必要としない高齢者の健康づくり」(40.7%)、「遊歩道や散歩道などの整備」(39.5%)の順となっている。



- ◆ 年代別については、各年代で最も回答率が高い項目を、次の表に網掛けとして示した。すべての年代で「健診などによる疾病の早期発見」が最も高くなっている。また、60歳代と70歳以上では、「介護を必要としない高齢者の健康づくり」についても高い割合を占めている。

	全体 (人・n)	早期 健診 など による 疾病 の 発見	介 護 を 必 要 と し な い 高 齢 者 の 健 康 づ く り	整 備 遊 歩 道 や 散 歩 道 な ど の	の 生 活 習 慣 病 の 予 防 知 識 の 普 及	づ 疾 病 の 発 生 を 防 ぐ 健 康 づ く り	充 相 談 体 制 や 情 報 提 供 の 充 実	普 健 康 づ く り 体 操 な ど の 普 及	育 健 康 づ く り リ ー ダ ー の 育 成	そ の 他	よ く わ か ら な い	無 回 答
全 体	2002	62.6	40.7	39.5	29.9	22.0	21.1	12.3	4.1	1.9	3.2	2.0
10歳代	46	54.3	21.7	26.1	39.1	23.9	15.2	13.0	6.5	2.2	4.3	2.2
20歳代	284	64.4	31.7	44.7	32.0	23.6	18.3	9.2	1.4	2.1	5.3	0.4
30歳代	372	71.2	35.5	40.9	26.1	17.5	19.6	10.5	3.0	1.9	2.7	0.0
40歳代	303	63.0	31.7	33.3	30.7	22.1	25.4	8.9	4.0	2.3	4.0	1.3
50歳代	253	57.3	40.7	41.9	29.6	19.8	21.3	13.4	4.7	0.8	2.4	4.3
60歳代	411	59.4	52.8	37.2	31.4	22.9	21.4	15.1	6.6	2.7	3.4	1.9
70歳以上	273	58.6	54.6	42.1	28.6	26.0	22.3	15.8	4.0	1.5	0.7	5.1

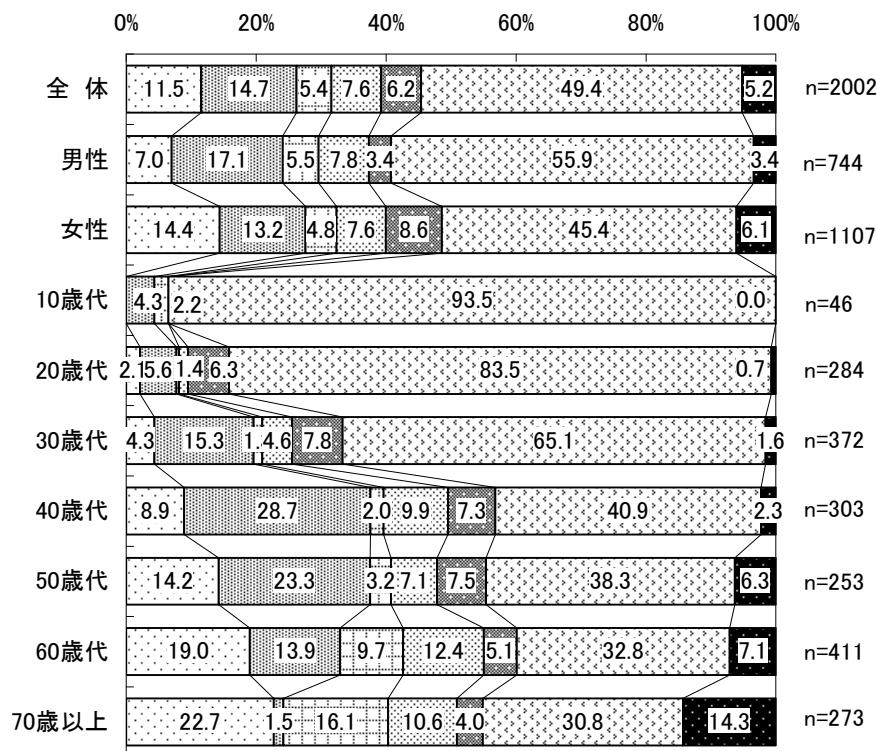
5-7 がん検診の受診について

①がん検診の受診の有無

問16 この2年以内に、がん検診を受診したことがありますか？
あてはまる番号を1つだけ選んでください。

- ◆ がん検診の受診について、“受診した”（「受診していない」、「無回答」以外の計）と回答した人の割合は、全体の約5割（45.4%）となっている。
- ◆ 男女別では、男性よりも女性のほうがやや“受診した”割合が高くなっている。
- ◆ 年代別では、年齢層が高くなるほど“受診した”人の割合が高くなる傾向となっている。“受診した”人は10歳代では1割、20歳代では2割に満たない結果となっている。一方、60歳代が最も“受診した”人の割合が高く約6割（60.1%）となっている。

町が実施する検診を受診した 職場が実施する検診を受診した
 かかりつけ医で勧められて受診した 自主的に人間ドックなどで受診した
 その他の機会を受診した 受診していない
 無回答



② 受診した検診の種類

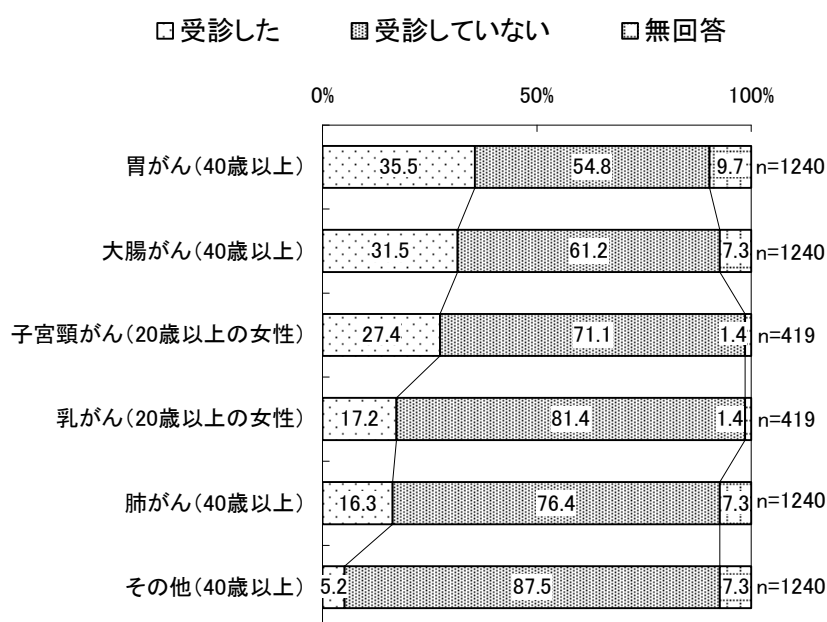
問16-1 受診した検診の種類は何ですか？あてはまる番号をすべて選んでください。

- ◆ 「何も受診していない」と回答した人を年代別にみると、「20歳以上 40歳未満」が約7割（73.0%）、「40歳以上」が約4割（35.5%）となっている。
- ◆ 性・年代別では、「男性・40歳以上」では「何も受診していない」が約4割（39.9%）を占めているが、「女性・40歳以上」では約3割（31.8%）となっており、「男性・40歳以上」よりもいずれかの検診を受診した人の割合が高くなっている。

	全体 (人) (n)	胃がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん	肺がん	その他	何も受診していない	無回答
全体	2002	24.8	21.9	18.9	18.0	11.3	3.7	49.4	7.0
20歳以上40歳未満	656	6.6	5.2	18.4	11.6	2.1	1.4	73.0	2.1
40歳以上	1240	35.5	31.5	19.2	21.5	16.3	5.2	35.5	9.7
男性・20歳以上40歳未満	220	5.5	5.5	-	-	2.3	1.8	88.2	1.4
男性・40歳以上	499	39.3	33.5	-	-	20.6	7.8	39.9	7.2
女性・20歳以上40歳未満	419	7.2	5.3	27.4	17.2	2.1	1.2	64.4	2.6
女性・40歳以上	645	32.6	30.7	33.8	38.0	13.0	2.8	31.8	11.0

※ 「子宮頸がん」、「乳がん」については、女性のみを集計した。

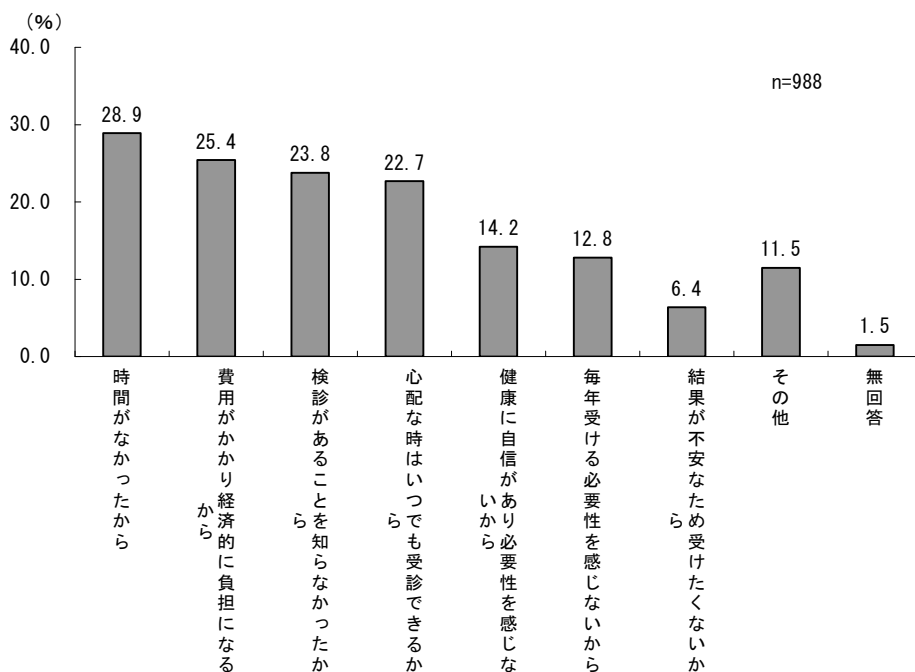
- ◆ 各項目の回答割合を特定の性・年代で示したものが次のグラフである。
「受診した」と回答した人は、「胃がん（40歳以上）」が35.5%、「大腸がん（40歳以上）」が31.5%、「子宮頸がん（20歳以上の女性）」が27.4%、「乳がん（20歳以上の女性）」が17.2%、「肺がん（40歳以上）」が16.3%となっている。



③ 受診していない理由

問 16-2 その理由は何ですか？あてはまる番号をすべて選んでください。

◆ 「受診していない」と回答した人（988人）にその理由をたずねたところ、「時間がなかったから」が28.9%と最も多く、次いで「費用がかかり経済的負担になるから」（25.4%）、「検診があることを知らなかったから」（23.8%）、「心配な時はいつでも受診できるから」（22.7%）の順となっている。



◆ 年代別については、各年代で最も回答率が高い項目を、次の表に網掛けとして示した。10歳代・20歳代では「検診があることを知らなかったから」、30歳代・40歳代では「時間がなかったから」、50歳代～70歳以上では「心配な時はいつでも受診できるから」がそれぞれ高くなっている。

	全体 (人) (n)	(%)								
		時間がなかったから	費用がかかり経済的に負担になるから	検診があることを知らなかったから	心配な時はいつでも受診できるから	健康に自信があり必要性を感じないから	毎年受ける必要性を感じないから	結果が不安なため受けたくないから	その他	無回答
全体	988	28.9	25.4	23.8	22.7	14.2	12.8	6.4	11.5	1.5
10歳代	43	9.3	4.7	46.5	2.3	20.9	11.6	2.3	25.6	2.3
20歳代	237	29.1	32.9	38.0	12.7	18.6	14.3	3.4	12.2	0.4
30歳代	242	42.1	32.6	26.9	14.0	10.7	7.4	3.7	11.2	0.0
40歳代	124	41.9	25.0	21.0	21.8	9.7	13.7	8.1	4.0	0.0
50歳代	97	32.0	20.6	10.3	34.0	12.4	13.4	13.4	11.3	2.1
60歳代	135	13.3	20.7	7.4	40.7	11.1	16.3	8.1	11.9	6.7
70歳以上	84	8.3	10.7	7.1	45.2	21.4	17.9	9.5	11.9	2.4

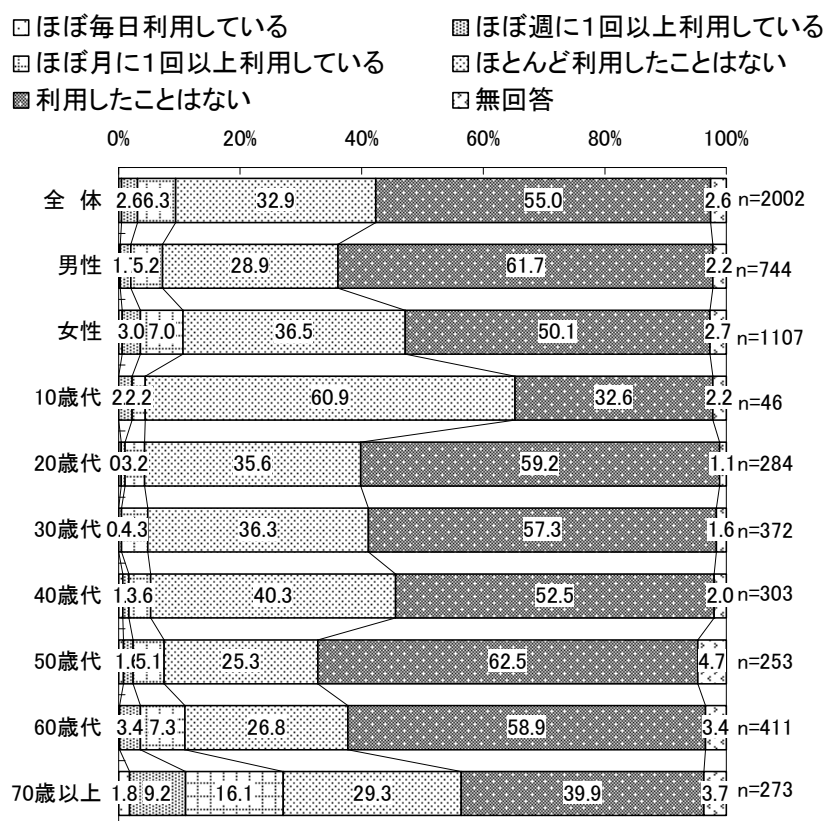
(4) 町巡回バスについて

5-8 町巡回バス「じゅんかい君」の利用について

① 利用状況

問17 町巡回バス「じゅんかい君」を利用したことがありますか？
あてはまる番号を1つだけ選んでください。

- ◆ 町巡回バス「じゅんかい君」の利用について、“利用しない”（「ほとんど利用したことはない」 + 「利用したことはない」）と回答した人は、全体の約9割（87.9%）を占めている。
- ◆ 男女別では、男性よりも女性のほうが“利用している”（「ほぼ毎日利用している」 + 「ほぼ週に1回利用している」 + 「ほぼ月に1回以上利用している」）人の割合がやや高くなっている。
- ◆ 年代別では、年齢層が高くなるほど、“利用している”人の割合が高くなる傾向にあり、70歳以上では約3割（27.1%）を占めている。



(%)

◆ 地区別では、“利用している”人の割合が最も高い地区が和合ヶ丘で17.8%、次いで、押草団地北(15.5%)、御岳(14.9%)、諸輪(13.6%)の順となっている。

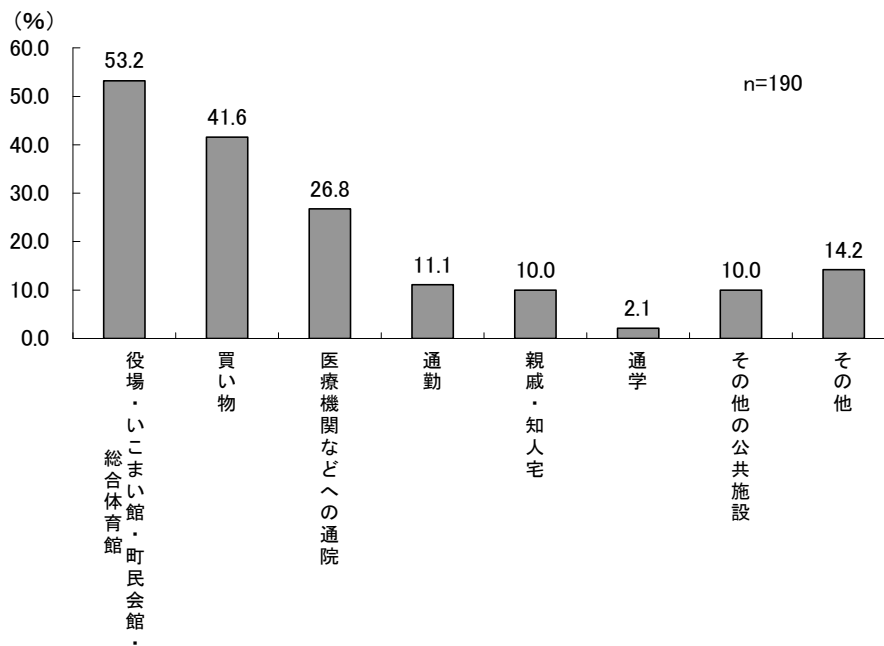
一方、“利用しない”人の割合が最も高い地区が部田山で95.7%、次いで、祐福寺(94.5%)、西白土(92.8%)、和合(92.7%)の順となっている。

	全体 (人 (n))	“ 利用する ”	“ 利用しない ”	無 回 答
全 体	2002	9.4	87.9	2.6
諸輪	140	13.6	83.6	2.9
和合	138	3.6	92.7	3.6
傍示本	138	7.2	88.4	4.3
祐福寺	90	2.2	94.5	3.3
部田	68	7.4	92.6	-
白土	198	7.6	87.3	5.1
西白土	42	4.8	92.8	2.4
和合ヶ丘	152	17.8	79.6	2.6
諸輪住宅	24	8.3	87.5	4.2
白鳥	197	11.6	86.8	1.5
御岳	155	14.9	83.9	1.3
押草団地南	52	7.6	88.4	3.8
押草団地北	45	15.5	84.4	-
春木台	166	10.2	86.7	3.0
北山台	148	13.5	84.5	3.0
部田山	184	3.2	95.7	2.0

② 利用目的

問17-1 どのような目的で利用しましたか？
 あてはまる番号をすべて選んでください。

◆ 町巡回バスを「利用している」と回答した人（190人）にその利用目的をたずねたところ、「役場・いこまい館・町民会館・総合体育館」が53.2%と最も多く、次いで「買い物」（41.6%）、「医療機関などへの通院」（26.8%）の順となっている。



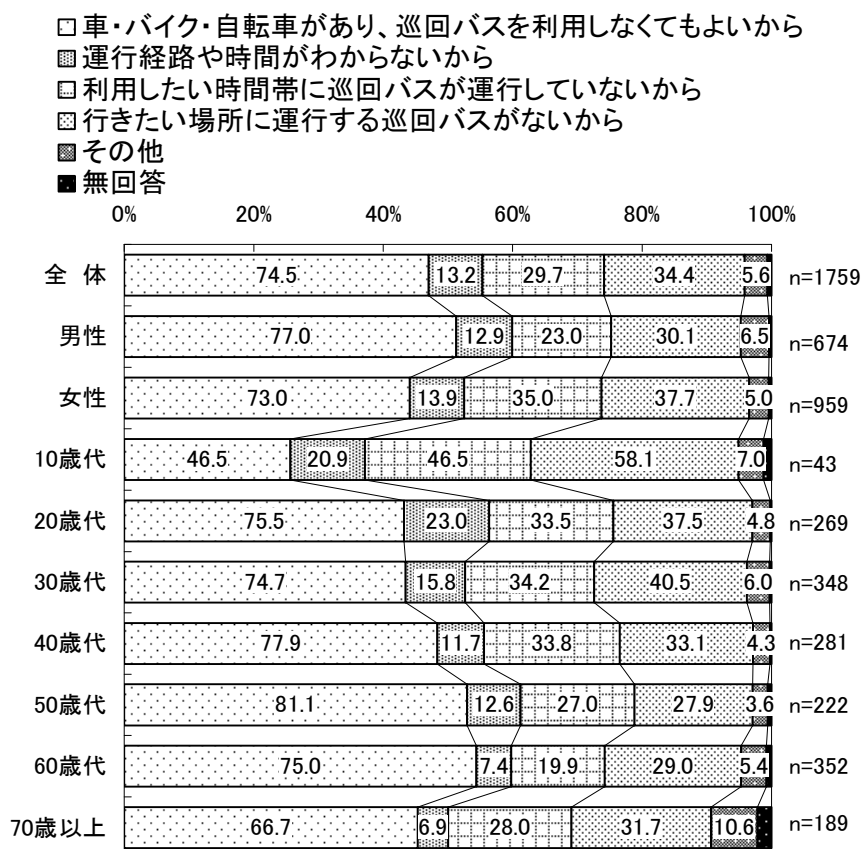
◆ 年代別については、各年代で最も回答率が高い項目を、次の表に網掛けとして示した。すべての年代で「役場・いこまい館・町民会館・総合体育館」が最も高くなっている。
 ※「60歳代」、「70歳以上」以外はサンプル数が少ないため、誤差の大きさに留意する必要がある。

	全体 (人) (n)	役場・いこまい館・町民会館・総合体育館	買い物	医療機関などへの通院	通勤	親戚・知人宅	通学	その他の公共施設	その他
全体	190	53.2	41.6	26.8	11.1	10.0	2.1	10.0	14.2
10歳代	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
20歳代	12	33.3	33.3	8.3	33.3	16.7	8.3	8.3	25.0
30歳代	18	66.7	27.8	27.8	22.2	11.1	0.0	0.0	16.7
40歳代	16	50.0	18.8	6.3	18.8	0.0	6.3	18.8	12.5
50歳代	19	42.1	42.1	10.5	26.3	5.3	0.0	5.3	21.1
60歳代	45	62.2	37.8	33.3	8.9	6.7	0.0	8.9	8.9
70歳以上	74	54.1	54.1	35.1	1.4	13.5	1.4	12.2	13.5

③ 利用しない理由

問17-2 その理由は何ですか？
 あてはまる番号をすべて選んでください。

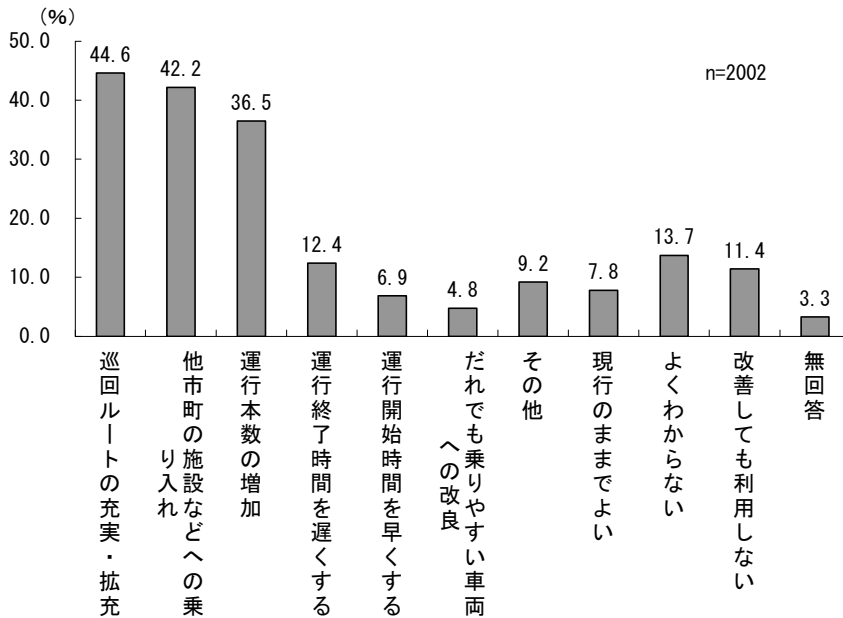
- ◆ 町巡回バスを「利用していない」と回答した人（1759人）にその理由をたずねたところ、「車・バイク・自転車があり、巡回バスを利用しなくてもよいから」が74.5%と最も多く、次いで「行きたい場所に運行する巡回バスがないから」（34.4%）、「利用したい時間帯に巡回バスが運行していないから」（29.7%）の順となっている。
- ◆ 男女別では、女性よりも男性のほうが「車・バイク・自転車があり、巡回バスを利用しなくてもよいから」と回答した人の割合がやや高くなっている。一方、女性は「行きたい場所に運行する巡回バスがないから」、「利用したい時間帯に巡回バスが運行していないから」と回答した人の割合が男性よりも高くなっている。
- ◆ 年代別では、10歳代以外の年代で「車・バイク・自転車があり、巡回バスを利用しなくてもよいから」と回答した人の割合が高く6割以上となっている。
 一方、10歳代では「行きたい場所に運行する巡回バスがないから」と回答した人の割合がどの年代よりも高くなっている。



5-9 町巡回バスの改善点

問18 町巡回バスをどのように改善すれば利用しやすくなると思いますか？
今のお気持ちに最も近い番号を3つ以内で選んでください。

- ◆ 町巡回バスの改善点については、「巡回ルートの実・拡充」が44.6%と最も多く、次いで「他市町村の施設などへの乗り入れ」(42.2%)、「運行本数の増加」(36.5%)の順となっている。



- ◆ 地区別については、各地区で最も回答率が高い項目を、次の表に網掛けとして示した。9つの地区で「巡回ルートの実・拡充」が最も高く、次いで「他市町村の施設などへの乗り入れ」(8地区)、「運行本数の増加」(4地区)となっている。

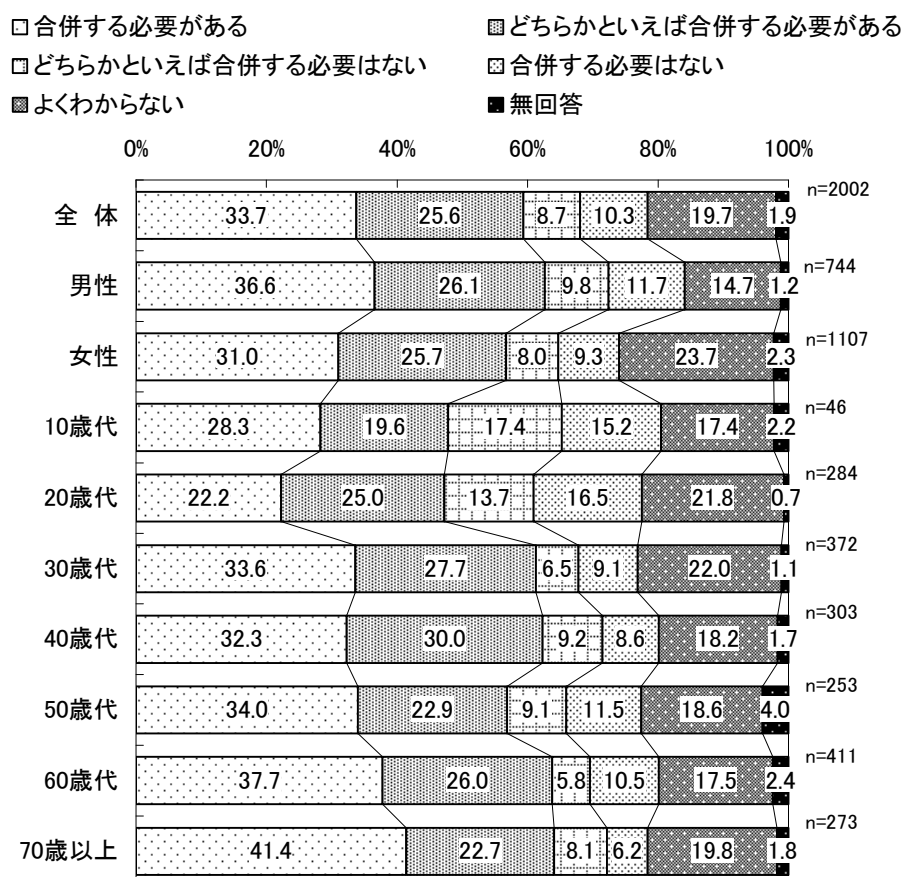
	全体 (人・n)	巡回ルートの実・拡充	他市町村の施設などへの乗り入れ	運行本数の増加	運行終了時間を遅くする	運行開始時間を早くする	だれでも乗りやすい車両への改良	その他	現行のままよい	よくわからない	改善しても利用しない	無回答
全体	2002	44.6	42.2	36.5	12.4	6.9	4.8	9.2	7.8	13.7	11.4	3.3
諸輪	140	44.3	44.3	40.0	20.0	13.6	7.1	3.6	9.3	14.3	11.4	2.1
和合	138	50.0	42.0	35.5	9.4	3.6	6.5	8.0	7.2	13.0	18.1	2.9
傍示本	138	37.0	44.2	17.4	8.7	3.6	5.8	9.4	8.7	11.6	18.1	7.2
祐福寺	90	33.3	34.4	27.8	11.1	6.7	3.3	10.0	11.1	15.6	22.2	5.6
部田	68	44.1	44.1	25.0	13.2	8.8	8.8	11.8	11.8	11.8	8.8	1.5
白土	198	43.4	43.4	32.8	5.6	5.1	3.0	10.6	8.1	17.7	8.6	5.1
西白土	42	45.2	52.4	16.7	4.8	4.8	-	16.7	7.1	14.3	16.7	-
和合ヶ丘	152	41.4	40.8	48.7	9.2	7.9	4.6	6.6	10.5	12.5	7.9	3.3
諸輪住宅	24	54.2	54.2	41.7	-	8.3	-	16.7	12.5	8.3	-	4.2
白鳥	197	38.6	38.6	46.2	13.7	6.6	5.1	10.7	8.1	15.7	9.1	1.5
御岳	155	48.4	34.2	48.4	16.1	8.4	3.2	12.9	4.5	17.4	4.5	1.9
押草団地南	52	44.2	34.6	40.4	17.3	7.7	5.8	7.7	3.8	13.5	13.5	7.7
押草団地北	45	40.0	35.6	46.7	17.8	15.6	2.2	6.7	8.9	13.3	6.7	2.2
春木台	166	46.4	48.8	33.7	12.7	4.8	6.0	8.4	6.6	13.3	9.6	1.8
北山台	148	50.0	43.9	37.2	16.2	6.8	0.7	6.8	8.1	12.8	6.8	2.7
部田山	184	51.1	45.7	35.9	13.6	6.0	6.5	10.9	4.3	9.8	16.8	2.2

(5) 市町村合併について

5-10 合併に対する考え

問19 平成の大合併が推進され、全国で市町村合併が行われています。愛知県においても88市町村が61市町村に再編されています。さて、東郷町が合併することに関して、あなたはどのように考えますか？
 今のお気持ちに最も近い番号を1つだけ選んでください。

- ◆ 合併に対する考えについて、“合併したほうがよい”（「合併する必要がある」+「どちらかといえば合併する必要がある」）と考えている人は、全体の約6割（59.3%）を占めている。一方、“合併しないほうがよい”（「合併する必要はない」+「どちらかといえば合併する必要はない」）と考えている人は、全体の約2割（19.0%）となっている。
- ◆ 男女別では、女性よりも男性のほうが“合併したほうがよい”と考えている人の割合が高くなっている。
- ◆ 年代別では、30歳代～70歳以上で“合併したほうがよい”と考えている人は、いずれの年代でも約6割を占めている。一方、10歳代と20歳代で“合併したほうがよい”と考えている人は5割に満たない結果となっている。

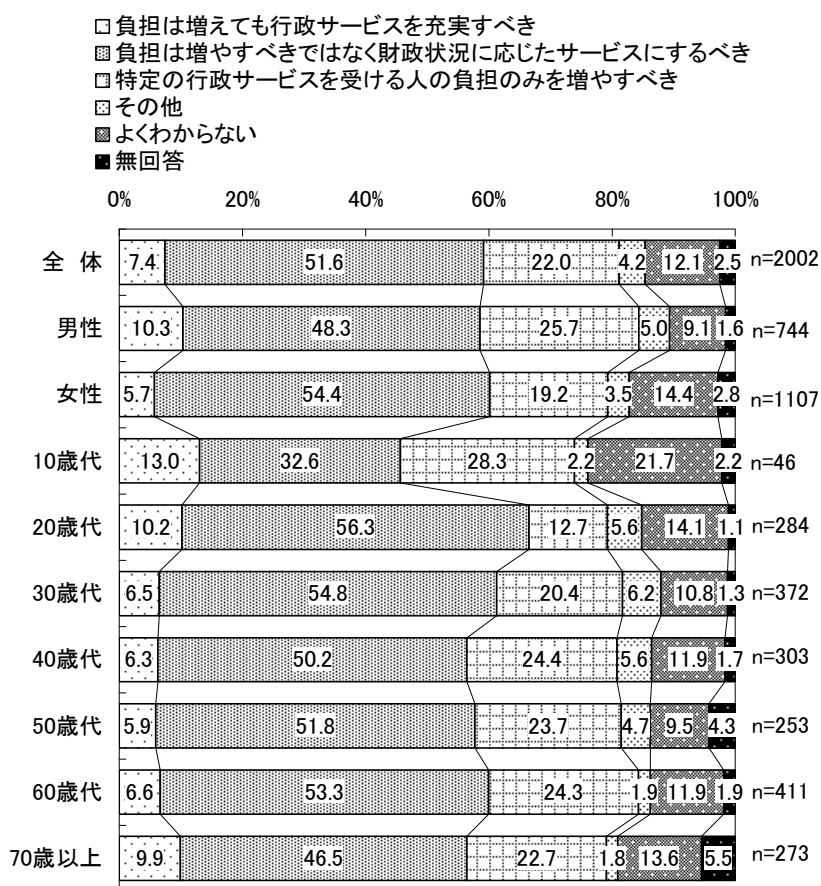


(6) 行政サービスのあり方について

5-11 行政サービスと住民負担のバランスについて

問20 行政サービスと税などの住民負担のバランスに関して、どのように考えますか？
今のお気持ちに最も近い番号を1つだけ選んでください。

- ◆ 行政サービスと住民負担のバランスについて、「負担は増やすべきではなく、財政状況に応じたサービスにするべき」と回答した人が最も多く、全体の約半数（51.6%）を占めている。
- ◆ 男女別では、男性よりも女性のほうが「負担は増やすべきではなく財政状況に応じたサービスにするべき」と回答する人の割合が高くなっている。一方、男性は「負担が増えても行政サービスを充実すべき」、「特定の行政サービスを受ける人の負担のみを増やすべき」と回答する人の割合が女性よりも高くなっている。



- ◆ 職業別については、各職業で最も回答率が高い項目を、次の表に網掛けとして示した。
 すべての職業で「負担は増やすべきではなく財政状況に応じたサービスにするべき」が最も高くなっている。また、「特定の行政サービスを受ける人の負担のみを増やすべき」では、「農業」と「自営業」の回答率が他の職業よりも高くなっている。
 ※「その他」は分析対象から除外した

(%)

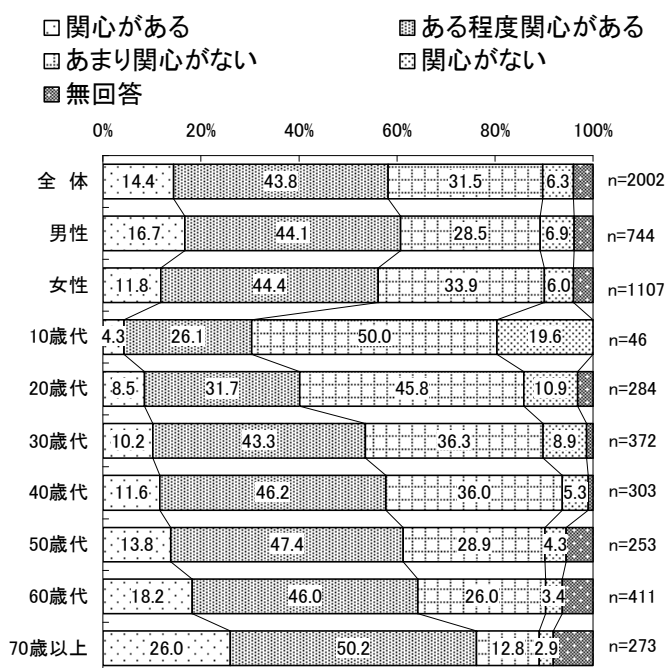
	全体 (人)(n)	負担は増やすべき は増えても行政サービスを充 実すべき	負担は増やすべきではなく財政状 況に応じたサービスにするべき	特定の行政サービスを受ける人の 負担のみを増やすべき	その他	よくわからない	無回答
全 体	2002	7.4	51.6	22.0	4.2	12.1	2.5
農業	18	-	61.1	33.3	5.6	-	-
自営業	122	12.3	48.4	29.5	1.6	6.6	1.6
会社員、公務員、団体職員	662	8.6	50.8	23.0	6.5	10.1	1.1
アルバイト、パートタイマー	291	4.5	57.0	18.6	3.4	13.1	3.4
学生	83	10.8	45.8	18.1	6.0	18.1	1.2
家事専従	329	6.4	50.8	20.4	4.0	15.8	2.7
無職	401	6.7	50.9	21.9	1.5	14.5	4.5
その他	50	10.0	66.0	12.0	4.0	6.0	2.0

(7) 町政への関心について

5-12 町政への関心

問21 あなたは東郷町の仕事（町政）にどの程度関心がありますか？
 今のお気持ちに最も近い番号を1つだけ選んでください。

- ◆ 町政への関心について、“関心がある”（「関心がある」+「ある程度関心がある」）と回答した人は、全体の約6割（58.2%）を占めている。
- ◆ 男女別では、女性よりも男性のほうが“関心がある”人の割合がやや高くなっている。
- ◆ 年齢別では、年齢層が高くなるほど、“関心がある”人の割合が高くなる傾向にあり、70歳代以上で最も高く76.2%となっている。
- ◆ 居住年数別では、居住年数が長いほど、“関心がある”人の割合が高くなる傾向にあり、「40年以上、50年未満」で最も高く68.9%となっている。

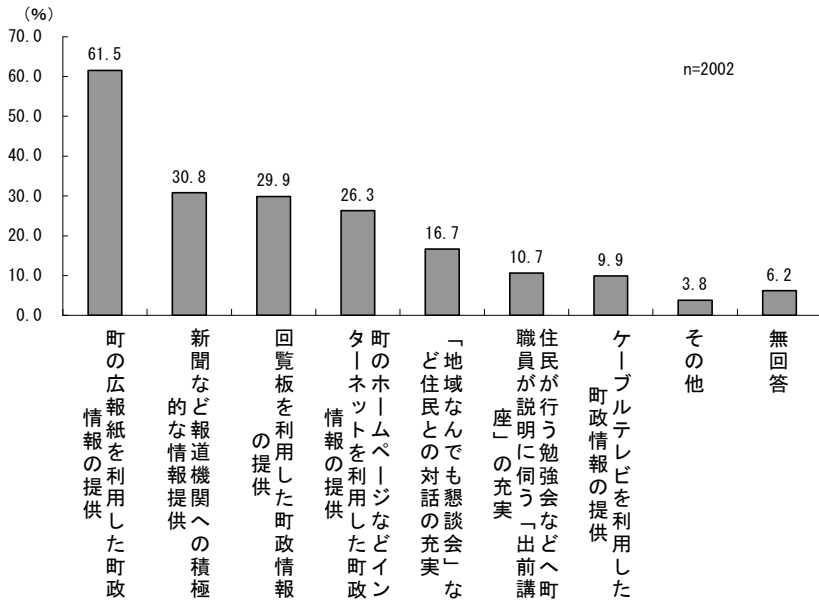


	全体 (人) (n)	“関心がある” (%)	“関心がない” (%)	無回答 (%)
全体	2002	58.2	37.8	4.0
3年未満	212	43.9	52.9	3.3
3年以上、10年未満	388	54.6	42.8	2.6
10年以上、20年未満	397	52.7	44.3	3.0
20年以上、30年未満	419	63.5	31.3	5.3
30年以上、40年未満	305	64.6	31.1	4.3
40年以上、50年未満	138	68.9	28.2	2.9
50年以上	102	67.6	20.5	11.8

5-13 町政への関心を高めるために力を入れるべきこと

問22 町政への関心を高めるために、今後どのようなことに力を入れる必要があると思いますか？
 今のお気持ちに最も近い番号を3つ以内で選んでください。

◆ 町政への関心を高めるために力を入れるべきことについては、「町の広報紙を利用した町政情報の提供」が61.5%と最も多く、次いで「新聞など報道機関への積極的な情報提供」(30.8%)、「回覧板を利用した町政情報の提供」(29.9%)の順となっている。



◆ 年代別については、各年代で最も回答率が高い項目を、次の表に網掛けとして示した。すべての年代で「町の広報紙を利用した町政情報の提供」が最も高くなっている。また、「町のホームページなどインターネットを利用した町政情報の提供」では、年齢層が低くなるほど回答率が高くなる傾向にある。

	全体 (人)	町の広報紙を利用した町政情報の提供	新聞など報道機関への積極的な情報提供	回覧板を利用した町政情報の提供	町のホームページなどインターネットを利用した町政情報の提供	「地域なんでも懇談会」など住民との対話の充実	「出前講座」の充実	ケーブルテレビを利用した町政情報の提供	その他	無回答
全体	2002	61.5	30.8	29.9	26.3	16.7	10.7	9.9	3.8	6.2
10歳代	46	45.7	34.8	32.6	37.0	2.2	2.2	10.9	2.2	4.3
20歳代	284	56.7	33.5	28.5	34.5	9.9	7.0	10.6	4.6	3.2
30歳代	372	63.4	31.5	25.5	32.8	10.5	7.0	8.3	4.0	3.2
40歳代	303	60.1	30.0	25.7	30.7	11.6	7.6	13.5	5.3	4.0
50歳代	253	59.3	32.4	27.3	30.4	13.8	11.1	10.3	3.2	9.5
60歳代	411	65.2	26.3	36.5	17.5	27.7	12.7	8.8	2.4	9.2
70歳以上	273	65.2	32.2	34.4	12.5	27.1	20.5	8.8	4.0	8.8

(8) 住民参画・協働について

5-14 住民参画や協働についての考え

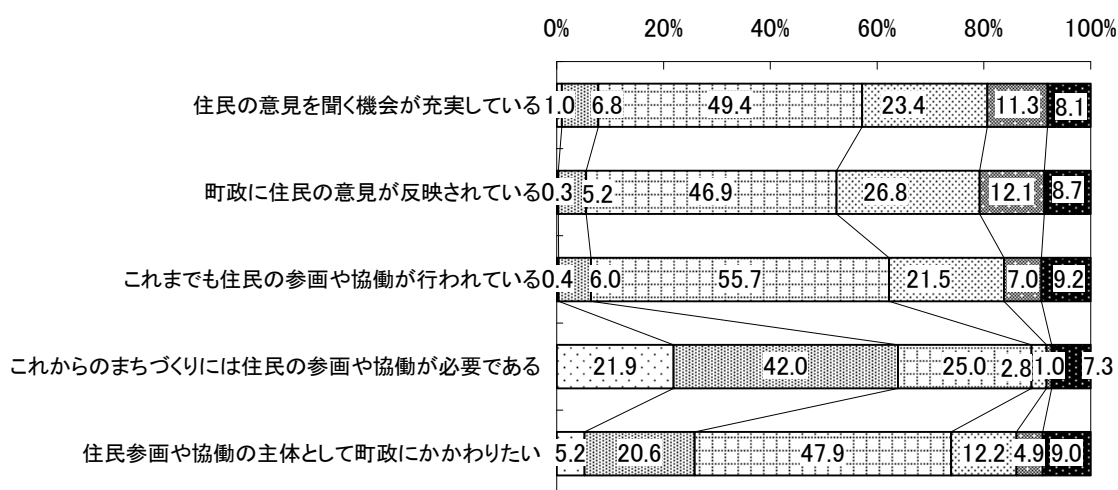
問23 町政への住民意見の反映や住民参画、住民と行政との協働について、どのようにお考えですか？

今のお気持ちに最も近い番号を1つずつ選んでください。

◆ 住民参画や協働について5項目をたずねたところ、「住民の意見を聞く機会が充実している」、「町政に住民の意見が反映されている」、「これまでも住民の参画や協働が行われている」の3項目について“そう思う”（「そう思う」+「まあそう思う」）と回答した人は、1割に満たない結果となっている。

また、「これからのまちづくりには住民の参画や協働が必要である」について“そう思う”と回答した人は約6割（63.9%）を占めているが、「住民参画や協働の主体として町政にかかわりたい」では約3割（25.8%）にとどまっている。

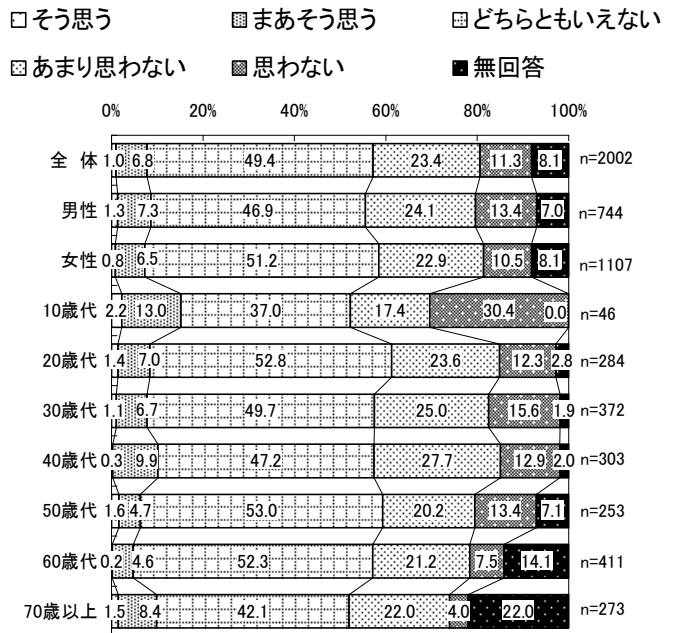
□そう思う ▣まあそう思う □どちらともいえない ▣あまり思わない ■思わない ■無回答



【個別項目分析】

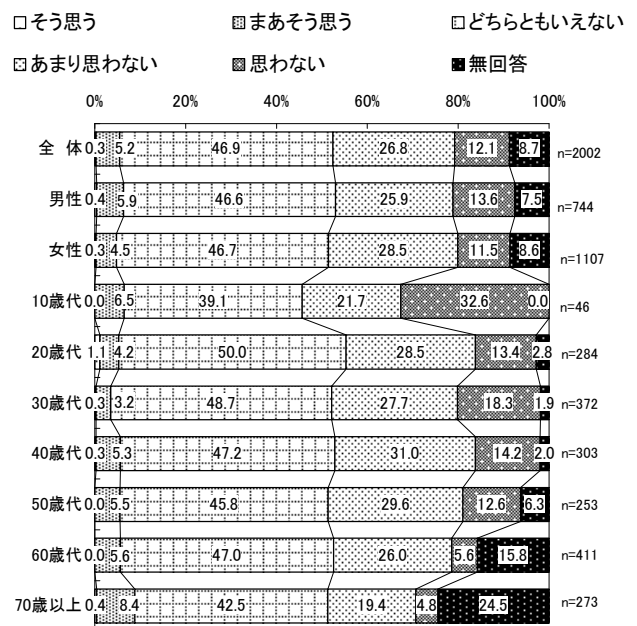
1. 住民の意見を聞く機会が充実している

- ◆ 住民の意見を聞く機会が充実しているかについて、男女別では女性よりも男性のほうが、“思わない”（「あまり思わない」+「思わない」）人がやや多くなっている。
- ◆ 年代別では、低い年代ほど“思わない”人が多くなる傾向となっており、「10 歳代」で最も多く、約5割（47.4%）となっている。
一方、“そう思う”人はいずれの年代でも1割程度となっているが、「10 歳代」が他の年代よりも高い割合となっている。



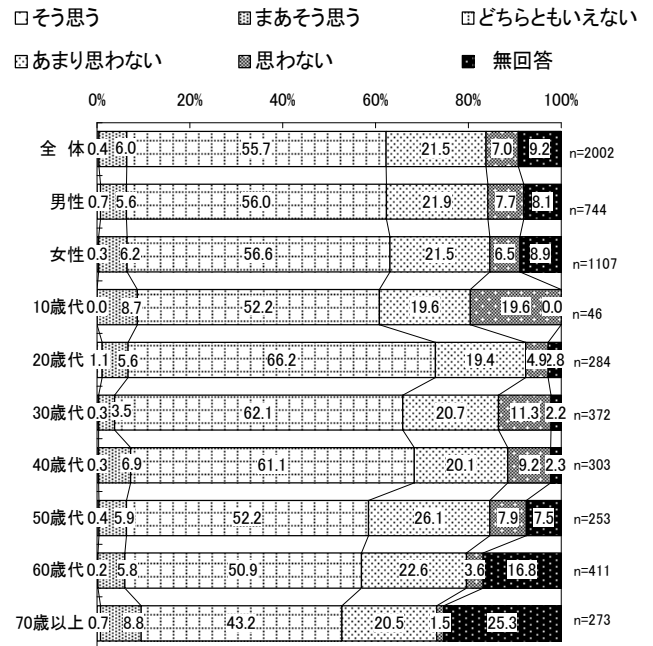
2. 町政に住民の意見を聞く機会が反映されている。

- ◆ 町政に住民の意見を聞く機会が反映されているかについて、男女別では大きな差は見られない。
- ◆ 年代別では、年代が低いほど“思わない”人が多くなる傾向となっている。



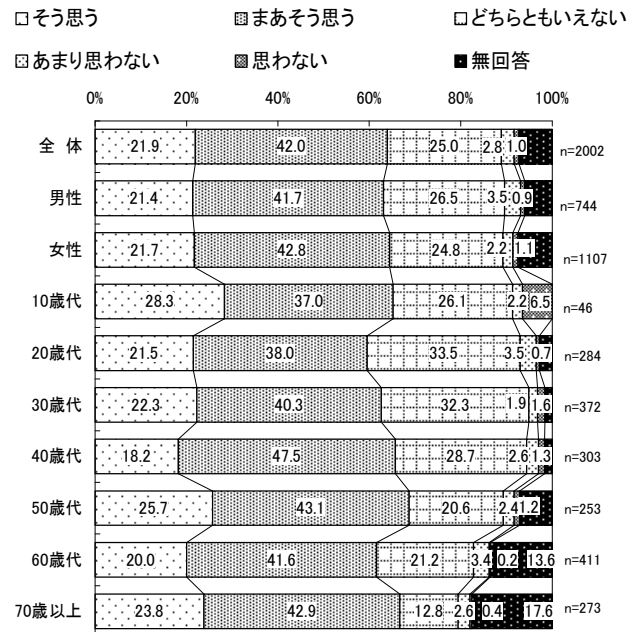
3. これまでも住民の参画や協働が行われている

- ◆ これまでも住民の参画や協働が行われているかについて、男女別では大きな差は見られない。
- ◆ 年代別では、年代が低いほど“思わない”人が多くなる傾向となっている。
一方、“そう思う”人はどの年代でも1割に満たない結果となっている。



4. これからのまちづくりには住民の参画や協働が必要である

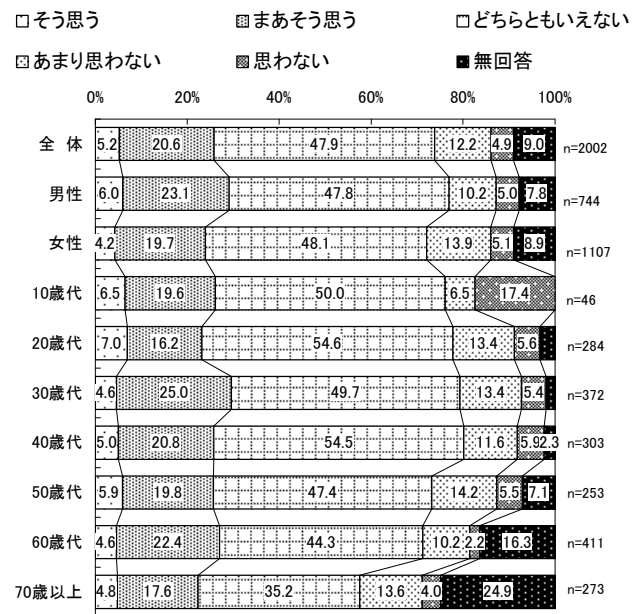
- ◆ これからのまちづくりには住民の参画や協働が必要であることについての意見で、男女別では大きな差は見られない。
- ◆ 年代別では、大きな差は見られず、どの年代においても“そう思う”人が約6割か、それ以上の割合となっている。



5. 住民参画や協働の主体として町政にかかわりたい

◆ 住民参画や協働の主体として町政にかかわりたいかについて、男女別では、女性よりも男性のほうが“そう思う”人が多い傾向となっている。

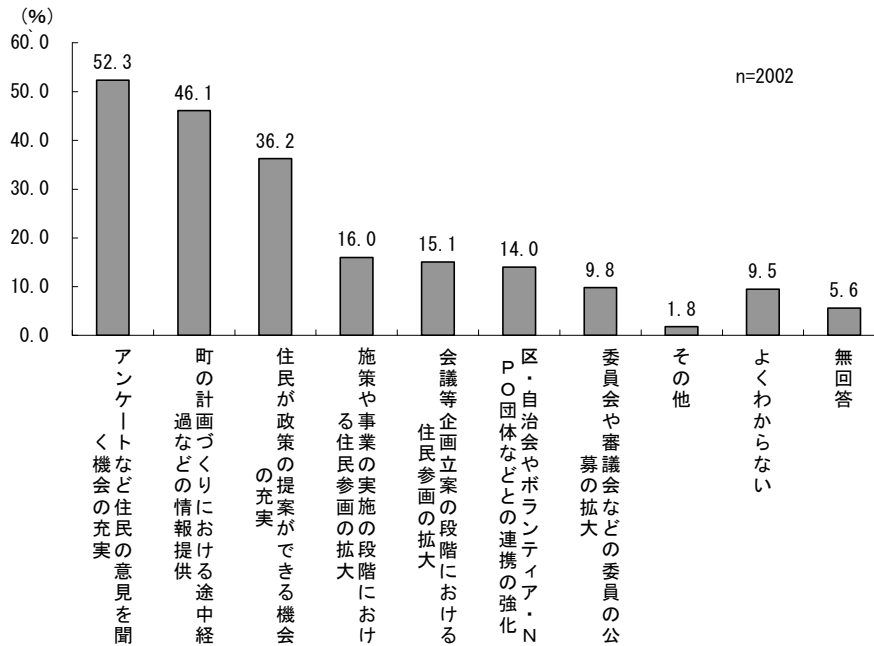
◆ 年代別では、最も“そう思う”人が多かった年代が「30歳代」で、約3割（29.6%）となっている。



5-15 住民の意見を反映するために力を入れるべきこと

問24 住民の意見を町政に十分反映させていくために、今後どのようなことに力を入れる必要があると思いますか？
今のお気持ちに最も近い番号を3つ以内で選んでください。

- ◆ 住民の意見を反映するために力を入れるべきことについては、「アンケートなど住民の意見を聞く機会の充実」が52.3%と最も多く、次いで「町の計画づくりにおける途中経過などの情報提供」(46.1%)、「住民が政策の提案ができる機会の充実」(36.2%)の順となっている。



- ◆ 年代別については、各年代で最も回答率が高い項目を、次の表に網掛けとして示した。10歳代～40歳代では「アンケートなど住民の意見を聞く機会の充実」、50歳代～70歳以上では「町の計画づくりにおける途中経過などの情報提供」がそれぞれ最も高くなっている。

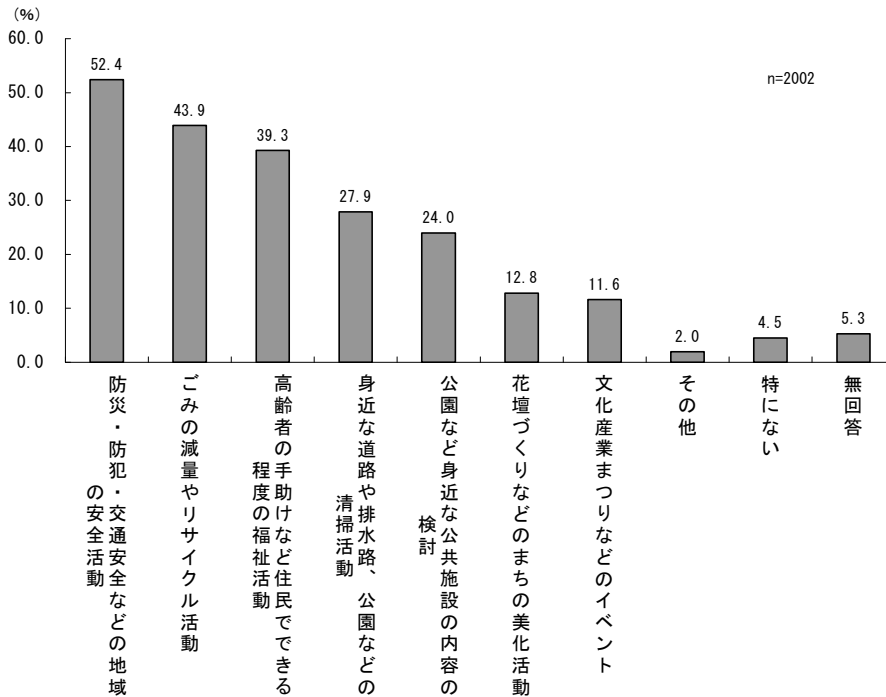
		(%)									
	全体 (n)	アンケートなど住民の意見を聞く機会の充実	町の計画づくりにおける途中経過などの情報提供	住民が政策の提案ができる機会の充実	施策や事業の実施の段階における住民参加の拡大	会議等企画立案の段階における住民参加の拡大	区・自治会やボランティア・NPO団体などの連携の強化	委員会や審議会などの委員の公募の拡大	その他	よくわからない	無回答
全体	2002	52.3	46.1	36.2	16.0	15.1	14.0	9.8	1.8	9.5	5.6
10歳代	46	50.0	47.8	30.4	19.6	8.7	13.0	8.7	0.0	10.9	0.0
20歳代	284	60.2	43.0	39.4	12.7	14.8	10.6	11.6	2.1	7.0	3.5
30歳代	372	57.5	39.8	38.4	13.4	12.6	11.8	8.6	2.2	9.7	2.7
40歳代	303	54.1	36.6	35.0	14.5	14.5	12.9	13.9	2.0	11.9	2.0
50歳代	253	46.6	51.4	32.8	16.6	17.4	13.0	14.6	1.6	9.1	7.5
60歳代	411	47.4	53.3	34.3	19.0	16.5	19.5	5.6	1.2	9.5	8.0
70歳以上	273	48.7	53.8	38.1	19.0	15.4	15.4	7.7	1.8	9.9	11.0

5-16 今後住民が積極的にかかわって進めるべきこと

問25 今後、住民の皆さんが積極的にかかわって進めることが重要だと思う活動は何ですか？

今のお気持ちに最も近い番号を3つ以内で選んでください。

- ◆ 今後、住民が積極的にかかわって進めることが重要だと思うことについては、「防災・防犯・交通安全などの地域の安全活動」が52.4%と最も多く、次いで「ごみの減量やリサイクル活動」(43.9%)、「高齢者の手助けなど住民のできる程度の福祉活動」(39.3%)の順となっている。



- ◆ 年代別については、各年代で最も回答率が高い項目を、次の表に網掛けとして示した。全ての年代で「防災・防犯・交通安全などの地域の安全活動」が最も高くなっている。また、「高齢者の手助けなど住民のできる程度の福祉活動」と「身近な道路や排水路、公園などの清掃活動」では60歳代・70歳以上の回答率が全体より約10ポイント高く、「文化産業まつりなどのイベント」では10歳代～30歳代の回答率が全体より高い割合となっている。

	全体 (n)	防災・防犯・交通安全などの地域の安全活動	ごみの減量やリサイクル活動	高齢者の手助けなど住民のできる程度の福祉活動	身近な道路や排水路、公園などの清掃活動	公園など身近な公共施設の内容の検討	花壇づくりなどのまちの美化活動	文化産業まつりなどのイベント	その他	特にない	無回答
全体	2002	52.4	43.9	39.3	27.9	24.0	12.8	11.6	2.0	4.5	5.3
10歳代	46	45.7	45.7	39.1	30.4	10.9	10.9	17.4	0.0	4.3	4.3
20歳代	284	50.0	44.4	30.6	24.3	32.4	13.4	18.3	1.8	5.3	3.5
30歳代	372	52.4	44.6	26.3	22.6	33.9	12.6	15.1	4.6	4.3	2.4
40歳代	303	58.4	48.8	35.3	20.1	23.8	10.6	10.9	1.7	5.6	2.0
50歳代	253	49.8	43.5	43.5	22.1	23.3	12.3	7.5	1.6	4.3	7.5
60歳代	411	52.3	43.6	49.6	37.2	16.1	14.6	8.3	1.5	4.1	6.6
70歳以上	273	52.0	39.9	51.3	38.5	17.2	12.8	8.4	1.5	3.7	10.6

6 自由回答

○ 東郷町のまちづくりについての自由な意見をお聞かせください。

今後の東郷町のまちづくりについて、ご意見や提案（アイデア）、夢などがありましたらお聞かせください

◆ 東郷町のまちづくりについての意見などをたずねたところ、計 789 名から計 1174 件の回答が得られた。

主な意見は下記の通りである。

(1) 都市基盤整備 (38 件)

意見
財政上厳しいとは思いますが、下水道敷設後の道路本復旧を一日でも早くお願いしたい。
集合住宅が多く増え、自治会での連携が薄れる。もっと個人住宅の建設を促進すべき。
水道水がおいしくない。特に風呂など、臭いがきつい。
東郷町の周りの農地を宅地に変更して下水道を充実させてほしい。
高層マンション建設を規制してほしい。その他、町の景観に配慮した都市計画をしてほしい。
農地を整理し、住宅などの提供をする。
消防車の入れないような道路状況の場所に、住宅建築許可を出さないでほしい。
積極的に企業誘致、住宅用地の拡充を行ってほしい。
老朽化した整備は、早めに直し、長期に渡って放置しないでほしい。
街並みの美観を保つ活動を町として進めてもらいたい。

(2) 道路・交通 (180 件)

意見
交通機関が大変不便なので、路線を増やしたり、最終の時間を遅くするなどしてほしい。
町役場前の道路は、大型車輛の通行が多く、歩道の整備が急務と思われる。
歩道が充実していないので、安心して歩ける道路づくりをお願いしたい。
巡回バスの赤池乗り入れを希望する。
地下鉄の駅をつくり、交通の便をよくしてほしい。
巡回バスのコースをもっと増やしてほしい。
割れたり、段差があったり、穴の開いてる道路を修復してほしい。
道路の清掃、草、ゴミが散らかっていて見た目が非常に悪い。
バスで簡単に地下鉄へアクセスできるようにしてほしい。
不法駐車が多い。

(3) 公共施設 (134 件)

意見
地域活性化のために、施設の充実や理解活動を進めれば、されによい町になると思う。
町の中心地にみんなが集える公園がほしい。
いこまい館の充実した改善方法を模索してほしい。
図書館を充実させる。机も椅子も少なく、本も古い物が多い。
各地区のコミュニティーセンターや児童館で行っている講座などがネットで一覧できると便利。
子育て支援機能のある、児童養護施設の開設の希望。
公園の整備をしてほしい。
体育館をもっと増やしてほしい。体育館の予約を住民が取りやすい方法にほしい。
介護施設が少ない。
池が多いので、池釣り公園をつくる。

(4) 環境・自然 (110 件)

意見
自然をなくして、魅力のある町、癒される町はなしえないと思う。
下水道、道路のゴミ、溝の清掃など地域できれいにする。
ゴミの分別のため、リサイクルセンターやエコセンターを増やしてほしいと思う。
名古屋市のようにリサイクルに力を入れてほしい。
屋上緑化推進、太陽光発電推進などに補助、助成金を出して進めてほしい。
犬のフンがいたるところにあるので、環境美化についてもっとPRを強くしてほしい。
リサイクルステーションを西部にも作ってほしい。
花壇ではなく、桜の道やケヤキ、ハナミズキなど美化活動をお願いしたい。
街路樹が少ない。
境川、前川の「魚のすむ川づくり」に向けての水質改善と流量増加策の希望。

(5) 医療・保健 (35 件)

意見
休日救急病院を設立してほしい。
子どもの治療費を無料にしてほしい。中学ぐらいになると、病院に行く人が多くなると思う。
「新型インフルエンザ」に対して、町として取り組みをしてほしい。
予防医療の充実を計り、今の高すぎる国民保険料の引き下げを計る。
少子化対策で、通院費などの負担を低減してほしい。
医療機関が少ない。診療所から総合病院へもあるとよいと思う。
乳幼児医療の引き上げを検討してほしい。
夜間や休日の医療を充実させてほしい。
児童手当や医療手当など充実させてほしい。
鳥インフルエンザ対策を講じてほしい。

(6) 福祉 (158 件)

意見
育児手当の拡大が必要。
リサイクル場や BOX の設置で収益を福祉に充てる。
小中学校の部活動を活発にさせるため、外部の高齢者などの指導者を活用する。
町内に優良な高齢者向け住宅ができないかと待っている。
介護を充実させてほしい。
トワイライトスクールを増設してほしい。
高齢化に備え、町営の住居型老人ホームが建設されればよいと思う。
ひとり暮らしの人々の SOS を受け止める体制づくりをしてほしい。
子育てクラブなど、もっと母子同士の交流が持てる活動を増やしてほしい。
高齢者が働ける場所を提供してほしい。

(7) 教育・文化 (30 件)

意見
土日のコンサートなどを開いてほしい。
芸術文化、教育活動に力を入れてほしい。
小中学生の教育の充実が必要。
小中学校の部活動を活発にさせるため、外部の指導者を活用する。
文化会館でのイベントの展開。他の市町村からも参加できるとよい。
町民マラソン大会の実施を希望する。
町民体育大会を復活してほしい。
町内中学生の海外ホームステイの続行。
小中学校の部活動を活発にさせるため、外部の指導者を活用する。
歌謡ショーを行ってほしい。

(8) 産業・観光 (99 件)

意見
地産地消できる楽しい場があったらよい。
企業をもっと誘致して、活性化をした方がよい。
町内に大型スーパーがほしい。
町の特産品があるよい。
地元の農産物をもっと広いスペースで売ってほしい。もっとアピールしてほしい。
祭りの規模が小さい。
大々的な東郷町のフリーマーケットなどあると楽しいと思う。
田畑の耕作をしてない農地を町が積極的に借り、野菜づくりに意欲のある人に田畑を貸す。
県道 56 号線を商業区域にし、活性させる。
外国人労働者へのセーフティネットの拡充。

(9) 防犯・防災・安全 (46 件)

意見
外灯が少なく、夜、歩くのが危険。防犯上でも増設してほしい。
あいさつや防犯灯などの充実を啓発する必要がある。
小中学生の防犯パトロール、見守り活動の充実をさせてほしい。
門構えで、どこに人がいるかわからないような家を「こども 110 番」にしているのはおかしい。
災害時の準備を徹底する。推奨品を家庭に知らせ、家族全員に知らせておく必要がある。
夜道の外灯を増やしてほしい。
路上駐車が多すぎる。
夜間パトロールを区、自治会で強化していき、防災、防犯の強化を図る。
各家庭既存の門灯を点灯するよう啓発活動重視をする。
空地、休耕地などの草刈り、清掃を地主に守らせてほしい。

(10) 行政 (274 件)

意見
合併できる時に合併した方が、住民のためになると思うし、町にもよいと思う。
議会時の住民へのオープン開放。議会内容を広報に掲載する。
もっと役場職員が早く仕事ができるように願う。
机上の計画でなく、足で現状を見てほしい。
議会の内容をもっと知らせてほしい。
全国初町単位として、姉妹友好都市提携を行い、海外との交流を設ける。
希望する一般町民へ、町政に関するレクチャーを行ってほしい。
税金が高い。一人ひとりの現職による収入に考慮して税金の支払プランを考えるべきである。
他の市町村に比べ、町会費が高すぎる。
一歩先のことを見据えて、行政を行ってほしい。

(11) 住民意向調査 (37 件)

意見
アンケートの対象を若い人にしたほうが、よりよい東郷町を作るためのものができると思う。
アンケートの結果の公表と町政の具体的対策、計画の情報開示が必要。
アンケートが長すぎる。もっと必要な項目にしぼってほしい。
アンケートの答えた方以外の方が提案を出せるような機会が必要だと思う。
意見を多く聞くことはよいが、聞くだけで終わらせないようにしてほしい。
アンケートの結果を公表してほしい。
今回のようなアンケートを含め、町民の意見をどんどん聞いて、吸い上げてほしいです。
形式的アンケートで住民の意見を問うのはいかなものか。
自由意見を書き記せる様式にした方が、個人の内面が見られておもしろいと思う。
このアンケート結果とその考察について HP で公開していただきたい。

(12) その他 (33 件)

意見
犬を飼っている人のマナーの向上。マナーの悪い人には、罰則を加えてもよいと思う。
墓地の開発。移住者も墓地購入ができるようにしてほしい。
住民も町に頼りすぎな点がある。協力しようとの意識も低いと思う。
NPO などボランティアも世代交代が必要だと感じる。
野焼きをやめてほしい。
ボランティアをもっと活用するようにする。
定年退職者の技術を利用する場所を多く作り、生きがいにもつなげる場所、機会の提供。
町の誰と会ってもあいさつがない。町づくりには、あいさつ運動が大切だと思う。
住むところがあっても遊ぶ場所がない。



III 參考資料

東郷町のまちづくりを考える住民意向調査

アンケートご協力をお願い

日ごろから、町政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、このたび東郷町では、今後のまちづくりの指針ともいえるべき第5次総合計画を策定することになりました。この総合計画は、町民の皆様の生活全般にわたる様々な行政の施策について、長期的な展望に基づいて計画を策定するものです。

そこで、広く町民の皆様のお考えやご意見をお聞きするために、アンケート調査を実施し、総合計画策定の基礎資料にしたいと考えております。

つきましては、お忙しいこととは思いますが、調査の趣旨をご理解いただき、ぜひご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、この調査は、町内にお住まいの18歳以上の方の中から無作為に選んだ5,000人を対象に実施します。調査は無記名で行い、調査の結果は統計的に処理いたしますので、ご迷惑をおかけすることは決してございません。

よろしくご協力くださいますよう、重ねてお願い申し上げます。

平成21年1月

東郷町長 川瀬雅喜

【ご記入にあたってのお願い】

1. このアンケートは宛名の方がご回答ください。もし、宛名の方がご回答できない場合は、ご本人に代わってご家族の方がご回答ください。
2. ご回答は、あてはまる項目を選んで、その番号を○印で囲んでください。
3. 記入されたアンケート用紙は、**平成21年2月12日(木)まで**に同封の返信用封筒に入れ、ポストに投函してください。(切手は不要です。)なお、役場の企画情報課(3階)まで直接アンケートをお持ちいただいても結構です。
4. このアンケート調査についてのお問い合わせ、ご不明な点などは、下記までお願いします。

東郷町役場 企画部 企画情報課 企画調整係

電話 0561-38-3111(内線 2322・2324)

1. あなたご自身についてお伺いします

1. あなたの性別は？	1. 男性	2. 女性	
2. あなたの年齢は？	1. 10歳代 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代	5. 50歳代 6. 60歳代 7. 70歳以上	
3. あなたが現在お住まいの地区はどこですか？	1. 諸輪 2. 和合 3. 傍示本 4. 祐福寺 5. 部田 6. 白土	7. 西白土 8. 和合ヶ丘 9. 諸輪住宅 10. 白鳥 11. 御岳 12. 押草団地南	13. 押草団地北 14. 春木台 15. 北山台 16. 部田山
4. あなたが東郷町に住んでいる期間は <u>通算</u> でどれぐらいになりますか？	1. 3年未満 2. 3年以上、10年未満 3. 10年以上、20年未満 4. 20年以上、30年未満	5. 30年以上、40年未満 6. 40年以上、50年未満 7. 50年以上	
5. あなたのご家族の構成は次のうちどれにあたりますか？	1. ひとり暮らし 2. 夫婦だけ 3. 親と子(2世代)	4. 親と子と祖父母(3世代) 5. その他()	
6. あなたのご家族に小学校就学前の方はいらっしゃいますか？	1. いる	2. いない	
7. あなたのご家族に小中学生の方はいらっしゃいますか？	1. いる	2. いない	
8. あなたのご家族に65歳以上の方はいらっしゃいますか？	1. いる	2. いない	
9. あなたのご職業はどれにあたりますか？	1. 農業 2. 自営業 3. 会社員、公務員、団体職員 4. アルバイト、パートタイマー	5. 学生 6. 家事専従 7. 無職 8. その他()	

2. 東郷町の暮らしやすさなどについてお伺いします

問1 東郷町の住み心地はどう思いますか？

今のお気持ちに最も近い番号を 1つだけ 選んでください。

1. 住みやすい
2. まあ住みやすい
3. どちらともいえない
4. やや住みにくい
5. 住みにくい

問2 これからも東郷町に住み続けたいとお考えですか？

今のお気持ちに最も近い番号を 1つだけ 選んでください。(既に転出が決まっている方もご自身のお気持ちに近いものをお選びください)

1. 永住したい
2. 当分住み続けたい

3. いずれは転出したい
4. すぐにでも転出したい

問2-1

今後も住み続けたいとお考えの理由を次の中から 3つ以内 で選んでください。

1. 自然環境が良いから
2. 子育ての環境が良いから
3. 交通の便が良いから
4. 周辺の住環境が良いから
5. 災害や犯罪などが少ないから
6. 買い物に便利だから
7. 地域での人間関係が良いから
8. 老後も安心して暮らせると感じるから
9. 学校や仕事、家庭の都合があるから
10. まちに将来性があるから
11. 住みなれていて愛着があるから
12. その他 ()

問2-2

転出したいとお考えの理由を次の中から 3つ以内 で選んでください。

1. 自然環境が良くないから
2. 子育ての環境が良くないから
3. 交通の便が良くないから
4. 周辺の住環境が良くないから
5. 災害や犯罪などが多いためから
6. 買い物に不便だから
7. 地域での人間関係が良くないから
8. 老後の生活に不安があるから
9. 学校や仕事、家庭の都合があるから
10. まちに将来性がないから
11. まちに愛着がもてないから
12. その他 ()



3. あなたの日常生活の意識などについてお伺いします

問3 あなたの日常生活の意識や行動について、あてはまる番号を1つずつ選んでください。

項目	そう思う	まあそう思う	どちらでもない	あまり思わない	思わない
例) 東郷町に魅力を感じている	⑤	4	3	2	1
例) 普段から健康管理に気を配っている	5	4	3	②	1
1. 東郷町に魅力を感じている	5	4	3	2	1
2. 普段から健康管理に気を配っている	5	4	3	2	1
3. 近所の方との関わりがある	5	4	3	2	1
4. 普段から省エネを心がけている	5	4	3	2	1
5. 普段からリサイクルに心がけている	5	4	3	2	1
6. 地震や風水害などの災害に備えている	5	4	3	2	1
7. 普段から防犯に心がけている	5	4	3	2	1
8. 趣味や教養などの活動を楽しんでいる	5	4	3	2	1
9. 日々の生活に生きがいを感じている	5	4	3	2	1
10. 定期的にスポーツ・運動をしている	5	4	3	2	1
11. 近くの公園や広場などを利用している	5	4	3	2	1
12. 公共交通機関を利用するようにしている	5	4	3	2	1
13. 地元の農産物を購入したいと思っている	5	4	3	2	1
14. 地元の商店やスーパーを利用するようにしている	5	4	3	2	1
15. 地元の行事やお祭りに参加している	5	4	3	2	1
16. 他の世代の人と交流している	5	4	3	2	1
17. 地域に住む外国人と交流している	5	4	3	2	1
18. 広報とうごうを毎月(毎号)読んでいる	5	4	3	2	1
19. 普段からインターネットを利用している	5	4	3	2	1



問4 地域に対する意識について、あてはまる番号を1つずつ選んでください。

項目	そう思う	うまあ まあ そう 思	い ど ち ら と も い え な い	な い あ ま り 思 わ な い	思 わ な い
例) 男女差別のない社会がつくられている	5	④	3	2	1
1. 男女差別のない社会がつくられている	5	4	3	2	1
2. 安心して子どもを産み育てられる	5	4	3	2	1
3. 地域で共に助け合い、支えあう風土がある	5	4	3	2	1
4. ボランティアやNPO(※)の活動が活発に行われている	5	4	3	2	1
5. 子どもの家庭での教育がしっかりできている	5	4	3	2	1
6. 子どもの学校での教育がしっかりできている	5	4	3	2	1
7. まちに活気やにぎわいがある	5	4	3	2	1

※「NPO」とは、「社会や地域のために自主的に活動しているボランティア団体、市民活動団体、特定非営利活動法人などの民間の非営利活動団体」をいいます。

問5 あなたのご家族では、地震や風水害、火災などの災害が起こった場合に備えて、どのような対策をとっていますか？
あてはまる番号をすべて選んでください。

1. 消火器を準備している
2. 住宅用火災警報器を設置している
3. 家具などを固定し、転倒を防止している
4. 日用品などを入れた災害用非常持ち出し袋などを用意している
5. 3日分程度の非常用の食料や飲料水を用意している
6. 家族との連絡方法を決めている
7. 避難する場所を決めている
8. その他 ()
9. 特に何もしていない



4. 東郷町の取り組みについてお伺いします

問6 東郷町の取り組みについて具体的にお伺いします。それぞれの項目についての程度満足していますか？また、どの程度重要だとお考えですか？ 満足度と重要度について、今のお気持ちに最も近い番号をそれぞれ1つずつ選んでください。

		満足度					重要度				
		満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない
例) 健康づくりなどの保健事業		⑤	4	3	2	1	⑤	4	3	2	1
例) 夜間や休日の医療体制		5	④	3	2	1	5	4	③	2	1
健康・福祉・教育	1. 健康づくりなどの保健事業	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	2. 夜間や休日の医療体制	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	3. 男女共同参画の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	4. 介護予防事業	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	5. 定年後の生きがい対策	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	6. 高齢者への福祉サービス	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	7. 障害のある人への福祉サービス	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	8. 子育てに関する支援	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	9. 保育園や児童館などの子育て環境	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	10. 小中学校の教育内容や教育環境	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	11. 青少年の健全育成	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
安全安心・基盤整備・産業	12. 地震や風水害などの防災対策	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	13. 消防や救急の体制	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	14. 防犯対策	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	15. 交通安全対策	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	16. 道路の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	17. 公園や緑地の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

		満足度					重要度				
		満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない
安全安心・基盤整備・産業	18. 下水道の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	19. バスなどの公共交通機関の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	20. 開発による住宅地の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	21. 地産地消の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	22. 農業の活性化対策	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	23. 商工業の活性化対策	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	24. 企業誘致の促進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	25. 働く場や機会	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	26. 消費者保護対策	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
環境	27. 公害対策などの環境汚染対策	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	28. ごみの減量やリサイクルの推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	29. ごみの収集・処理対策	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	30. 自然環境の保全や創出	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
交流・協働・文化スポーツ	31. 区・自治会活動への支援	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	32. NPOやボランティア活動への支援	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	33. 国際理解・国際交流の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	34. 教養講座など生涯学習の機会	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	35. コンサートなどの芸術文化活動	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	36. スポーツ・レクリエーション活動	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	37. 文化財の継承・保存	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	38. 町のアピール	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
行政運営	39. 町政への住民参画	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	40. 健全な財政運営	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	41. 広報などによる町政情報の提供	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	42. ホームページを利用した町政情報の提供	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

問7 「問6（前問）」でお答えいただいた質問項目の中で今後、特に重点的に取り組むべきだと思うことは何ですか？前問の1～42の項目の中から5つまでを選んで、番号でご記入ください。

1	2	3	4	5

問8 「問6・問7」でお答えいただいた内容を踏まえお伺いします。これまでの町の取り組み全般について、あなたはどの程度満足していますか？
今のお気持ちに最も近い番号を1つだけ選んでください。

- | |
|--|
| 1. 満足している
2. やや満足している
3. どちらともいえない
4. やや不満である
5. 不満である |
|--|

問9 役場職員の窓口での対応に関して、あなたはどの程度満足されていますか？
今のお気持ちに最も近い番号を1つずつ選んでください。

	満足	やや満足	いどちらともいえない	やや不満	不満
例) 笑顔での対応	5	4	③	2	1
1. 笑顔での対応	5	4	3	2	1
2. 説明のわかりやすさ	5	4	3	2	1
3. 親切、丁寧な対応	5	4	3	2	1
4. 事務処理の迅速さ	5	4	3	2	1
5. 事務処理の正確さ	5	4	3	2	1
6. 個人情報保護の配慮	5	4	3	2	1
7. 総合的にみた職員の対応	5	4	3	2	1

(3)福祉・健康について

問 14 高齢者が生きがいをもって暮らせるまちにするために、今後どのようなことに力を入れる必要があると思いますか？

今のお気持ちに最も近い番号を3つ以内で選んでください。

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 健康づくりや介護予防事業の充実 | 6. 高齢者向け生涯学習活動の充実 |
| 2. 健康な高齢者が集える場所の確保 | 7. 相談体制や情報提供の充実 |
| 3. 働く場や機会の確保 | 8. その他 () |
| 4. 世代間交流の促進 | 9. よくわからない |
| 5. 経験や技術を活かす場づくり | |

問 15 健康づくりに関して、今後どのようなことに力を入れる必要があると思いますか？

今のお気持ちに最も近い番号を3つ以内で選んでください。

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| 1. 健診などによる疾病の早期発見 | 6. 遊歩道や散歩道などの整備 |
| 2. 疾病の発生を防ぐ健康づくり | 7. 健康づくりリーダーの育成 |
| 3. 健康づくり体操などの普及 | 8. 相談体制や情報提供の充実 |
| 4. 介護を必要としない高齢者の健康づくり | 9. その他 () |
| 5. 生活習慣病の予防知識の普及 | 10. よくわからない |

問 16 この2年以内に、がん検診を受診したことがありますか。

あてはまる番号を1つだけ選んでください。

- | | |
|---------------------|------------|
| 1. 町が実施する検診を受診した | 6. 受診していない |
| 2. 職場が実施する検診を受診した | |
| 3. かかりつけ医で勧められて受診した | |
| 4. 自主的に人間ドックなどで受診した | |
| 5. その他の機会を受診した | |

問 16-1

受診した検診の種類は何ですか。あてはまる番号をすべて選んでください。

- | |
|------------|
| 1. 胃がん |
| 2. 大腸がん |
| 3. 子宮頸がん |
| 4. 乳がん |
| 5. 肺がん |
| 6. その他 () |

問 16-2

その理由は何ですか。あてはまる番号をすべて選んでください。

- | |
|-----------------------|
| 1. 検診があることを知らなかったから |
| 2. 時間がなかったから |
| 3. 費用がかかり経済的に負担になるから |
| 4. 毎年受ける必要性を感じないから |
| 5. 健康に自信があり必要性を感じないから |
| 6. 心配な時はいつでも受診できるから |
| 7. 結果が不安なため受けたくないから |
| 8. その他 () |

(4) 町巡回バスについて

問 17 町巡回バス「じゅんかい君」を利用したことがありますか。
あてはまる番号を1つだけ選んでください。

1. ほぼ毎日利用している
2. ほぼ週に1回以上利用している
3. ほぼ月に1回以上利用している

4. ほとんど利用したことはない
5. 利用したことはない

問 17-1

どのような目的で利用しましたか。あてはまる番号をすべて選んでください。

1. 通勤
2. 通学
3. 買い物
4. 医療機関などへの通院
5. 親戚・知人宅
6. 役場・いこまい館・町民会館・総合体育館
7. その他の公共施設
8. その他 ()

問 17-2

その理由は何ですか。あてはまる番号をすべて選んでください。

1. 車・バイク・自転車があり、巡回バスを利用しなくてもよいから
2. 運行経路や時間がわからないから
3. 利用したい時間帯に巡回バスが運行していないから
4. 行きたい場所に運行する巡回バスがないから
5. その他 ()

問 18 町巡回バスをどのように改善すれば利用しやすくなると思いますか？
今のお気持ちに最も近い番号を3つ以内選んでください。

1. 運行開始時間を早くする
2. 運行終了時間を遅くする
3. 巡回ルート of 充実・拡充
4. 運行本数の増加
5. 他市町の施設などへの乗り入れ
6. だれでも乗りやすい車両への改良
7. その他 ()
8. 現行のままでよい
9. よくわからない
10. 改善しても利用しない



(5) 市町村合併について

問 19 平成の大合併が推進され、全国で市町村合併が行われています。愛知県においても88市町村が61市町村に再編されています。さて、東郷町が合併することに関して、あなたはどのように考えますか？

今のお気持ちに最も近い番号を1つだけ選んでください。

1. 合併する必要がある
2. どちらかといえば合併する必要がある
3. どちらかといえば合併する必要はない
4. 合併する必要はない
5. よくわからない

(6) 行政サービスのあり方について

問 20 行政サービスと税などの住民負担のバランスに関して、どのように考えますか？

今のお気持ちに最も近い番号を1つだけ選んでください。

1. たとえ住民全体の負担が増えても、行政サービスを充実すべきである
2. 住民全体の負担は増やすべきではなく、財政状況に応じた行政サービスを提供すべきである
3. 住民全体の負担は増やすべきではなく、特定の行政サービスを直接受ける人（受益者）の負担を増やすべきである
4. その他（)
5. よくわからない



問 24 住民の意見を町政に十分反映させていくために、今後どのようなことに力を入れる必要があると思いますか？

今のお気持ちに最も近い番号を3つ以内で選んでください

- | |
|--|
| 1. アンケートなど住民の意見を聞く機会の充実 |
| 2. 委員会や審議会などの委員の公募の拡大 |
| 3. 町の計画づくりにおける途中経過などの情報提供 |
| 4. 各種会議やワークショップ開催など、企画立案の段階における住民参画の拡大 |
| 5. 施策や事業の実施の段階における住民参画の拡大 |
| 6. 区・自治会やボランティア・NPO団体などとの連携の強化 |
| 7. 住民が政策の提案ができる機会の充実 |
| 8. その他 () |
| 9. よくわからない |

問 25 今後、住民の皆さんが積極的にかかわって進めることが重要だと思う活動は何ですか？

今のお気持ちに最も近い番号を3つ以内で選んでください。

- | | |
|-------------------------|---------------------------|
| 1. 身近な道路や排水路、公園などの清掃活動 | 6. 公園など身近な公共施設の内容の検討 |
| 2. 花壇づくりなどのまちの美化活動 | 7. 高齢者の手助けなど住民でできる程度の福祉活動 |
| 3. ごみの減量やリサイクル活動 | 8. その他 () |
| 4. 文化産業まつりなどのイベント | 9. 特になし |
| 5. 防災・防犯・交通安全などの地域の安全活動 | |

(9)東郷町のまちづくりについての自由な意見をお聞かせください

今後の東郷町のまちづくりについて、ご意見や提案（アイデア）、夢などがありましたらお聞かせ下さい。

お忙しいところ、最後までご協力いただきましてありがとうございました。

東郷町住民意向調査
報告書
平成 21 年 3 月

発 行 東郷町
企画・編集 東郷町役場 企画部 企画情報課
T E L 0561-38-3111
F A X 0561-38-0001